

平成 23 年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業

障害者の社会参加活動の 支援に関する調査

平成 24 年 3 月

社会福祉法人 若狭つくし会

目次

第1章 はじめに.....	1
1. 事業目的	1
2. 事業の流れとスケジュール.....	3
3. 事業の具体的内容.....	4
3 - 1 検討委員会の設置・運営	4
3 - 2 障害のある人に対するアンケート調査の実施	5
3 - 3 団体・事業所・自治体に対するアンケート・ヒアリング調査の実施	6
3 - 4 事例調査の実施.....	7
3 - 5 啓発事業の実施.....	8
4. 地域の障害のある人を取り巻く状況.....	9
4 - 1 障害者手帳所持者数等.....	9
4 - 2 各市町の人口及び障害者手帳所持者の占める割合	10
4 - 3 障害者手帳所持者の年齢別の状況（平成24年3月時点）	11
4 - 4 障害福祉サービスの推移（各年度）	13
4 - 5 移動支援事業の推移（各年度）	14
第2章 各種調査結果.....	15
1. アンケート調査結果.....	15
1 - 1 調査の概要.....	15
1 - 2 アンケート結果.....	16
2. アンケート・ヒアリング調査結果.....	80
2 - 1 団体・事業所に対するアンケート調査結果	80
2 - 2 自治体に対するヒアリング調査結果	86
3. 事例調査結果.....	89
4. 啓発事業効果.....	98
第3章 障害者の社会参加活動の支援について.....	99
1. 各種調査及び検討事項からみる今後の方向性.....	99
2. 障害者の社会参加活動の支援のあり方について.....	104
社会参加・余暇活動の場の確保.....	104
移動支援の充実.....	106
ボランティア育成等、地域における人材育成.....	107
情報提供・広報の充実.....	108
余暇活動の実施主体の拡大と支援体制の確立	108
地域全体での協働による推進.....	109
資料（アンケート調査票）.....	110

第1章 はじめに

1. 事業目的

～地域（コミュニティ）全体での活動支援の模索～

国では、平成18年の第61回国連総会において採択された「障害者権利条約」の締結に向けて、必要な法律の整備や障害者制度の見直しに着手し、これまでに、障害者自立支援法の一部改正（平成22年12月公布）、「障害者基本法」の改正（平成23年8月公布）及び「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」（平成23年6月公布）の法改正等が実施されています。また、平成21年12月に内閣に設置された障がい者制度改革推進本部のもと、障がい者制度改革推進会議において、障がい者制度改革のあり方についての検討が進められています。新たに、制度の谷間のない支援を提供し、個々のニーズに基づいた地域生活支援体系の整備等を内容とする制度の実施に向けた検討が行われており、障害児・者の地域における自立した生活や社会参加の促進に向けた支援の充実がより重要な課題となっています。

障害の有無にかかわらず地域で当たり前暮らしていく中で、交流活動や文化芸術活動等の日中活動の支援が必要です。就労移行支援事業や就労継続支援事業・生活介護等において作業を行ったり、事業所内での行事を行ったりして過ごすことは障害者自立支援法の中で位置づけられ、それぞれに活動が行われています。

しかし、当法人が事務局を担当している若狭地区障害児・者自立支援協議会において、各事業所や団体・行政が交流活動や文化芸術活動の呼び掛けを行っていますが、いまひとつ障害児・者の参加ができておらず、余暇活動や地域交流活動としてほとんど位置づけられていないということが地域の課題としてすでに挙げられています。

その背景には、障害児・者が参加できる行事やサークル活動が圧倒的に不足していることや、また、活動やサークルがあったとしても情報の不足や移動面での困難さ、継続の難しさ等により障害児・者の参加が得られていないこと等が挙げられます。そのような場づくりや活動への負担軽減のための支援について、地域全体で考える必要があります。

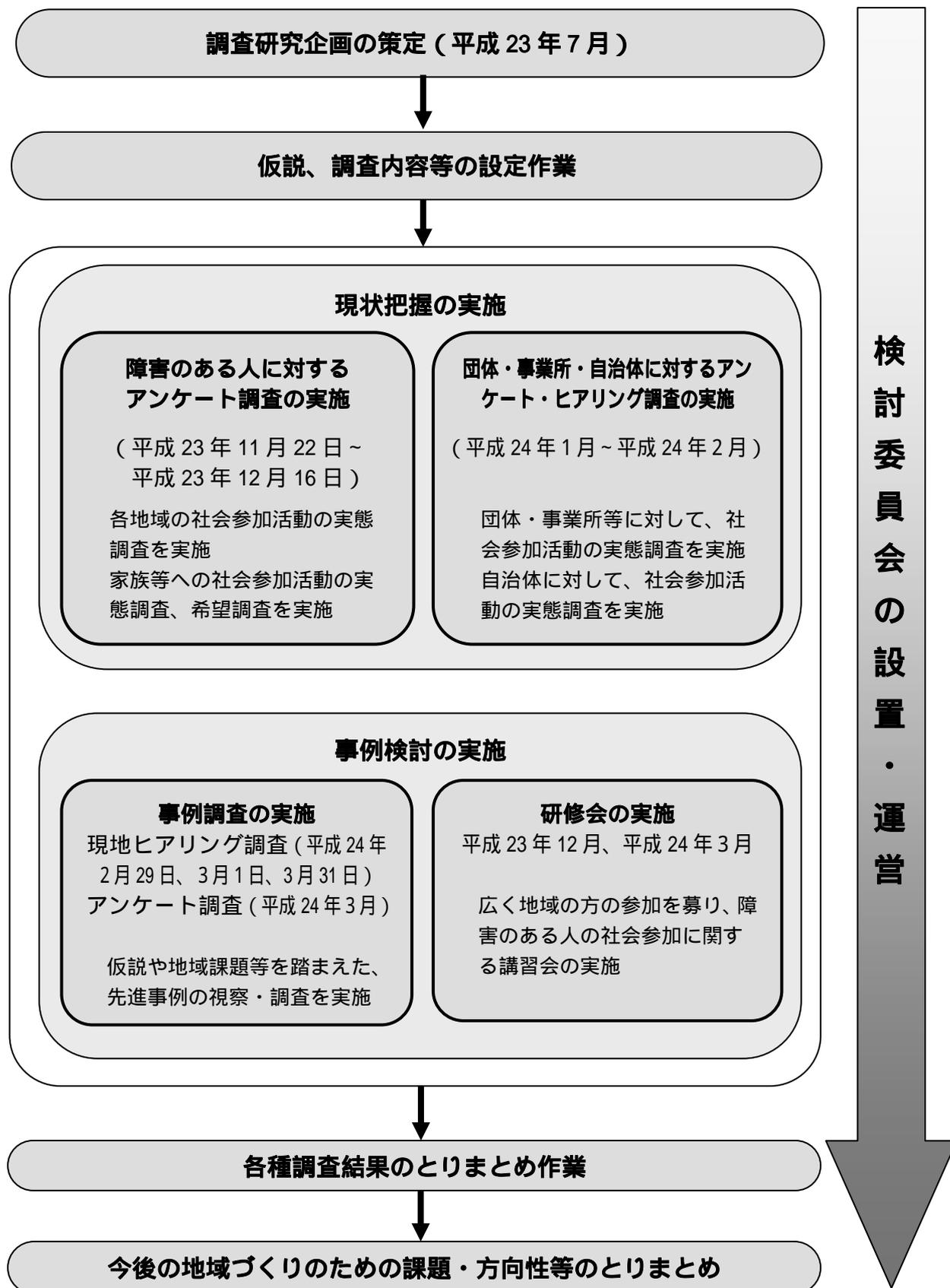
この事業は、こうした背景やすでに課題として認識していたところに光が当てられたものであり、現状把握と仮説検証のための調査を実施するものです。

障害児・者の交流活動や文化芸術活動などの日中活動の支援の取り組みについて、効果的な例と当地域での現状を調査し、新しく画期的なものを提供することも必要です。現在行われている実際の活動について着実なトレースを試み、今後の障害者福祉サービス体系の中で実例が活かされ、可能な限り汎用的なものとなることが着地点となります。

そのため、地域において余暇活動や地域交流活動は行われているにもかかわらず、その活動になぜ障害児・者が参加できていないのか、なぜ参加しにくいのかを検証し、どのようにすれば参加しやすいのか、参加できるのかを考え、問題点の改善に向けた方策に結びつけることを目的とします。

そして、障害児・者が交流する為の活動のみでなく、障害児・者が当たり前に参加でき、親や家族も安心して参画できる場づくりと必要な支援体制についての基礎資料を作成することを目的とします。

2. 事業の流れとスケジュール



3 . 事業の具体的内容

3 - 1 検討委員会の設置・運営

(1) 委員及び事務局名簿

委員

氏名	所属等
中野 純子	小浜市社会福祉課
時田 晴和	おおい町なごみ保健課
藤内 康代	高浜町福祉課
小林 大純	嶺南西養護学校
大竹 臣哉	いさざの会
森田 正富	身体障害者福祉連合会
中村 仁三	若狭家族会
大下 治夫	若狭つくし会
村上 美恵子	Cネットふくい 若狭事業所
畑 多佳子	小浜市母と子の家

事務局

氏名	役職
大下 治夫	事業責任者
清水 寛二	事業担当者
松本 匡司	
古谷 徳之	
野村 佳弘	
竹村 はるみ	
森本 純子	

(2) 検討委員会の実施

回	開催日時	開催場所	議題
第1回	平成23年 10月19日(水) 13:30~15:00	中央公民館	1. 推進事業の概要説明 2. アンケートについて 3. その他
第2回	平成24年 2月20日(月) 13:30~15:00	小浜市役所 4階 (大会議室)	1. 推進事業の進捗状況について 2. アンケートの考察について 3. その他
第3回	平成24年 3月13日(火) 13:00~14:00	福井県立図書 学習センター (研修室)	1. ヒアリング調査等の報告・検討 2. 報告書の検討 3. その他

3 - 2 障害のある人に対するアンケート調査の実施

アンケート調査内容

大項目	小項目
基礎的事項	性別、年齢、地域、家族の続柄、手帳の種類・等級
平日の昼間など、普段の活動場所について	1. 平日の昼間など、普段の活動場所 (会社、学校、施設、病院など)
外出について	1. 外出頻度(毎日、週2～3回、月に2～3回など) 2. 外出しやすくなるために必要なこと(交通機関の充実、利用する建物の整備、介助者、周囲の理解など)
余暇の過ごし方について	1. 平日の余暇活動の家の中での過ごし方 (テレビ、ビデオ・DVD、ゲーム、パソコン、読書など) 2. 休日の余暇活動の家の中での過ごし方 (テレビ、ビデオ・DVD、ゲーム、パソコン、読書など) 3. 平日の余暇活動の家の外での過ごし方 (買い物、スポーツ、散歩、映画・芸術鑑賞) 4. 休日の余暇活動の家の外での過ごし方 (買い物、スポーツ、散歩、映画・芸術鑑賞) 5. 平日の余暇活動を過ごす相手(一人、父親、母親、など) 6. 休日の余暇活動を過ごす相手(一人、父親、母親、など) 7. 本人が希望する余暇活動の過ごし方(自由に過ごしたい、くつろぎたい、スポーツをしたい、趣味の活動など) 8. 保護者が希望する余暇活動の過ごし方(自由に過ごしてほしい、くつろいでほしい、スポーツをしてほしい、趣味の活動など)
社会参加や余暇を過ごすための活動について	1. 希望する曜日や時間帯(該当する項目に○をつけてもらう) 2. 希望する活動内容(音楽活動、工作活動、野外活動など) 3. 社会参加・余暇を過ごす活動を利用する目的(自立のため、交友関係のため、興味関心のため、気分転換のためなど)
現在、これまでに参加した社会参加活動について	1. 現在参加している、またはこれまで参加した社会参加活動のうち、今後も参加したい、または参加してよかったと感じている活動(活動の名称や内容を自由に書いてもらう)
今後、参加したい活動について	1. 今後参加したい社会参加・余暇を過ごす活動(自由回答) 2. 活動に参加しやすくなるための支援(気軽に利用できるカルチャースクール、地域活動支援センター増加、ホームヘルパーが居宅でも余暇支援として利用できる、移動支援支給量の増加など)

3 - 3 団体・事業所・自治体に対するアンケート・ヒアリング調査の実施

(1) 団体・事業所に対するアンケート調査

調査内容

大項目	小項目
障害者の「余暇活動や地域交流活動」の状況について	1. 貴団体が実施している事業名・行事名・活動名 (実施しているものの名称及び概略、実施状況) 2. 利用者が参加している活動名 (参加している活動の名称及び概略、参加状況) 3. 余暇活動や地域交流活動の現状・課題 (参加促進・活性化しない理由等)
地域全体の取り組み、貴団体において行えることについて	1. 地域全体の取り組み (参加促進・活性化に向けて地域全体で行える取り組みや、必要な取り組みなど) 2. 貴団体の取り組み (参加促進・活性化に向けて貴団体で行える取り組みや、今後検討したい取り組みなど)

調査対象

アンケートを行った団体・事業所名		
嶺南西養護学校	嶺南東養護学校	若狭つくし会
おおい町社会福祉協議会	高浜町社会福祉協議会	小浜市社会福祉協議会
ケア・サービス・アイ小浜支部	はこべ福祉会	美浜町身体障害者福祉協会
ほっとハウス	つみきハウス	コミュニティーネットワークふくい
NPO 法人ヤングオールドほのほの 家族いまい	小浜市母と子の家児童デイケアサービスセンター	

(2) 自治体に対するヒアリング調査

調査内容

大項目	小項目
障害者の「余暇活動や地域交流活動」の状況について	1. 市町が実施している事業名・行事名・活動名 (実施しているものの名称及び概略、実施状況) 2. 余暇活動や地域交流活動の現状・課題(参加促進・活性化しない理由等)
地域全体の取り組み、市町において行えることについて	1. 地域全体の取り組み (参加促進・活性化に向けて地域全体で行える取り組みや、必要な取り組みなど) 2. 市町の取り組みや支援(参加促進・活性化に向けて市町が行える取り組みや支援、今後検討したい取り組み、予算化されていないアイデア等) 3. 各団体や事業所、住民の活動団体等に行ってほしいことや役割(余暇・地域交流活動への支援や取り組みで、行ってほしいこと、担ってほしい役割等)

調査対象

ヒアリングを行った市町				
小浜市	おおい町	高浜町	若狭町	美浜町

3 - 4 事例調査の実施

調査対象

事業所名	事業名	場所	
NPO法人 野洲ハンディキャップスポーツクラブワイワイ21	野洲市なかよし交流館	滋賀県野洲市	●
社会福祉法人 おおつ福祉会	こどもサークルロコ	滋賀県大津市	●
	きたくぶ	滋賀県大津市	●
社会福祉法人 しが夢翔会	ぼあん 障害者相談センターみゆう	滋賀県大津市	●
NPO法人 ぽかぽか	障害児放課後クラブぽかぽか	大阪府柏原市	●
NPO法人 ふれあいづスマイル	余暇活動支援センターふらっと	福島県会津若松市	
社会福祉法人 ライフサポート協会	障がい児者余暇生活支援センターじらふ	大阪府大阪市	
社会福祉法人 西陣会	地域活動支援センターふらっと	京都府京都市	●

●は現地調査を実施。それ以外は、アンケート調査を実施。

3 - 5 啓発事業の実施

事業内容

事業名	開催日時	開催場所
福祉講演会	12月11日(日) 14:00~16:00	小浜市総合福祉センター
障害者福祉研修会	3月13日(火) 14:00~16:00	福井県立若狭図書学習センター

4 . 地域の障害のある人を取り巻く状況

4 - 1 障害者手帳所持者数等

(人)

		20 年度	21 年度	22 年度
身体障害者手帳	小浜市	1,625	1,663	1,663
	若狭町	811	819	814
	高浜町	489	505	516
	美浜町	679	700	669
	おおい町	453	456	450
	合計	4,057	4,143	4,112
療育手帳	小浜市	215	224	213
	若狭町	100	103	116
	高浜町	58	62	64
	美浜町	84	87	87
	おおい町	60	60	59
	合計	517	536	539
精神障害者保健福祉手帳	小浜市	123	131	123
	若狭町	58	59	67
	高浜町	27	32	33
	美浜町	46	44	40
	おおい町	29	34	37
	合計	283	300	300
手帳所持者数合計	小浜市	1,963	2,018	1,999
	若狭町	969	981	997
	高浜町	574	599	613
	美浜町	809	831	796
	おおい町	542	550	546
	合計	4,857	4,979	4,951
自立支援医療制度(精神通院医療)受給者数	小浜市	262	275	299
	若狭町	121	115	137
	高浜町	66	65	62
	美浜町	96	94	90
	おおい町	53	61	63
	合計	598	610	651

※一人で複数の手帳を所持する人もいるため手帳所持者数合計と実人数は異なります。

4 - 2 各市町の人口及び障害者手帳所持者の占める割合

(人、%)

		20 年度	21 年度	22 年度
総人口	小浜市	32,155	31,981	31,746
	若狭町	16,730	16,643	16,459
	高浜町	11,516	11,402	11,287
	美浜町	10,962	10,906	10,772
	おおい町	8,979	8,889	8,832
	合計	80,342	79,821	79,096
障害者手帳所持者の 総人口に占める 割合	小浜市	6.1	6.3	6.3
	若狭町	5.8	5.9	6.1
	高浜町	5.0	5.3	5.4
	美浜町	7.4	7.6	7.4
	おおい町	6.0	6.2	6.2

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が合わない場合があります。

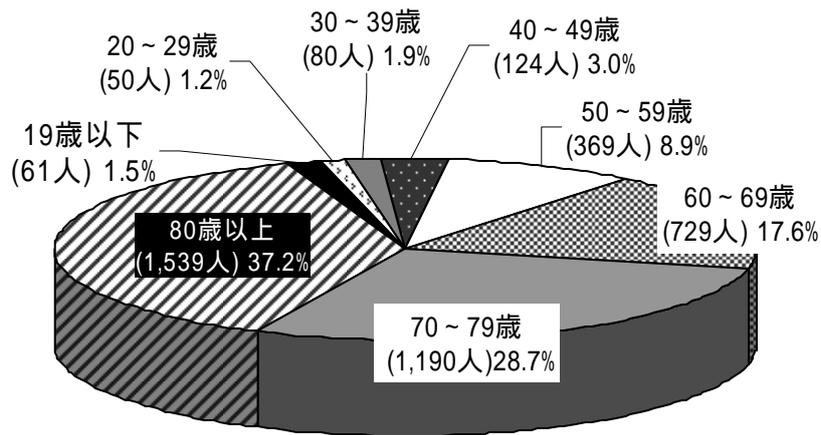
4 - 3 障害者手帳所持者の年齢別の状況（平成 24 年 3 月時点）

（人、％）

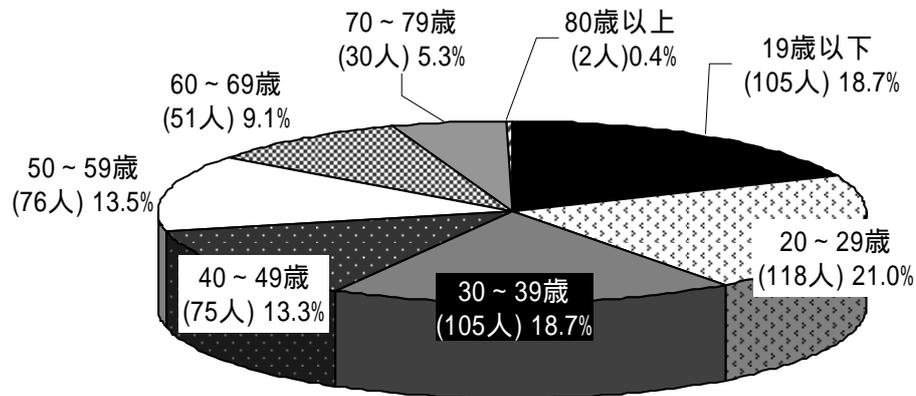
		19 歳 以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳 以上	計
小浜市	身体	25 (1.5)	17 (1.0)	31 (1.8)	68 (4.0)	155 (9.2)	276 (16.4)	468 (27.7)	648 (38.4)	1,688 (100.0)
	療育	38 (16.5)	52 (22.6)	36 (15.7)	36 (15.7)	25 (10.9)	22 (9.6)	20 (8.7)	1 (0.4)	230 (100.0)
	精神	5 (3.8)	7 (5.3)	17 (13.0)	26 (19.8)	38 (29.0)	25 (19.1)	13 (9.9)	0 (0.0)	131 (100.0)
若狭町	身体	15 (1.8)	10 (1.2)	17 (2.0)	14 (1.7)	77 (9.1)	153 (18.1)	261 (31.0)	296 (35.1)	843 (100.0)
	療育	27 (22.5)	19 (15.8)	29 (24.2)	15 (12.5)	16 (13.3)	11 (9.2)	3 (2.5)	0 (0.0)	120 (100.0)
	精神	1 (1.2)	7 (8.4)	13 (15.7)	18 (21.7)	19 (22.9)	19 (22.9)	5 (6.0)	1 (1.2)	83 (100.0)
高浜町	身体	10 (2.0)	5 (1.0)	8 (1.6)	13 (2.6)	35 (7.0)	100 (20.0)	33 (6.6)	95 (19.0)	499 (100.0)
	療育	16 (24.6)	8 (12.3)	19 (29.2)	9 (13.8)	6 (9.2)	3 (4.6)	3 (4.6)	1 (1.5)	65 (100.0)
	精神	0 (0.0)	1 (2.9)	8 (23.5)	6 (17.6)	9 (26.5)	9 (26.5)	1 (2.9)	0 (0.0)	34 (100.0)
美浜町	身体	7 (1.1)	12 (1.8)	15 (2.3)	19 (2.9)	63 (9.5)	113 (17.1)	199 (30.2)	232 (35.2)	660 (100.0)
	療育	13 (15.7)	23 (27.7)	13 (15.7)	10 (12.0)	15 (18.1)	8 (9.6)	1 (1.2)	0 (0.0)	83 (100.0)
	精神	2 (4.5)	3 (6.8)	4 (9.1)	10 (22.7)	9 (20.5)	14 (31.8)	2 (4.5)	0 (0.0)	44 (100.0)
おおい町	身体	4 (0.9)	6 (1.3)	9 (2.0)	10 (2.2)	39 (8.6)	87 (19.2)	129 (28.5)	168 (37.2)	452 (100.0)
	療育	11 (17.2)	16 (25.0)	8 (12.5)	5 (7.8)	14 (21.9)	7 (10.9)	3 (4.7)	0 (0.0)	64 (100.0)
	精神	1 (2.8)	4 (11.1)	5 (13.9)	8 (22.2)	12 (33.3)	4 (11.1)	2 (5.6)	0 (0.0)	36 (100.0)
合計	身体	61 (1.5)	50 (1.2)	80 (1.9)	124 (3.0)	369 (8.9)	729 (17.6)	1,190 (28.7)	1,539 (37.2)	4,142 (100.0)
	療育	105 (18.7)	118 (21.0)	105 (18.7)	75 (13.3)	76 (13.5)	51 (9.1)	30 (5.3)	2 (0.4)	562 (100.0)
	精神	9 (2.7)	22 (6.7)	47 (14.3)	68 (20.7)	87 (26.5)	71 (21.6)	23 (7.0)	1 (0.3)	328 (100.0)

※（ ）は割合、平成 24 年 3 月時点

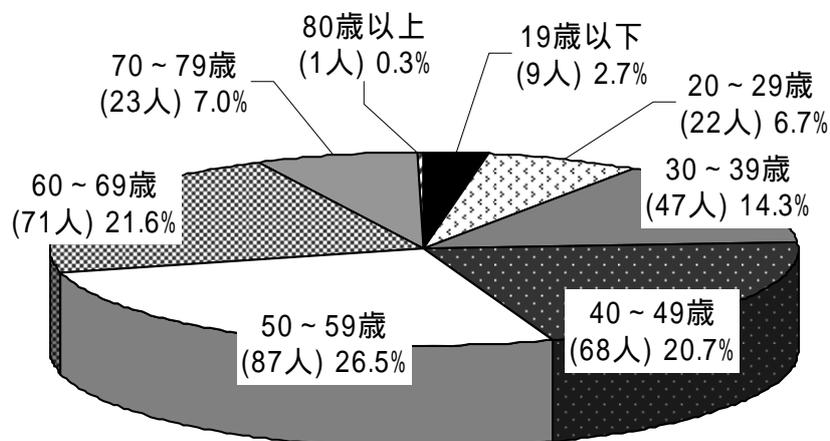
身体障害者手帳所持者の年齢別の状況（平成24年3月時点）



療育手帳所持者の年齢別の状況（平成24年3月時点）



精神障害者保健福祉手帳の年齢別の状況（平成24年3月時点）



4 - 4 障害福祉サービスの推移（各年度）

（人、千円）

		20年度	21年度	22年度
小浜市	支給決定者数	239	229	244
	実利用者数(A)	234	222	220
	総費用額(B)	324,767	365,348	388,175
	訪問系サービス	15,578	25,978	40,870
	日中活動系サービス	135,627	189,878	190,824
	居住系サービス	173,562	149,492	156,481
	一人当たり費用額(B÷A)	1,388	1,646	1,764
国一人当たり費用額()	1,822	1,967	1,993	
若狭町	支給決定者数	106	120	139
	実利用者数(A)	100	105	131
	総費用額(B)	174,974	211,026	222,791
	訪問系サービス	18,563	27,761	34,293
	日中活動系サービス	84,306	121,986	127,728
	居住系サービス	72,105	61,279	60,770
	一人当たり費用額(B÷A)	1,750	2,010	1,701
国一人当たり費用額()	1,822	1,967	1,993	
高浜町	支給決定者数	69	65	58
	実利用者数(A)	69	65	58
	総費用額(B)	99,981	101,553	113,777
	訪問系サービス	1,425	1,132	1,353
	日中活動系サービス	32,740	45,274	53,404
	居住系サービス	65,816	55,146	59,019
	一人当たり費用額(B÷A)	1,449	1,562	1,962
国一人当たり費用額()	1,822	1,967	1,993	
美浜町	支給決定者数	106	120	139
	実利用者数(A)	100	105	131
	総費用額(B)	174,974	211,026	222,791
	訪問系サービス	18,563	27,761	34,293
	日中活動系サービス	84,306	121,986	127,728
	居住系サービス	72,105	61,279	60,770
	一人当たり費用額(B÷A)	1,750	2,010	1,701
国一人当たり費用額()	1,822	1,967	1,993	
おおい町	支給決定者数	64	64	60
	実利用者数(A)	64	64	60
	総費用額(B)	101,214	111,129	119,071
	訪問系サービス	3,877	3,649	6,119
	日中活動系サービス	53,039	65,436	70,879
	居住系サービス	44,298	42,044	42,073
	一人当たり費用額(B÷A)	1,581	1,736	1,985
国一人当たり費用額()	1,822	1,967	1,993	

※「国一人当たり費用額」は、厚生労働省ホームページ「障害福祉サービス等の利用状況について」より

4 - 5 移動支援事業の推移（各年度）

（人、時間、千円）

		20 年度	21 年度	22 年度
小浜市	支給決定者数	90	108	127
	実利用者数	86	92	108
	延べ利用時間	5,747	6,433	6,657
	総費用額	9,527	11,525	12,608
若狭町	支給決定者数	7	8	10
	実利用者数	5	6	7
	延べ利用時間	841	1,140	1,083
	総費用額	1,306	1,888	1,798
高浜町	支給決定者数	14	11	13
	実利用者数	14	11	13
	延べ利用時間	419	357	269
	総費用額	1,050	809	752
美浜町	支給決定者数	6	6	3
	実利用者数	6	6	3
	延べ利用時間	584	883	968
	総費用額	931	1,222	1,318
おおい町	支給決定者数	11	12	10
	実利用者数	11	8	8
	延べ利用時間	501	749	850
	総費用額	686	1,124	1,291
合 計	支給決定者数	128	145	163
	実利用者数	122	123	139
	延べ利用時間	8,092	9,562	9,827
	総費用額	13,500	16,568	17,767

第2章 各種調査結果

1. アンケート調査結果

1-1 調査の概要

(1) 調査概要

- 1) 調査対象 : 小浜市、若狭町、高浜町、美浜町、おおい町の障害のある方
- 2) 調査期間 : 平成23年11月22日～平成23年12月16日
- 3) 調査方法 : 調査票による本人記入方式。地域内の事業所及び団体等を通じて配布、郵送による回収

(2) 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
1,140	470	41.2%

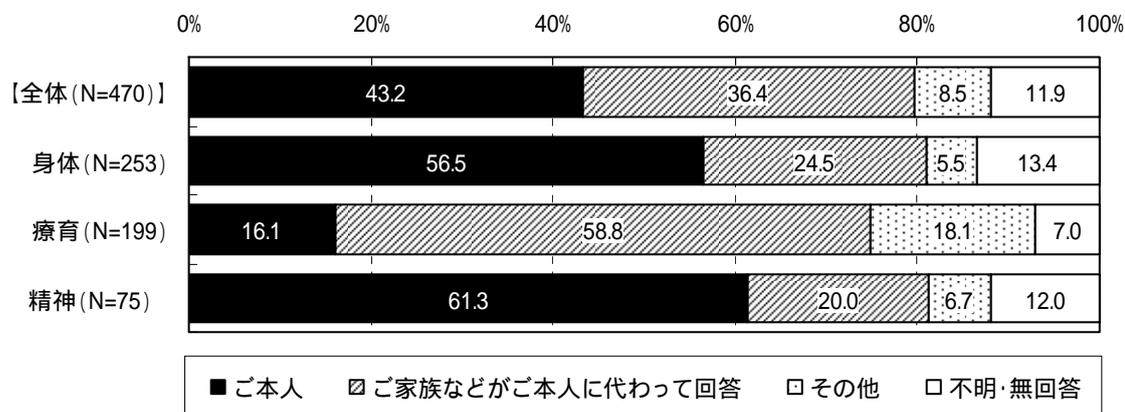
(3) アンケート調査結果の見方

- 1) 集計結果はすべて小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100%にならないことがある。
- 2) 複数回答の設問の場合、集計結果の合計が100%を超える。
- 3) グラフ及び表のサンプル数(N数)は、有効標本数(集計対象者総数)を表している。
- 4) 年齢別のクロス集計の場合、男性については合計値に年齢不詳分を含んでいる。

1 - 2 アンケート結果

(1) 回答者の属性

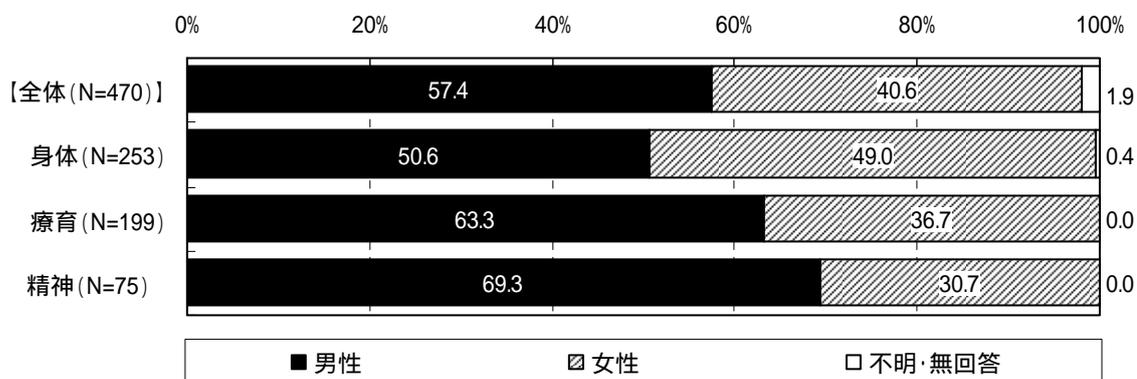
回答者（単数回答）



【回答者の属性】

内容	件数	内容	件数
施設職員	30	担当支援員	6

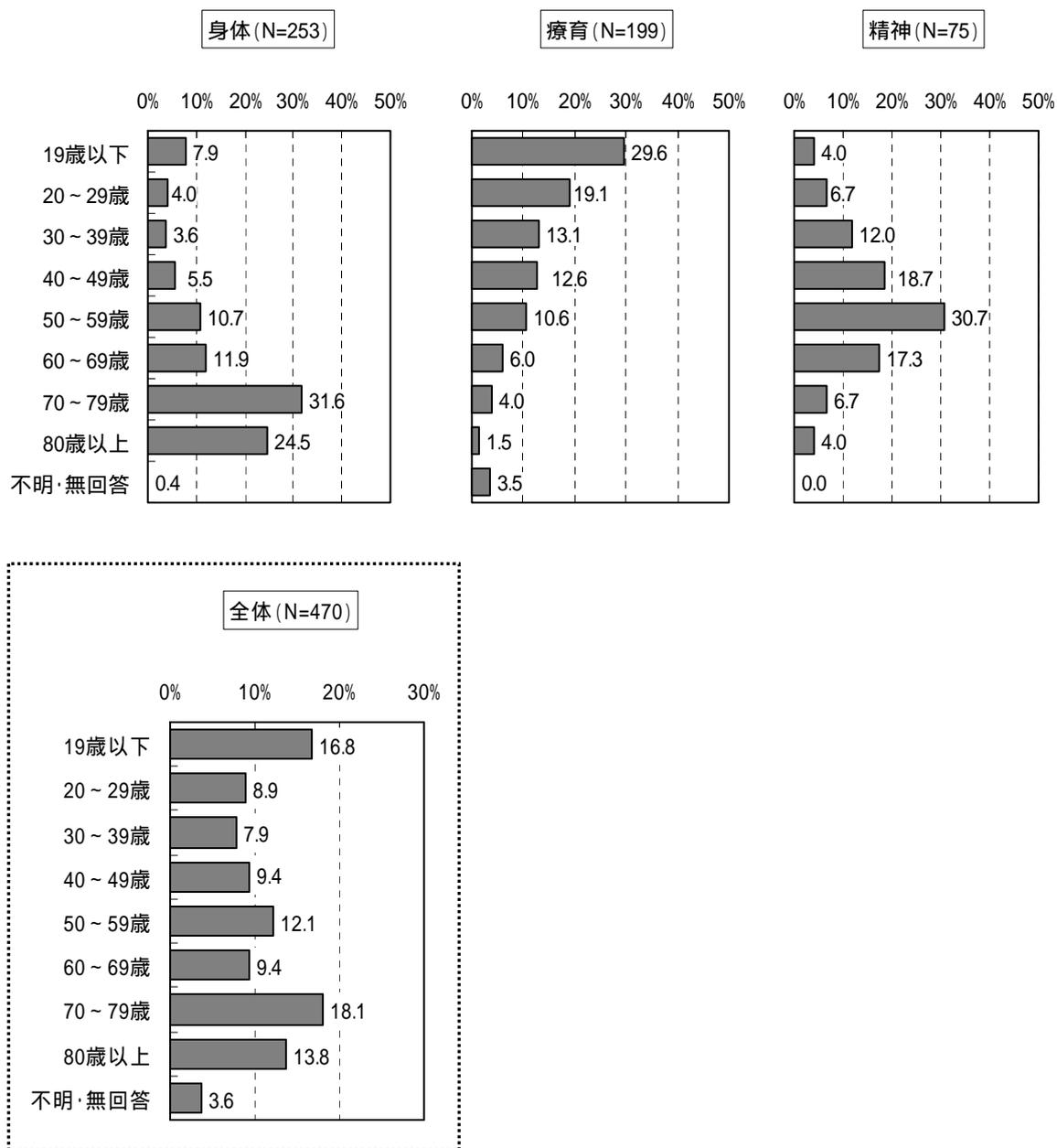
問1 性別（単数回答）



問2 年齢（単数回答）

回答者の年齢についてみると、身体障害者手帳所持者は「70～79歳（31.6%）」が最も高く、次いで「80歳以上（24.5%）」となっています。療育手帳所持者は「19歳以下（29.6%）」「20歳～29歳（19.1%）」の順で高くなっており、精神障害者保健福祉手帳所持者は「50～59歳（30.7%）」「40～49歳（18.7%）」となっています。

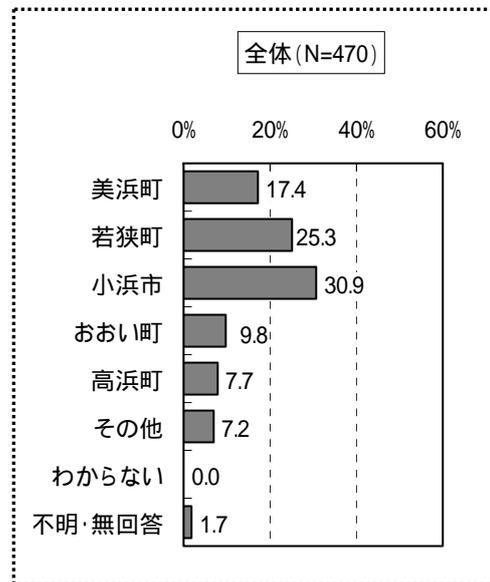
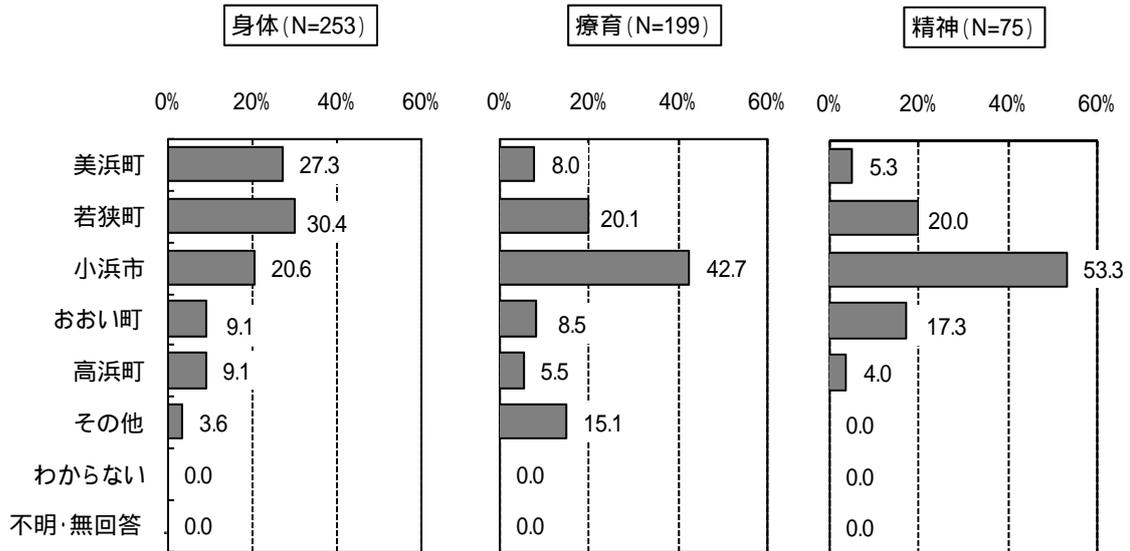
全体では、「70～79歳（18.1%）」「19歳以下（16.8%）」となっています。



問3 お住まいの地域（単数回答）

居住地についてみると、身体障害者手帳所持者は「若狭町（30.4%）」が最も高く、次いで「美浜町（27.3%）」となっています。療育手帳所持者・精神保健福祉手帳所持者はともに「小浜市（42.7%・53.3%）」が最も高くなっており、次いで「若狭町（20.1%・20.0%）」となっています。

全体では、「小浜市（30.9%）」「若狭町（25.3%）」となっています。



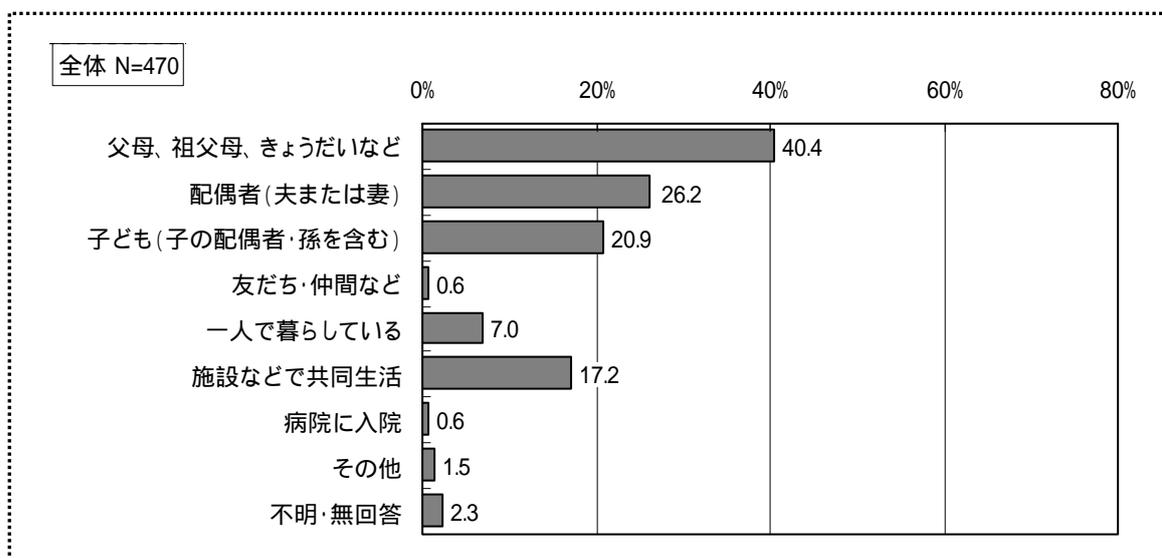
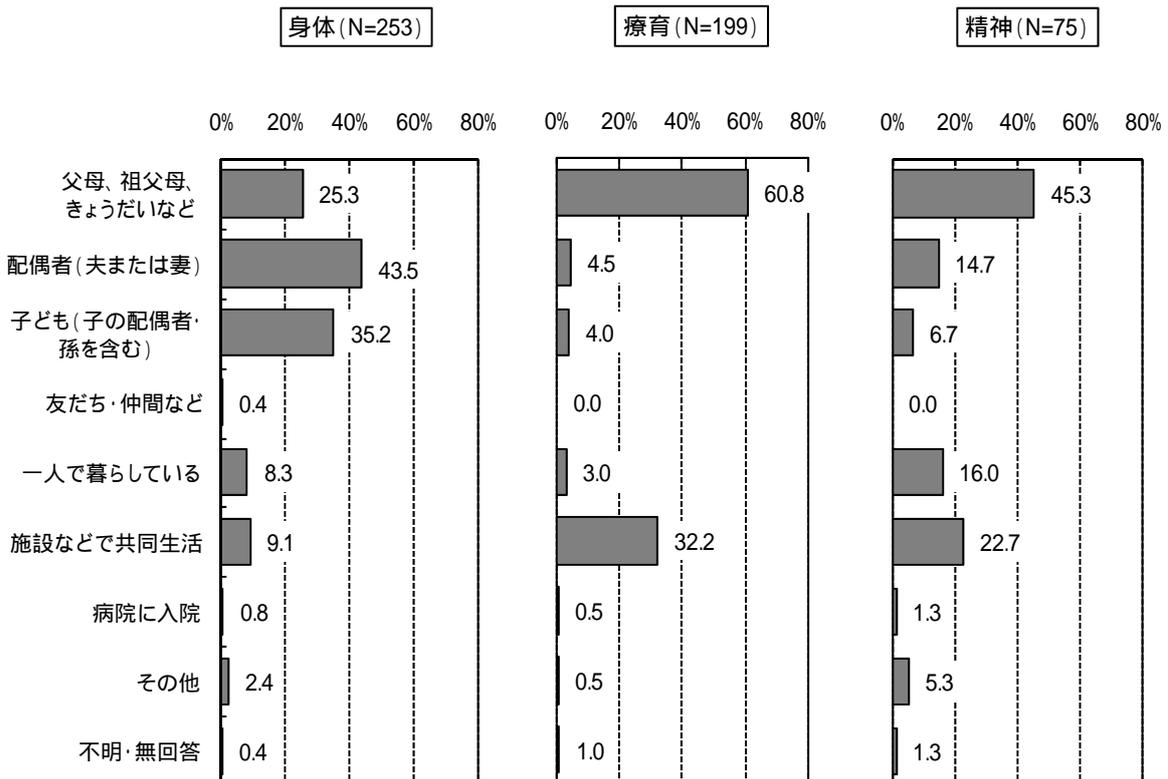
【問3 その他回答】

内容	件数
敦賀市	32

問4 現在、あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか（複数回答）

同居者についてみると、身体障害者手帳所持者は「配偶者(夫または妻)(43.5%)」が最も高く、次いで「子ども(子の配偶者・孫を含む)(35.2%)」となっています。療育手帳所持者・精神保健福祉手帳所持者はともに「父母、祖父母、きょうだいなど(60.8%・45.3%)」が最も高くなっており、次いで「施設などで共同生活(32.2%・22.7%)」となっています。

全体では、「父母、祖父母、きょうだいなど(40.4%)」「配偶者(夫または妻)(26.2%)」となっています。



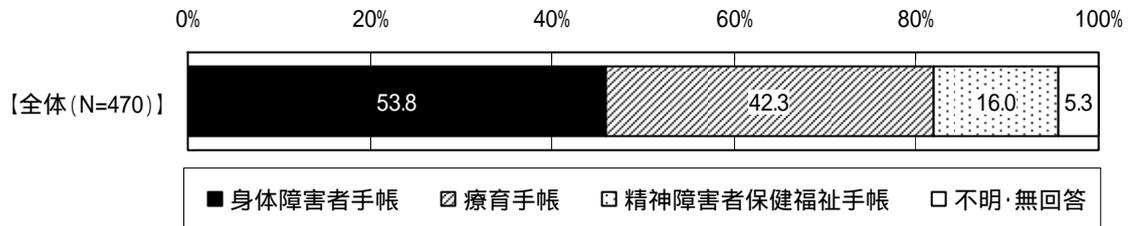
【問4 その他回答】

内容	件数	内容	件数
義姉妹	2	就労移行支援事業所 つくし寮	1
甥	2	農業研修生受入の外国人	1
グループホーム	1		

問5 あなたがお持ちの障害者手帳について（複数回答）

所持手帳についてみると、「身体障害者手帳（53.8%）」の手帳の等級は「1級（30.8%）」が最も高く、障害の内容・原因は「肢体不自由・疾病（50.2%・24.9%）」が最も高くなっています。

「療育手帳（42.3%）」「精神障害者保健福祉手帳（16.0%）」の手帳の判定・等級は「A1（41.2%）」「2級（56.0%）」が最も高くなっています

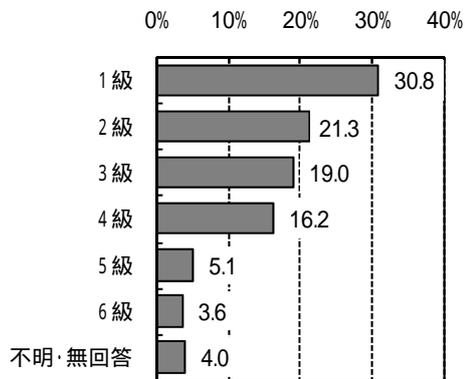


全調査対象者分の手帳所持者の割合であり、重複手帳所持者を含むため、100%を超えている

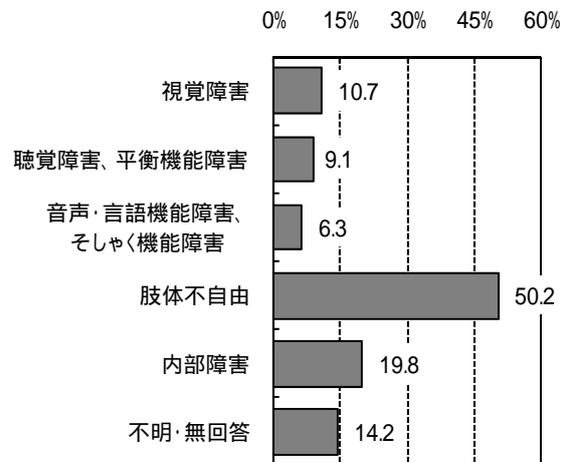
身体障害者手帳所持者の等級、障害の種類、障害の原因

身体 (N=253)

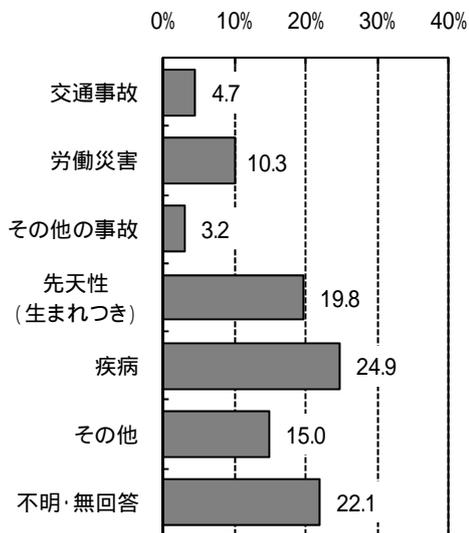
【手帳の等級】



【障害の内容】



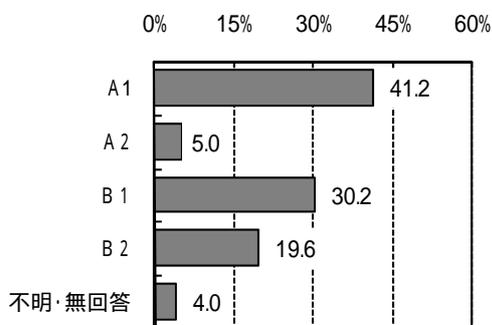
【障害の原因】



療育手帳所持者の判定

療育 (N=199)

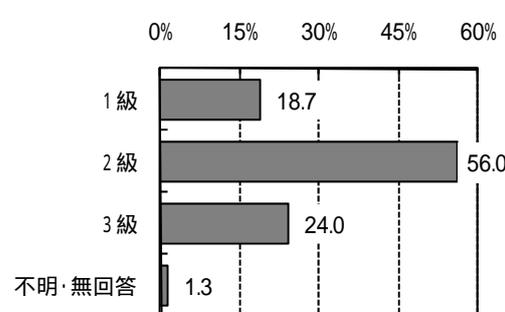
【手帳の判定】



精神障害者保健福祉手帳の等級

精神 (N=75)

【手帳の等級】



【問5 その他回答】

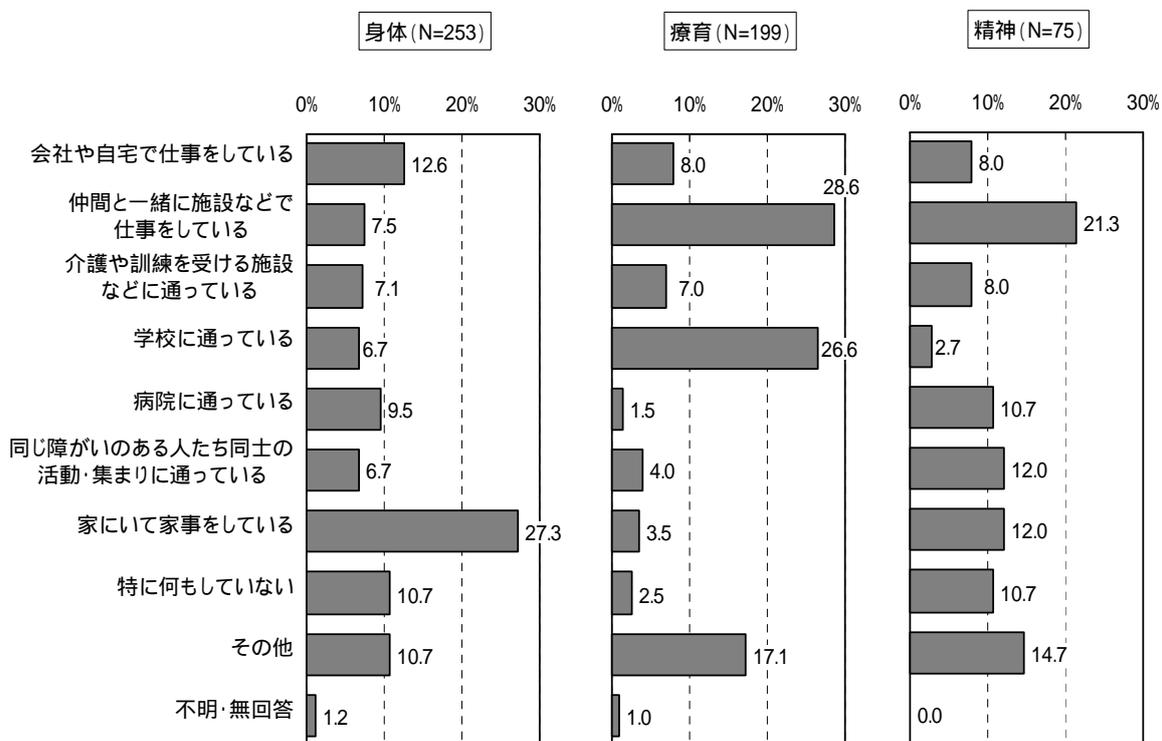
内容	件数	内容	件数
関節リウマチ	3	小脳出血	1
老化により	3	脳腫瘍	1
心臓機能障害	2	インフルエンザ脳症	1
原因不明	2	癲癇	1
陳旧性心筋梗塞	1	血族結婚	1
心筋梗塞	1	股関節痛	1
未熟児	1	突発性骨壊死	1
出産異常	1	人格の平等失格	1
火傷	1		

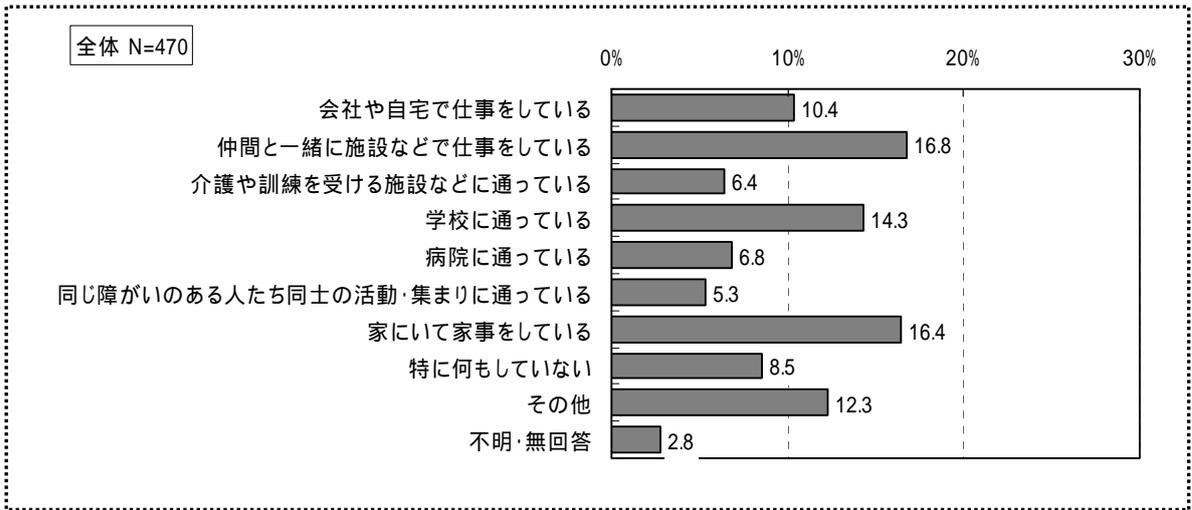
(2) 平日の昼間など、普段の活動場所について

問6 平日の昼間など、普段、どのような場所で活動していますか(単数回答)

日中の過ごし方についてみると、身体障害者手帳所持者は「家にいて家事をしている(27.3%)」が最も高く、次いで「会社や自宅で仕事をしている(12.6%)」となっています。療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者はともに「仲間と一緒に施設などで仕事をしている(28.6%・21.3%)」が最も高く、次いで療育手帳所持者は「学校に通っている(26.6%)」、精神障害者保健福祉手帳所持者は「同じ障害のある人たち同士の活動・集まりに通っている、家にいて家事をしている(12.0%)」となっています。

全体では、「仲間と一緒に施設などで仕事をしている(16.8%)」「家にいて家事をしている(16.4%)」となっています。





【問6 年齢別】

【身 体】	上段:度数	会社や自宅で 仕事をして いる	仲間と一緒に 施設などで 仕事をして いる	介護や訓練を 受ける施設 などに通っ ている	学校に 通っている	病院に 通っている	同じ障がい のある人た ち同士の活 動・集まり に通って いる
	下段:%						
19歳以下 (N=20)	1	5.0	1	5.0	17	85.0	-
20～29歳 (N=10)	1	10.0	3	30.0	4	40.0	10.0
30～39歳 (N=9)	2	22.2	2	22.2	2	22.2	11.1
40～49歳 (N=14)	1	7.1	6	42.9	2	14.3	7.1
50～59歳 (N=27)	4	14.8	4	14.8	2	7.4	11.1
60～69歳 (N=30)	5	16.7	-	-	-	4	13.3
70～79歳 (N=80)	8	10.0	1	1.3	4	5.0	12.5
80歳以上 (N=62)	10	16.1	1	1.6	3	4.8	12.9

【身 体】	上段:度数	家において家事 をしている	特に何もして いない	その他	不明・無回答
	下段:%				
19歳以下 (N=20)	-	-	-	-	-
20～29歳 (N=10)	-	-	-	1	10.0
30～39歳 (N=9)	-	-	-	2	22.2
40～49歳 (N=14)	-	-	-	4	28.6
50～59歳 (N=27)	4	14.8	4	14.8	11.1
60～69歳 (N=30)	4	13.3	11	36.7	10.0
70～79歳 (N=80)	41	51.3	5	6.3	7.5
80歳以上 (N=62)	20	32.3	7	11.3	12.9

【知的】	上段:度数	会社や自宅で 仕事をしている	仲間と一緒に 施設などで 仕事をしている	介護や訓練を 受ける施設 などに通って いる	学校に 通っている	病院に 通っている	同じ障がい のある人たち 同士の活動・ 集まりに通っ ている
	下段:%						
	19歳以下 (N=59)	3 5.1	3 5.1	- -	52 88.1	- -	- -
	20～29歳 (N=38)	6 15.8	13 34.2	8 21.1	1 2.6	1 2.6	4 10.5
	30～39歳 (N=26)	3 11.5	15 57.7	2 7.7	- -	- -	1 3.8
	40～49歳 (N=25)	1 4.0	14 56.0	2 8.0	- -	- -	- -
	50～59歳 (N=21)	1 4.8	6 28.6	1 4.8	- -	- -	1 4.8
	60～69歳 (N=12)	1 8.3	2 16.7	- -	- -	1 8.3	2 16.7
	70～79歳 (N=8)	- -	2 25.0	1 12.5	- -	- -	- -
	80歳以上 (N=3)	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -

【知的】	上段:度数	家にいて家事 をしている	特に何もして いない	その他	不明・無回答
	下段:%				
	19歳以下 (N=59)	- -	- -	1 1.7	- -
	20～29歳 (N=38)	- -	- -	4 10.5	1 2.6
	30～39歳 (N=26)	- -	1 3.8	4 15.4	- -
	40～49歳 (N=25)	1 4.0	- -	7 28.0	- -
	50～59歳 (N=21)	2 9.5	3 14.3	7 33.3	- -
	60～69歳 (N=12)	- -	1 8.3	5 41.7	- -
	70～79歳 (N=8)	2 25.0	- -	3 37.5	- -
	80歳以上 (N=3)	2 66.7	- -	- -	- -

【精神】	上段:度数	会社や自宅で 仕事をしている	仲間と一緒に 施設などで 仕事をしている	介護や訓練を 受ける施設 などに通って いる	学校に通って いる	病院に通って いる	同じ障がいの ある人たち 同士の活動・ 集まりに通っ ている
	下段:%						
	19歳以下 (N=3)	-	1 33.3	-	2 66.7	-	-
	20～29歳 (N=5)	1 20.0	2 40.0	-	-	-	1 20.0
	30～39歳 (N=9)	-	-	4 44.4	-	1 11.1	2 22.2
	40～49歳 (N=14)	2 14.3	6 42.9	2 14.3	-	1 7.1	-
	50～59歳 (N=23)	1 4.3	6 26.1	-	-	2 8.7	3 13.0
	60～69歳 (N=13)	2 15.4	1 7.7	-	-	3 23.1	2 15.4
	70～79歳 (N=5)	-	-	-	-	-	1 20.0
	80歳以上 (N=3)	-	-	-	-	1 33.3	-

【精神】	上段:度数	家にいて家事 をしている	特に何もして いない	その他	不明・無回答
	下段:%				
	19歳以下 (N=3)	-	-	-	-
	20～29歳 (N=5)	-	1 20.0	-	-
	30～39歳 (N=9)	-	1 11.1	1 11.1	-
	40～49歳 (N=14)	-	1 7.1	2 14.3	-
	50～59歳 (N=23)	3 13.0	2 8.7	6 26.1	-
	60～69歳 (N=13)	2 15.4	2 15.4	1 7.7	-
	70～79歳 (N=5)	3 60.0	-	1 20.0	-
	80歳以上 (N=3)	1 33.3	1 33.3	-	-

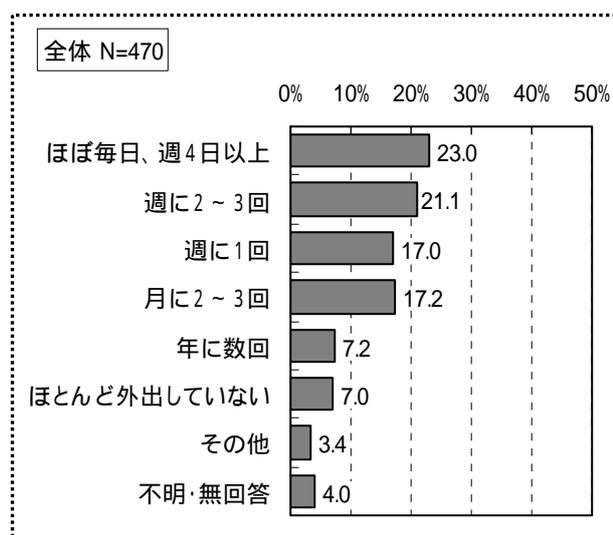
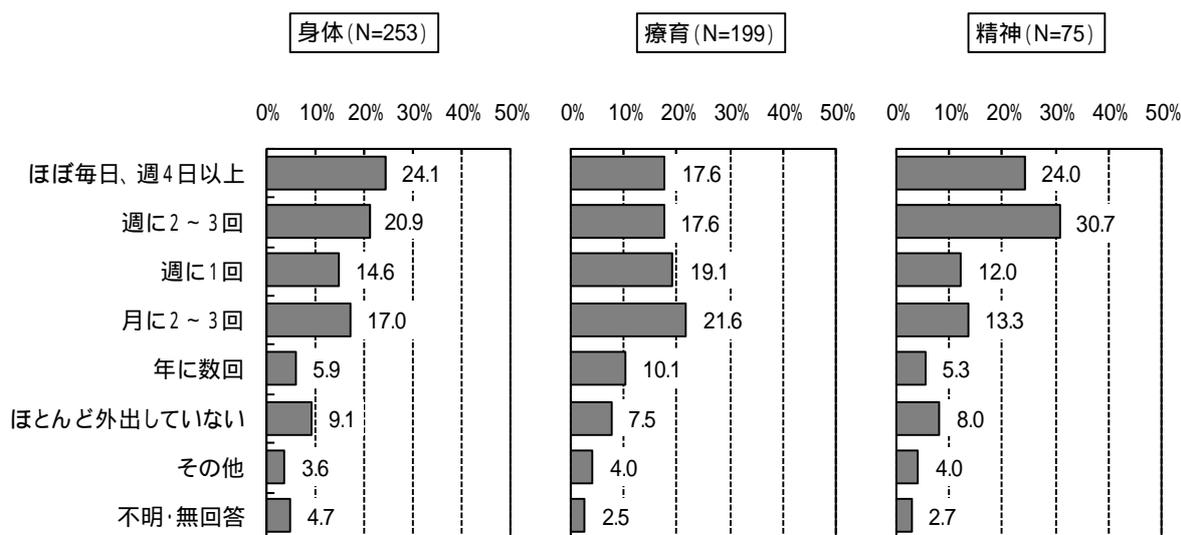
【問6 その他回答】

内容	件数	内容	件数
施設入所生活	32	散歩	1
デイケアサービス	6	洗濯物を取り込み畳む	1
読書	3	草取り	1
テレビ観賞	3	カラオケ	1
音楽やラジオを聴く	2	母と子の家	1
家事手伝い(食事の準備、洗濯物の取り込み等)	2	多機能型就労支援事業所	1
畑仕事や草取り	2	パソコンでネットサークル	1
自営業手伝い	1	ドライブ	1
内職	1	いろいろ	1

(3) 外出について

問7 どの程度外出していますか(通園、通学、通院、通所を除く)(単数回答)

外出の頻度についてみると、身体障害者手帳所持者は「ほぼ毎日、週4日以上(24.1%)」が最も高く、次いで「週に2~3回(20.9%)」となっています。療育手帳所持者は「月に2~3回(21.6%)」「週に1回(19.1%)」の順で高くなっており、精神障害者保健福祉手帳所持者は「週に2~3回(30.7%)」「ほぼ毎日、週4日以上(24.0%)」となっています。



【問7 年齢別】

	上段:度数	ほぼ毎日、	週に	週に1回	月に	年に数回	ほとんど	その他	不明・
	下段:%	週4日以上	2~3回		2~3回		外出して		無回答
							いない		
【身 体】	19歳以下 (N=20)	4 20.0	3 15.0	4 20.0	6 30.0	1 5.0	2 10.0	-	-
	20~29歳 (N=10)	2 20.0	2 20.0	1 10.0	4 40.0	-	-	1 10.0	-
	30~39歳 (N=9)	3 33.3	2 22.2	1 11.1	2 22.2	-	1 11.1	-	-
	40~49歳 (N=14)	2 14.3	2 14.3	1 7.1	3 21.4	3 21.4	2 14.3	1 7.1	-
	50~59歳 (N=27)	5 18.5	7 25.9	6 22.2	4 14.8	1 3.7	2 7.4	1 3.7	1 3.7
	60~69歳 (N=30)	8 26.7	5 16.7	3 10.0	4 13.3	2 6.7	4 13.3	-	4 13.3
	70~79歳 (N=80)	25 31.3	18 22.5	15 18.8	11 13.8	3 3.8	2 2.5	2 2.5	4 5.0
	80歳以上 (N=62)	12 19.4	13 21.0	6 9.7	9 14.5	5 8.1	10 16.1	4 6.5	3 4.8

	上段:度数	ほぼ毎日、	週に	週に1回	月に	年に数回	ほとんど	その他	不明・
	下段:%	週4日以上	2~3回		2~3回		外出して		無回答
							いない		
【知 的】	19歳以下 (N=59)	12 20.3	16 27.1	19 32.2	7 11.9	1 1.7	2 3.4	-	2 3.4
	20~29歳 (N=38)	7 18.4	7 18.4	11 28.9	5 13.2	2 5.3	2 5.3	2 5.3	2 5.3
	30~39歳 (N=26)	8 30.8	3 11.5	3 11.5	8 30.8	2 7.7	1 3.8	1 3.8	-
	40~49歳 (N=25)	2 8.0	-	3 12.0	6 24.0	6 24.0	4 16.0	3 12.0	1 4.0
	50~59歳 (N=21)	4 19.0	2 9.5	1 4.8	4 19.0	6 28.6	3 14.3	1 4.8	-
	60~69歳 (N=12)	1 8.3	1 8.3	1 8.3	6 50.0	1 8.3	2 16.7	-	-
	70~79歳 (N=8)	-	2 25.0	-	4 50.0	1 12.5	-	1 12.5	-
	80歳以上 (N=3)	-	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-

	上段:度数	ほぼ毎日、	週に	週に1回	月に	年に数回	ほとんど	その他	不明・
	下段:%	週4日以上	2~3回		2~3回		外出して		無回答
							いない		
【精 神】	19歳以下 (N=3)	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-
	20~29歳 (N=5)	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0	1 20.0	-	-	-
	30~39歳 (N=9)	3 33.3	5 55.6	-	-	-	1 11.1	-	-
	40~49歳 (N=14)	4 28.6	3 21.4	3 21.4	3 21.4	-	1 7.1	-	-
	50~59歳 (N=23)	3 13.0	9 39.1	2 8.7	2 8.7	2 8.7	2 8.7	1 4.3	2 8.7
	60~69歳 (N=13)	4 30.8	2 15.4	3 23.1	2 15.4	1 7.7	1 7.7	-	-
	70~79歳 (N=5)	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	1 20.0	-
	80歳以上 (N=3)	-	1 33.3	-	-	-	1 33.3	1 33.3	-

【問7 手帳の等級別】

【身 体】	上段:度数	ほぼ毎日、 週4日以上	週に 2～3回	週に1回	月に 2～3回	年に数回	ほとんど 外出して いない	その他	不明・ 無回答
	下段:%								
1級 (N=78)	11 14.1	14 17.9	9 11.5	19 24.4	6 7.7	10 12.8	6 7.7	3 3.8	
2級 (N=54)	13 24.1	11 20.4	11 20.4	8 14.8	4 7.4	4 7.4	3 5.6	- -	
3級 (N=48)	12 25.0	14 29.2	8 16.7	5 10.4	2 4.2	2 4.2	- -	5 10.4	
4級 (N=41)	13 31.7	7 17.1	5 12.2	8 19.5	3 7.3	4 9.8	- -	1 2.4	
5級 (N=13)	4 30.8	1 7.7	3 23.1	1 7.7	- -	2 15.4	- -	2 15.4	
6級 (N=9)	6 66.7	2 22.2	- -	- -	- -	- -	- -	1 11.1	

【知 的】	上段:度数	ほぼ毎日、 週4日以上	週に 2～3回	週に1回	月に 2～3回	年に数回	ほとんど 外出して いない	その他	不明・ 無回答
	下段:%								
A1 (N=82)	16 19.5	9 11.0	15 18.3	21 25.6	7 8.5	8 9.8	4 4.9	2 2.4	
A2 (N=10)	3 30.0	2 20.0	- -	1 10.0	3 30.0	1 10.0	- -	- -	
B1 (N=60)	9 15.0	12 20.0	13 21.7	16 26.7	3 5.0	4 6.7	2 3.3	1 1.7	
B2 (N=39)	7 17.9	10 25.6	10 25.6	2 5.1	6 15.4	2 5.1	- -	2 5.1	

【精 神】	上段:度数	ほぼ毎日、 週4日以上	週に 2～3回	週に1回	月に 2～3回	年に数回	ほとんど 外出して いない	その他	不明・ 無回答
	下段:%								
1級 (N=14)	1 7.1	2 14.3	1 7.1	4 28.6	2 14.3	3 21.4	1 7.1	- -	
2級 (N=42)	10 23.8	14 33.3	6 14.3	6 14.3	1 2.4	2 4.8	2 4.8	1 2.4	
3級 (N=18)	6 33.3	7 38.9	2 11.1	- -	1 5.6	1 5.6	- -	1 5.6	

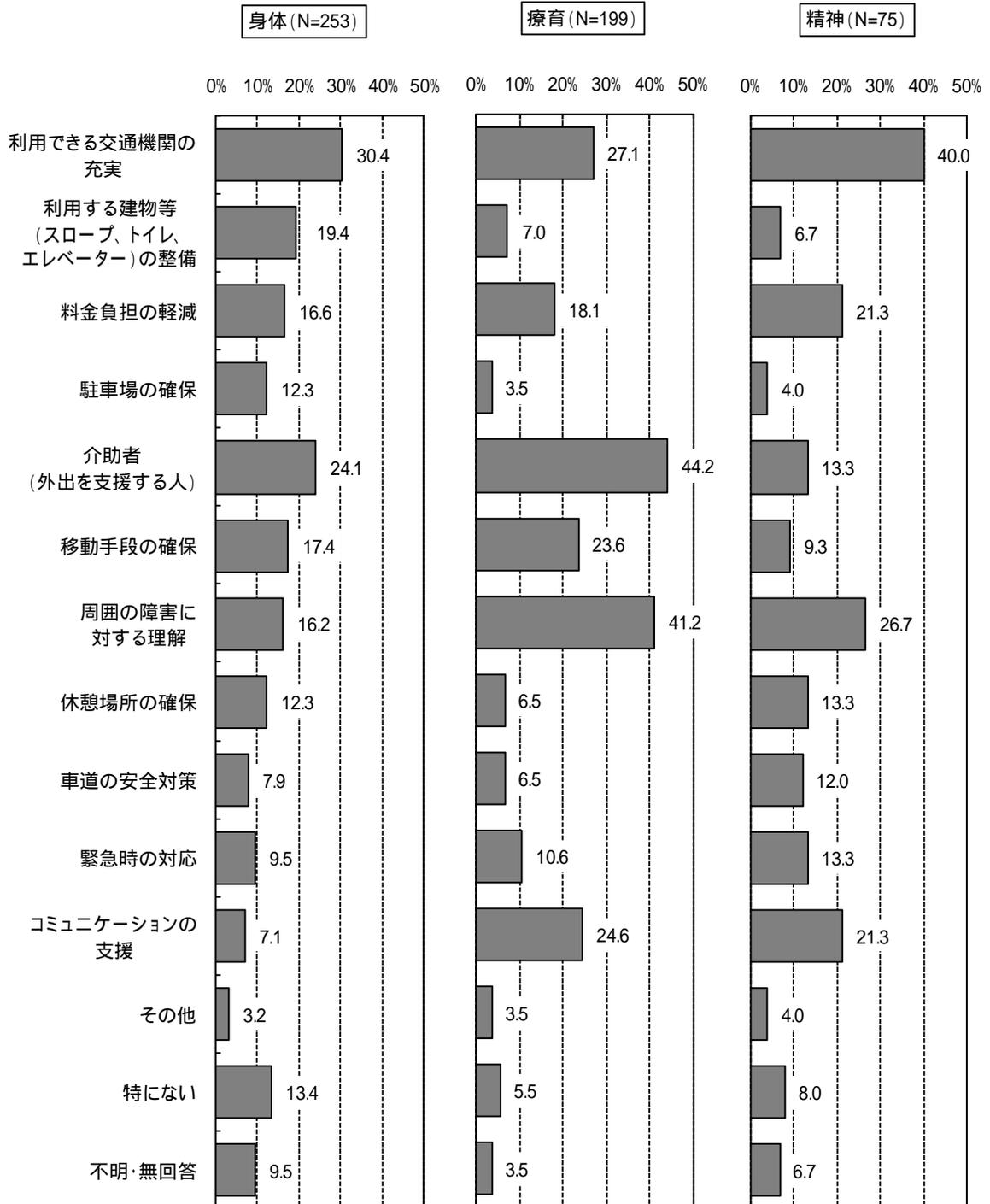
【問7 その他回答】

内容	件数	内容	件数
月に1～2回	2	月1回	1
全然外出が出来ない	1	決まっていない	1
コンビニ たまに行く	1	通院の予定日4回(毎月月曜日)	1
月に1回程度	1	散髪	1
自分の部屋	1	年に2回	1
気候のうつり替りに 思いつくまま家族と共に ドライブに行っている	1	高齢者のため出来るだけ外出は せず園内で静養したい	1
入院中の病院から年1回の バスハイキング・外泊	1	施設に入っているので どの程度かわからない	1

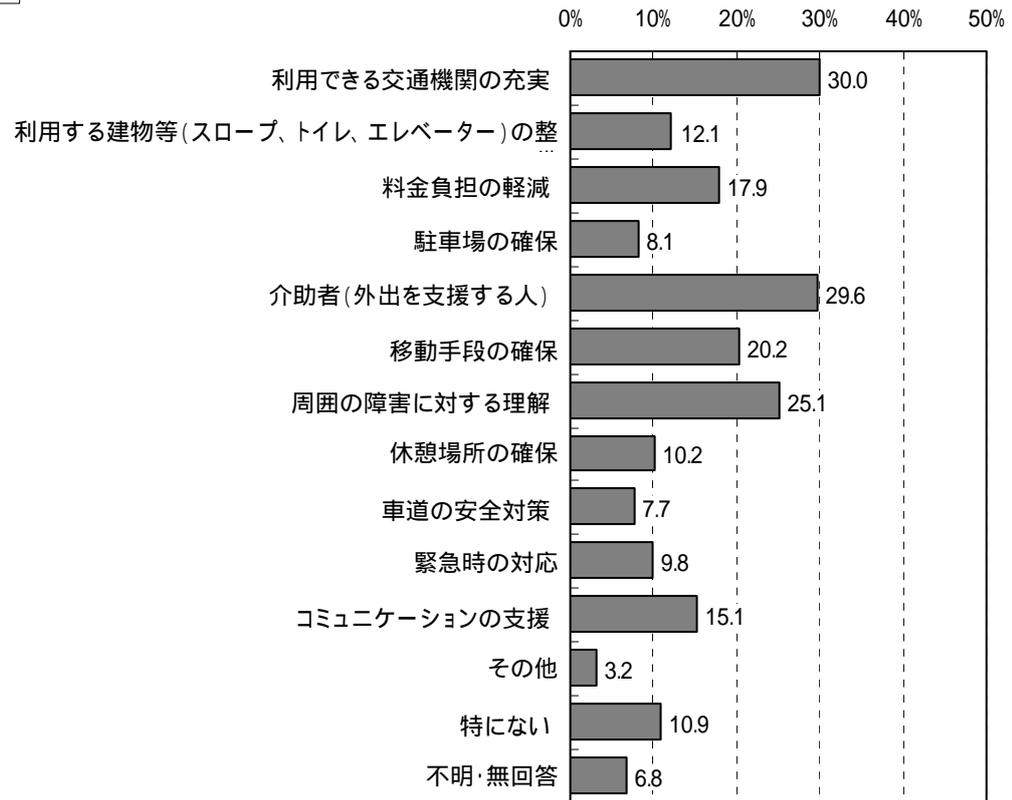
問8 外出しやすくなるためには何が必要ですか（複数回答）

外出しやすくなるために必要なことについてみると、身体障害者手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者ともに「利用できる交通機関の充実（30.4%・40.0%）」が最も高く、次いで身体障害者手帳所持者は「介助者（外出を支援する人）（24.1%）」、精神障害者保健福祉手帳所持者は「周囲の障害に対する理解（26.7%）」となっています。一方、療育手帳所持者では「介助者（外出を支援する人）（44.2%）」「周囲の障害に対する理解（41.2%）」とこの2つが4割を超えています。

全体では、「利用できる交通機関の充実（30.0%）」「介助者（外出を支援する人）（29.6%）」となっています。



全体 N=470



【問8 その他回答】

内容	件数	内容	件数
友達同士のお誘い	1	医師の許可(車の運転許可)	1
自分で車を使用して外出	1	自己の気分	1
利用・活動する場所が少ない	1	友達	1
利用出来る施設の拡充	1	外出したい場所	1
就職支援	1	障害者家族との交流	1
おむつを替える時のベッドが トイレに無い場合が多く、あっても 赤ちゃん用なので小さくて 替えにくい(回答者：7歳)	1	トゥモローに勤めている人が 行けばついてくれる ほったらかしにしない	1
		公共施設に於ける車椅子の常備	1

【問8 手帳の等級別】

【身 体】	上段:度数	利用できる交通機関の充実	利用する建物等(スロープ、トイレ、エレベーター)の整備	料金負担の軽減	駐車場の確保	介助者(外出を支援する人)	移動手段の確保	周囲の障害に対する理解
	下段:%							
1級(N=78)	24	21	13	6	24	17	15	
	30.8	26.9	16.7	7.7	30.8	21.8	19.2	
	16	12	6	5	19	14	11	
	29.6	22.2	11.1	9.3	35.2	25.9	20.4	
	15	6	9	7	6	5	7	
	31.3	12.5	18.8	14.6	12.5	10.4	14.6	
4級(N=41)	12	8	11	10	8	5	4	
	29.3	19.5	26.8	24.4	19.5	12.2	9.8	
5級(N=13)	4	1	1	-	2	-	2	
	30.8	7.7	7.7	-	15.4	-	15.4	
6級(N=9)	1	1	1	2	-	-	1	
	11.1	11.1	11.1	22.2	-	-	11.1	

【身 体】	上段:度数	休憩場所の確保	車道の安全対策	緊急時の対応	コミュニケーションの支援	その他	特にない	不明・無回答
	下段:%							
1級(N=78)	8	3	7	4	2	9	8	
	10.3	3.8	9.0	5.1	2.6	11.5	10.3	
	6	8	8	5	3	4	3	
	11.1	14.8	14.8	9.3	5.6	7.4	5.6	
	8	3	1	3	-	8	8	
	16.7	6.3	2.1	6.3	-	16.7	16.7	
4級(N=41)	6	2	6	4	2	5	1	
	14.6	4.9	14.6	9.8	4.9	12.2	2.4	
5級(N=13)	2	-	1	1	-	5	2	
	15.4	-	7.7	7.7	-	38.5	15.4	
6級(N=9)	1	3	-	-	-	2	1	
	11.1	33.3	-	-	-	22.2	11.1	

【知 的】	上段:度数	利用できる交通機関の充実	利用する建物等(スロープ、トイレ、エレベーター)の整備	料金負担の軽減	駐車場の確保	介助者(外出を支援する人)	移動手段の確保	周囲の障害に対する理解
	下段:%							
A 1(N=82)	17	11	11	5	50	24	35	
	20.7	13.4	13.4	6.1	61.0	29.3	42.7	
A 2(N=10)	3	-	-	-	3	3	5	
	30.0	-	-	-	30.0	30.0	50.0	
B 1(N=60)	15	1	10	2	22	9	30	
	25.0	1.7	16.7	3.3	36.7	15.0	50.0	
B 2(N=39)	16	2	12	-	9	10	12	
	41.0	5.1	30.8	-	23.1	25.6	30.8	

【知 的】	上段:度数	休憩場所の確保	車道の安全対策	緊急時の対応	コミュニケーションの支援	その他	特にない	不明・無回答
	下段:%							
A 1(N=82)	7	5	7	13	4	5	2	
	8.5	6.1	8.5	15.9	4.9	6.1	2.4	
A 2(N=10)	-	-	1	2	1	-	-	
	-	-	10.0	20.0	10.0	-	-	
B 1(N=60)	5	3	8	22	1	4	2	
	8.3	5.0	13.3	36.7	1.7	6.7	3.3	
B 2(N=39)	1	4	5	9	1	2	3	
	2.6	10.3	12.8	23.1	2.6	5.1	7.7	

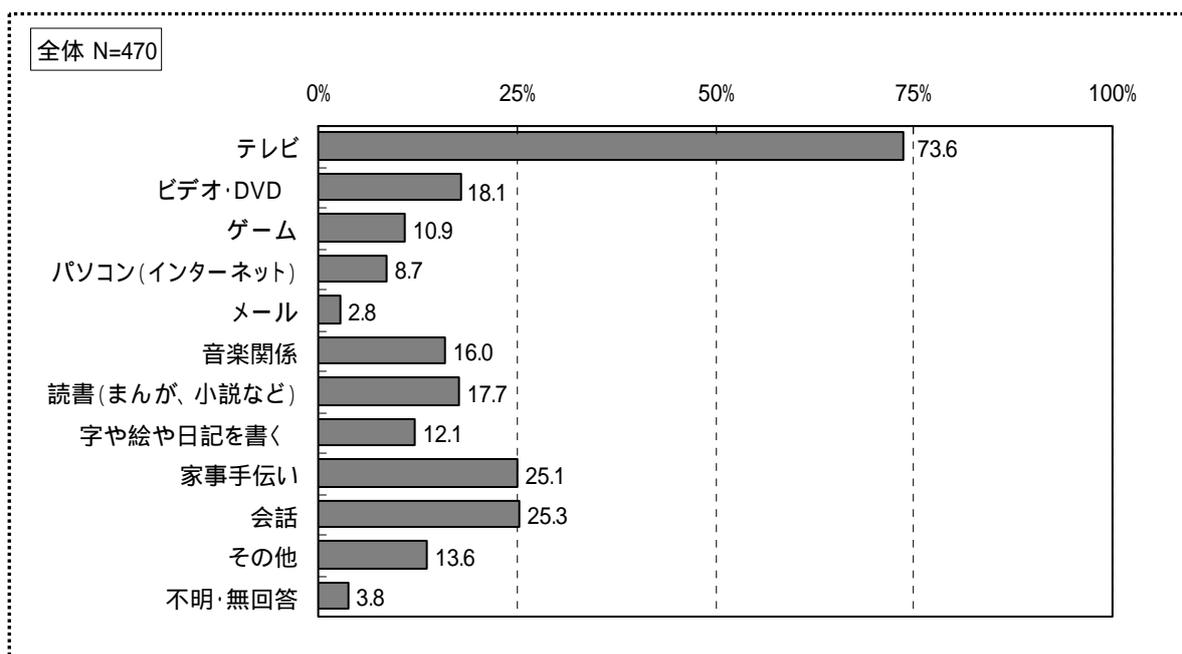
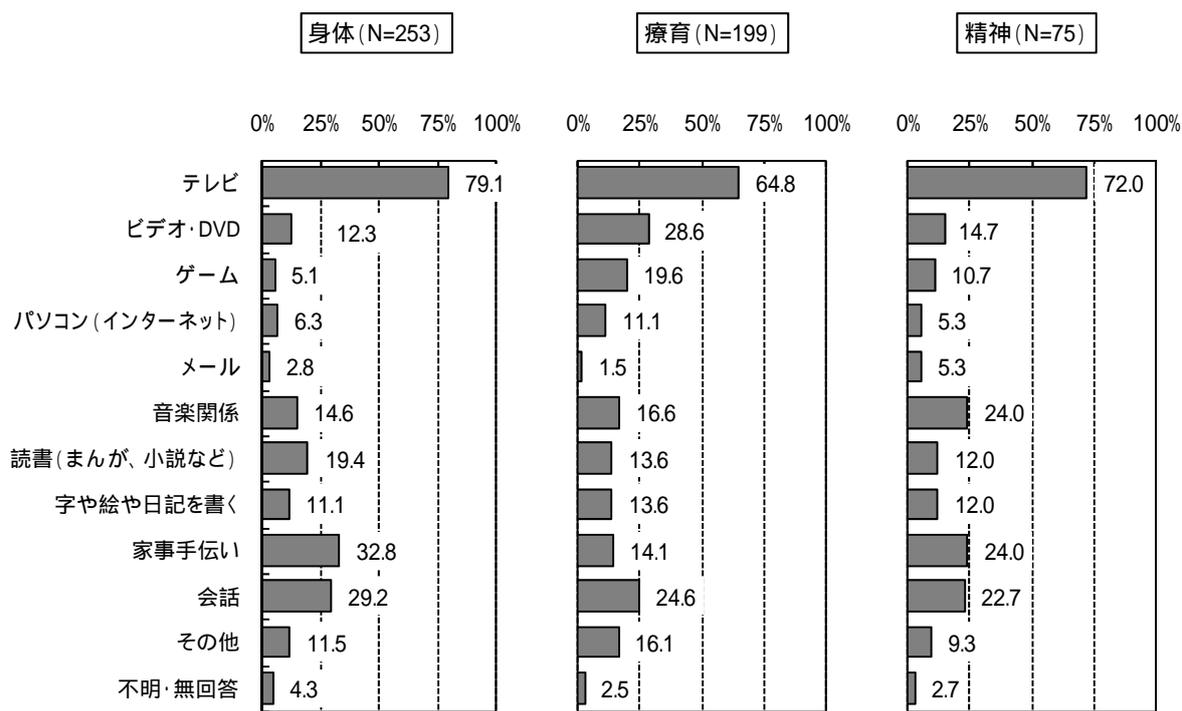
【精神】	上段:度数	利用できる交通機関の充実	利用する建物等(スロープ、トイレ、エレベーター)の整備	料金負担の軽減	駐車場の確保	介助者(外出を支援する人)	移動手段の確保	周囲の障害に対する理解							
	下段:%														
	1級(N=14)								3 21.4	2 14.3	2 14.3	- -	4 28.6	- -	6 42.9
	2級(N=42)								20 47.6	1 2.4	12 28.6	3 7.1	5 11.9	6 14.3	13 31
	3級(N=18)								6 33.3	2 11.1	2 11.1	- -	1 5.6	1 5.6	1 5.6
【精神】	上段:度数	休憩場所の確保	車道の安全対策	緊急時の対応	コミュニケーションの支援	その他	特にない	不明・無回答							
	下段:%														
	1級(N=14)								3 21.4	3 21.4	1 7.1	4 28.6	- -	1 7.1	1 7.1
	2級(N=42)								4 9.5	2 4.8	6 14.3	7 16.7	1 2.4	5 11.9	2 4.8
	3級(N=18)								3 16.7	4 22.2	3 16.7	5 27.8	2 11.1	- -	2 11.1

(4) 余暇の過ごし方について

問9 平日の余暇の活動として、家の中でどのように過ごしていますか
(複数回答)

平日の家の中での余暇活動についてみると、いずれの手帳所持者も「テレビ(79.1%・64.8%・72.0%)」が最も高く、次いで身体障害者手帳所持者は「家事手伝い(32.8%)」、療育手帳所持者は「ビデオ・DVD(28.6%)」精神障害者保健福祉手帳所持者は「音楽関係、家事手伝い(24.0%)」となっています。

全体では、「テレビ(73.6%)」「会話(25.3%)」となっています。



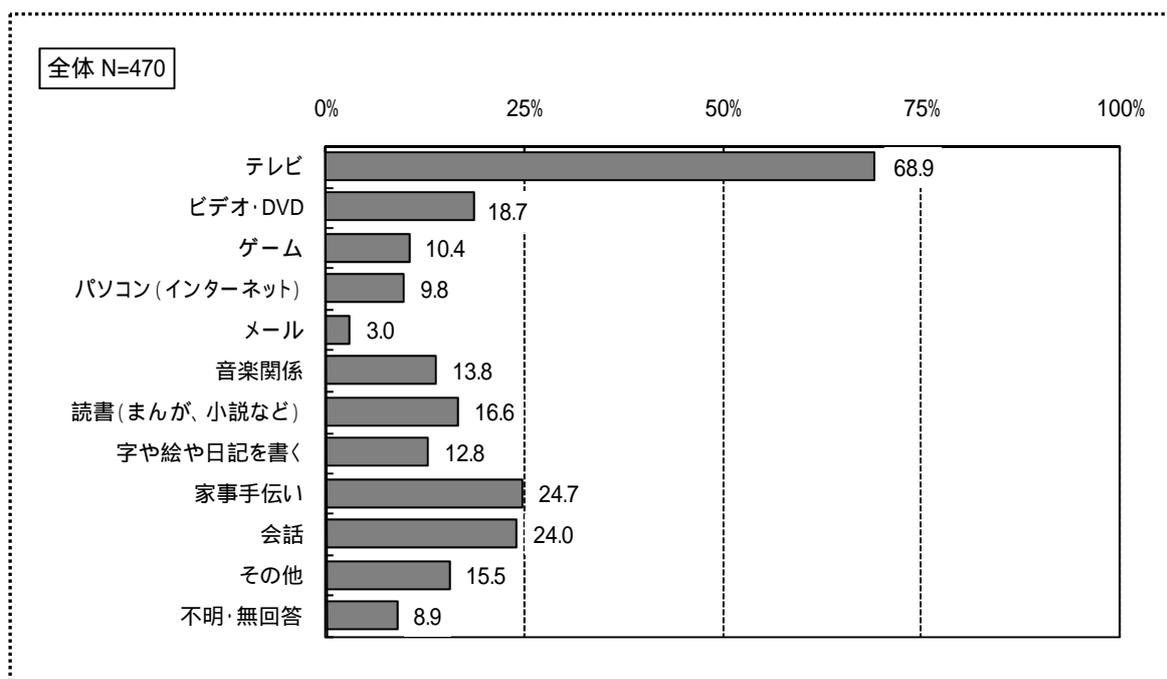
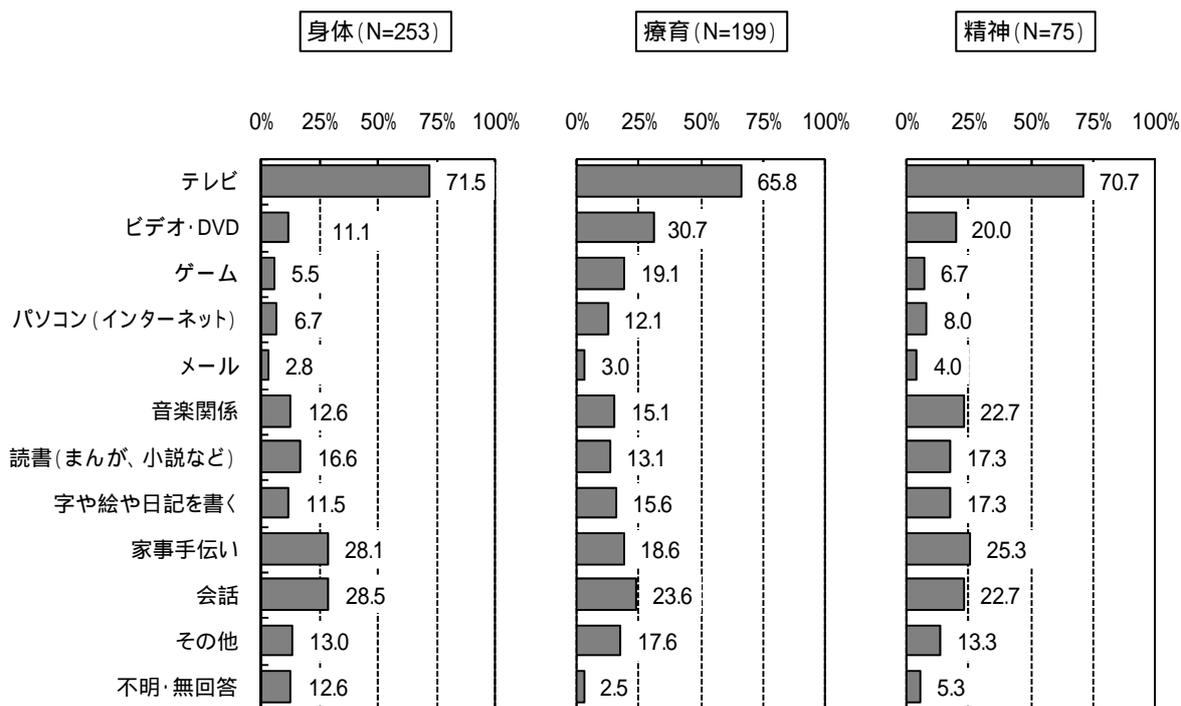
【問9 その他回答】

内容	件数	内容	件数
睡眠	5	放課後デイサービス	1
ラジオ	5	家事(但し、簡単な物を作る)	1
おもちゃで遊ぶ	3	近所の人達と話合いをする	1
好天時、畑仕事	3	友達と遊ぶ	1
施設内	3	散歩	1
洗濯	2	パズル	1
ひとり遊び	2	草取り	1
平日は休みなし	2	ダンス	1
施設に通っている	2	兄弟と遊ぶ	1
園芸	2	ブロック遊び	1
手芸	1	ビーズ通し	1
絵本を読む	1	広告の収集	1
学校	1	特に何もしていない	1
紙遊び	1	精神社会福祉	1
編物	1	デイルームでくつろぐ	1
友達とお話	1	のんびりしている	1
麻雀	1	廊下で歩き回る	1
小物遊び	1	ドライブ	1
ラジオを聴く	1	自分の気に入った物で遊ぶ	1
生活指導・訓練	1	外に出て遊ぶ	1
掃除	1	空想遊び(独り言)	1
寝たきり、 見えず聞こえず話せない	1	決まっていないが、 自分の時間として過ごしている	1

問10 休日の余暇の活動として、家の中でどのように過ごしていますか
(複数回答)

休日の家の中での余暇活動についてみると、いずれの手帳所持者も「テレビ(71.5%・65.8%・70.7%)」が最も高く、次いで身体障害者手帳所持者は「会話(28.5%)」、療育手帳所持者は「ビデオ・DVD(30.7%)」精神障害者保健福祉手帳所持者は「家事手伝い(25.3%)」となっています。

全体では、「テレビ(68.9%)」「家事手伝い(24.7%)」となっています。



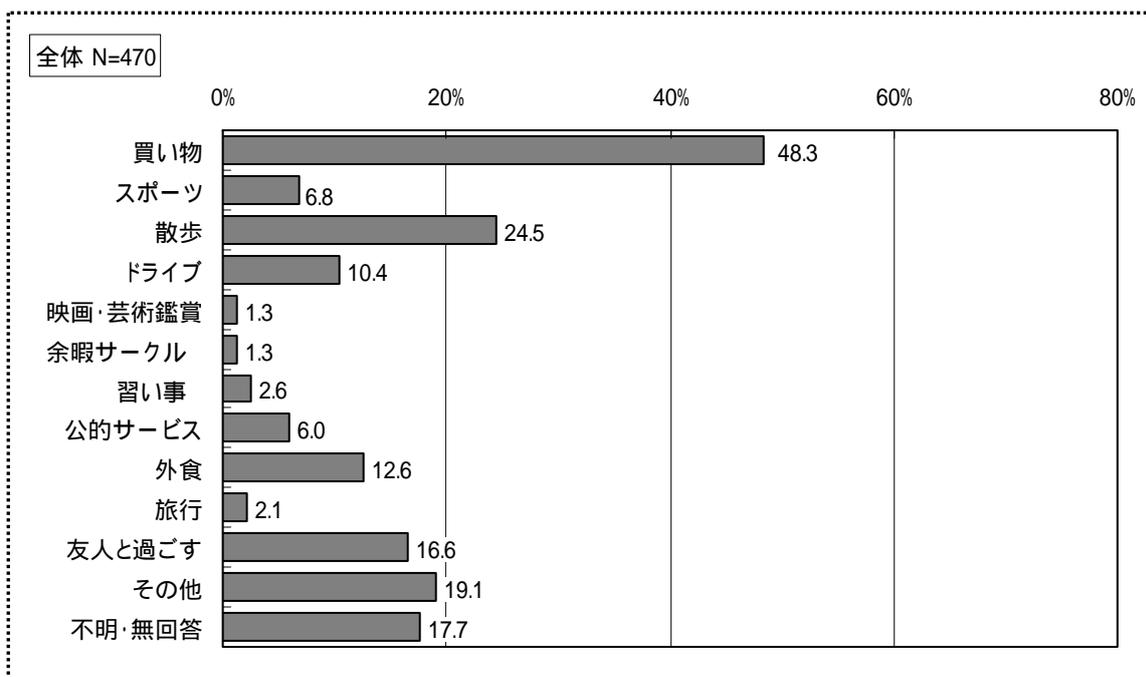
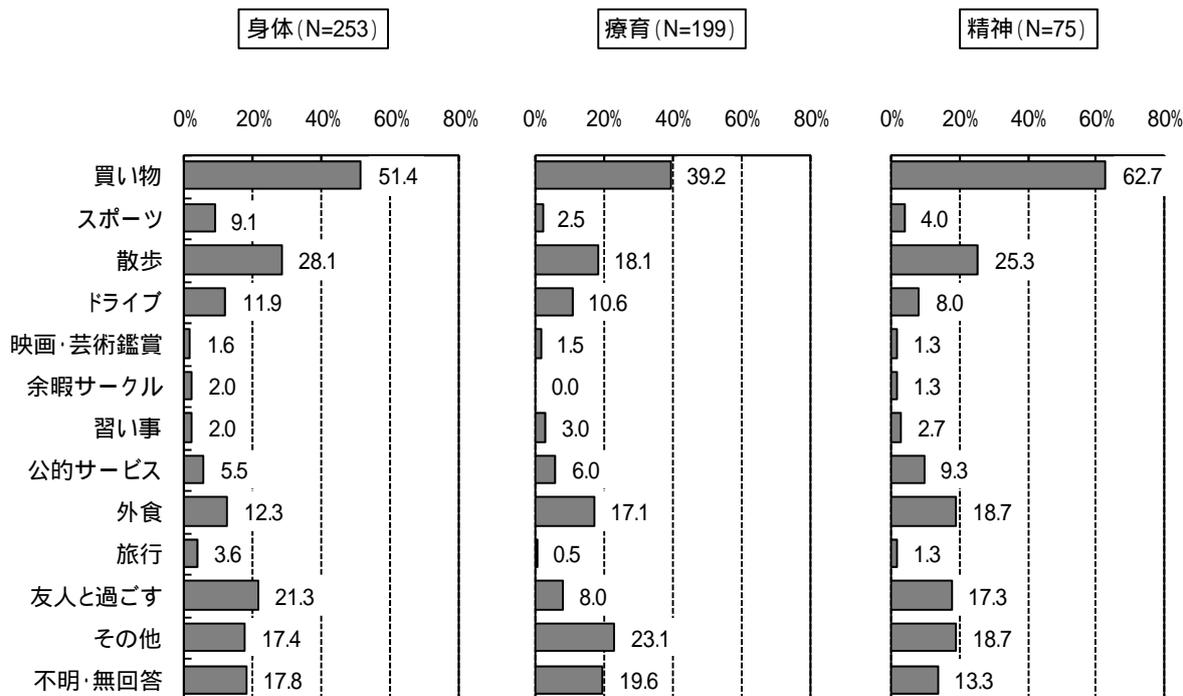
【問 10 その他回答】

内容	件数	内容	件数
睡眠	6	軽い体操	1
ラジオ	5	散歩	1
洗濯	3	編物	1
掃除	3	園芸	1
パチンコ	3	空想遊び(独り言)	1
買物	3	毎日運動している	1
ドライブ	3	妹弟等と交信	1
ひとり遊び	2	友人と電話で会話	1
外出	2	何もしていない	1
紙遊び	1	手芸	1
間があると体操	1	自分の気に入った物で遊ぶ	1
部屋掃除	1	休息	1
新聞	1	外に出て遊ぶ	1
家をゴソゴソする	1	家事(但し、簡単な物を作る)	1
ヘルパーさんと過ごす	1	家族と過ごす	1
家族と買物	1	パズル	1
家族と外出	1	ダンス	1
父母と外食	1	兄弟と遊ぶ	1
読売新聞を読む	1	ブロック遊び	1
小物遊び	1	仕事していない	1
ラジオでニュース等を聴く	1	おもちゃで遊ぶ	1
ラジオ番組を聴く	1	ピース通し	1
カラオケ	1	広告の収集	1
デイルームでくつろぐ	1	外出して発散している	1
のんびりしている	1	特に何もしていない	1
施設内	1	手話を覚える	1
施設内で過ごす (特に何もしていない)	1	体操 (麻痺があるのでストレッチ)	1
公園等へ出掛け、遊具や走り 回ったりなどして体を動かす	1	決まっていないが、 自分の時間として過ごしている	1

問 11 平日の余暇の活動として、家の外でどのように過ごしていますか
(複数回答)

平日の家の外での余暇活動についてみると、いずれの手帳所持者も「買い物 (51.4%・39.2%・62.7%)」が最も高く、次いで「散歩 (28.1%・18.1%・25.3%)」となっています。

全体でも、「テレビ (48.3%)」「散歩 (24.5%)」となっています。



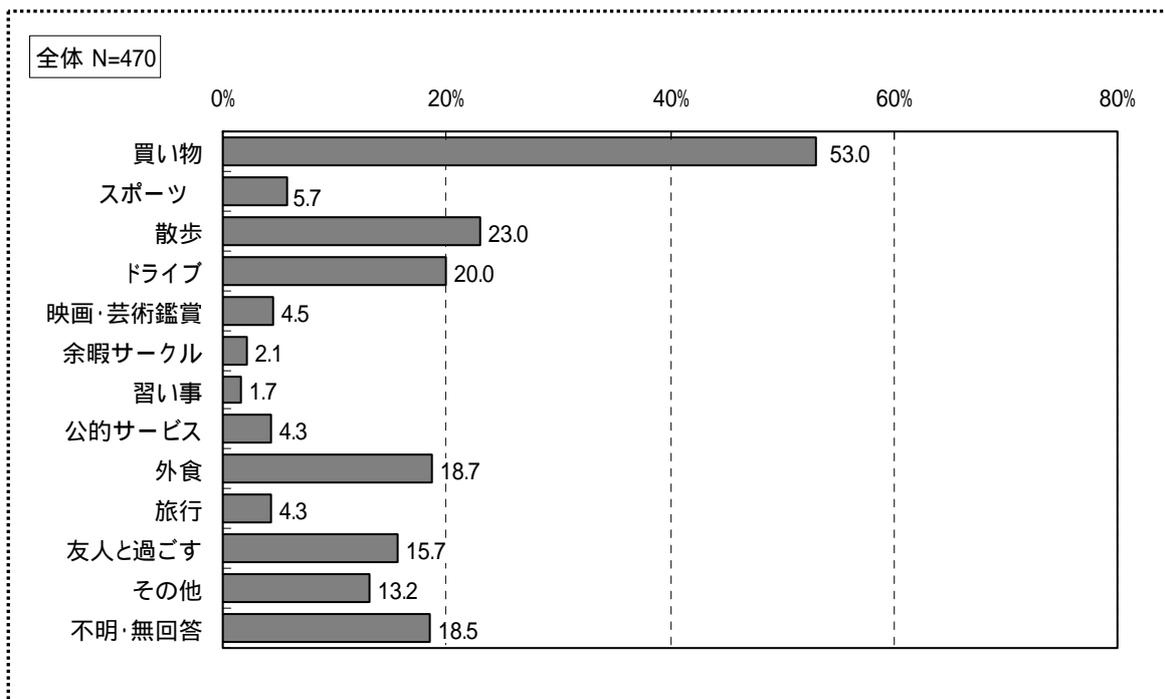
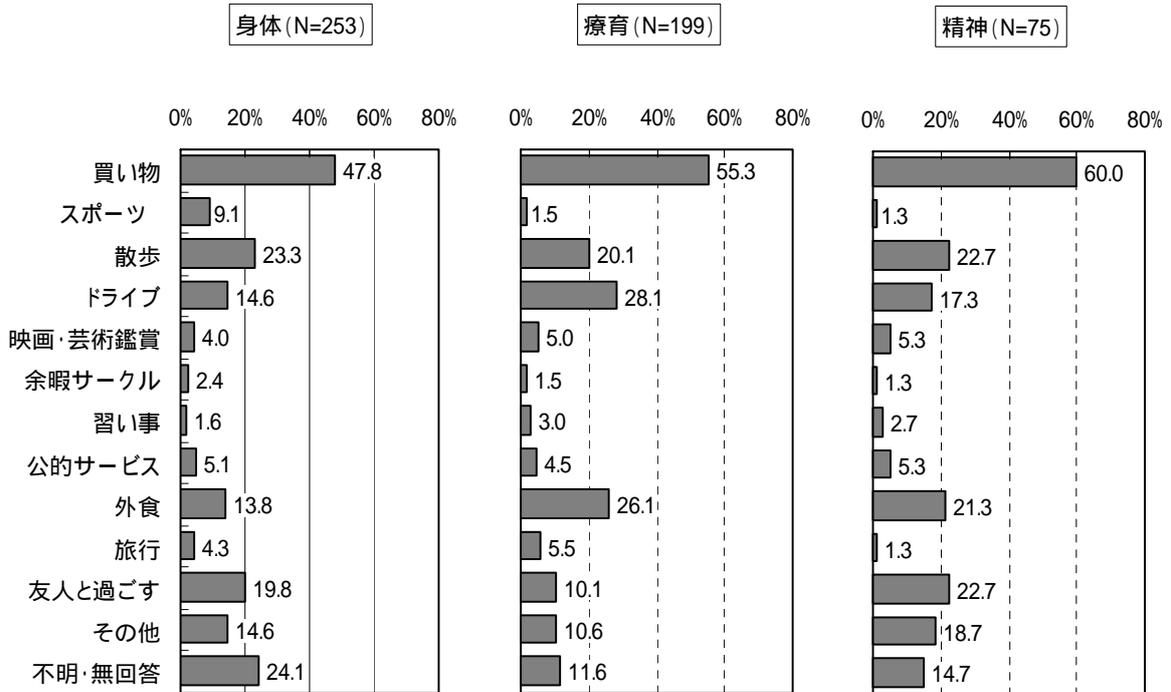
【問 11 その他回答】

内容	件数	内容	件数
夫と過ごす	1	余暇などない	1
月・水・金のいずれかで薬もらい	1	図書館へ行く	1
病院でリハビリ	1	外で過ごしていない	1
施設の方と過ごしている	1	パチンコ	1
学校	1	花壇作り	1
宿題をしてテレビ or パソコン	1	学校で部活している	1
外遊び(ボール・かけっこ)	1	ごろ寝	1
少しの間、畑に行く	1		

問 12 休日の余暇の活動として、家の外でどのように過ごしていますか
(複数回答)

休日の家の中での余暇活動についてみると、いずれの手帳所持者も「買い物 (47.8%・55.3%・60.0%)」が最も高く、次いで身体障害者手帳所持者は「散歩 (23.3%)」、療育手帳所持者は「ドライブ (28.1%)」精神障害者保健福祉手帳所持者は「散歩、友人と過ごす (22.7%)」となっています。

全体では、「買い物 (53.0%)」「散歩 (23.0%)」となっています。



【問 12 年齢別】

【身 体】	上段:度数	買い物	スポーツ	散歩	ドライブ	映画・ 芸術鑑賞	余暇サークル	習い事
	下段:%							
19歳以下 (N=20)	13 65.0	1 5.0	6 30.0	5 25.0	3 15.0	-	-	1 5.0
20～29歳 (N=10)	8 80.0	-	1 10.0	4 40.0	-	-	-	1 10.0
30～39歳 (N=9)	5 55.6	-	-	3 33.3	-	-	-	-
40～49歳 (N=14)	7 50.0	1 7.1	3 21.4	2 14.3	1 7.1	-	-	-
50～59歳 (N=27)	13 48.1	1 3.7	8 29.6	3 11.1	1 3.7	-	-	1 3.7
60～69歳 (N=30)	12 40.0	1 3.3	3 10.0	7 23.3	1 3.3	-	-	-
70～79歳 (N=80)	41 51.3	12 15.0	20 25.0	11 13.8	4 5.0	3 3.8	-	-
80歳以上 (N=62)	22 35.5	7 11.3	17 27.4	2 3.2	-	3 4.8	-	1 1.6

【身 体】	上段:度数	公的サービス	外食	旅行	友人と過ごす	その他	不明・無回答
	下段:%						
19歳以下 (N=20)	2 10.0	4 20.0	3 15.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0
20～29歳 (N=10)	-	5 50.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0
30～39歳 (N=9)	1 11.1	3 33.3	-	2 22.2	3 33.3	-	-
40～49歳 (N=14)	2 14.3	1 7.1	-	-	3 21.4	4 28.6	-
50～59歳 (N=27)	2 7.4	5 18.5	-	5 18.5	4 14.8	6 22.2	-
60～69歳 (N=30)	-	5 16.7	1 3.3	3 10.0	5 16.7	10 33.3	-
70～79歳 (N=80)	4 5.0	9 11.3	5 6.3	18 22.5	8 10.0	21 26.3	-
80歳以上 (N=62)	1 1.6	3 4.8	1 1.6	19 30.6	11 17.7	18 29.0	-

【知的】	上段:度数	買い物	スポーツ	散歩	ドライブ	映画・ 芸術鑑賞	余暇サークル	習い事
	下段:%							
	19歳以下 (N=59)	45 76.3	2 3.4	16 27.1	17 28.8	6 10.2	-	4 6.8
	20～29歳 (N=38)	27 71.1	1 2.6	6 15.8	10 26.3	2 5.3	3 7.9	1 2.6
	30～39歳 (N=26)	12 46.2	-	5 19.2	8 30.8	1 3.8	-	-
	40～49歳 (N=25)	8 32.0	-	4 16.0	6 24.0	-	-	1 4.0
	50～59歳 (N=21)	7 33.3	-	2 9.5	5 23.8	1 4.8	-	-
	60～69歳 (N=12)	4 33.3	-	2 16.7	2 16.7	-	-	-
	70～79歳 (N=8)	1 12.5	-	2 25.0	5 62.5	-	-	-
	80歳以上 (N=3)	3 100.0	-	-	-	-	-	-

【知的】	上段:度数	公的サービス	外食	旅行	友人と過ごす	その他	不明・無回答
	下段:%						
	19歳以下 (N=59)	4 6.8	21 35.6	5 8.5	4 6.8	4 6.8	4 6.8
	20～29歳 (N=38)	-	8 21.1	3 7.9	4 10.5	4 10.5	3 7.9
	30～39歳 (N=26)	-	8 30.8	-	1 3.8	3 11.5	3 11.5
	40～49歳 (N=25)	1 4.0	5 20.0	1 4.0	1 4.0	4 16.0	5 20.0
	50～59歳 (N=21)	1 4.8	6 28.6	-	2 9.5	2 9.5	3 14.3
	60～69歳 (N=12)	1 8.3	2 16.7	-	1 8.3	2 16.7	3 25.0
	70～79歳 (N=8)	1 12.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0
	80歳以上 (N=3)	-	-	-	3 100.0	1 33.3	-

【精神】	上段:度数	買い物	スポーツ	散歩	ドライブ	映画・ 芸術鑑賞	余暇サークル	習い事
	下段:%							
	19歳以下 (N=3)	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-	-
	20～29歳 (N=5)	3 60.0	-	2 40.0	1 20.0	-	-	1 20.0
	30～39歳 (N=9)	6 66.7	-	2 22.2	2 22.2	-	-	-
	40～49歳 (N=14)	11 78.6	-	3 21.4	6 42.9	2 14.3	-	-
	50～59歳 (N=23)	12 52.2	-	4 17.4	3 13.0	-	1 4.3	1 4.3
	60～69歳 (N=13)	7 53.8	1 7.7	3 23.1	1 7.7	-	-	-
	70～79歳 (N=5)	3 60.0	-	3 60.0	-	1 20.0	-	-
	80歳以上 (N=3)	2 66.7	-	-	-	-	-	-

【精神】	上段:度数	公的サービス	外食	旅行	友人と過ごす	その他	不明・無回答
	下段:%						
	19歳以下 (N=3)	-	1 33.3	-	-	-	1 33.3
	20～29歳 (N=5)	-	1 20.0	-	1 20.0	-	-
	30～39歳 (N=9)	1 11.1	3 33.3	-	4 44.4	3 33.3	-
	40～49歳 (N=14)	1 7.1	3 21.4	1 7.1	3 21.4	1 7.1	1 7.1
	50～59歳 (N=23)	2 8.7	3 13.0	-	5 21.7	5 21.7	4 17.4
	60～69歳 (N=13)	-	5 38.5	-	-	3 23.1	3 23.1
	70～79歳 (N=5)	-	-	-	2 40.0	1 20.0	1 20.0
	80歳以上 (N=3)	-	-	-	2 66.7	1 33.3	1 33.3

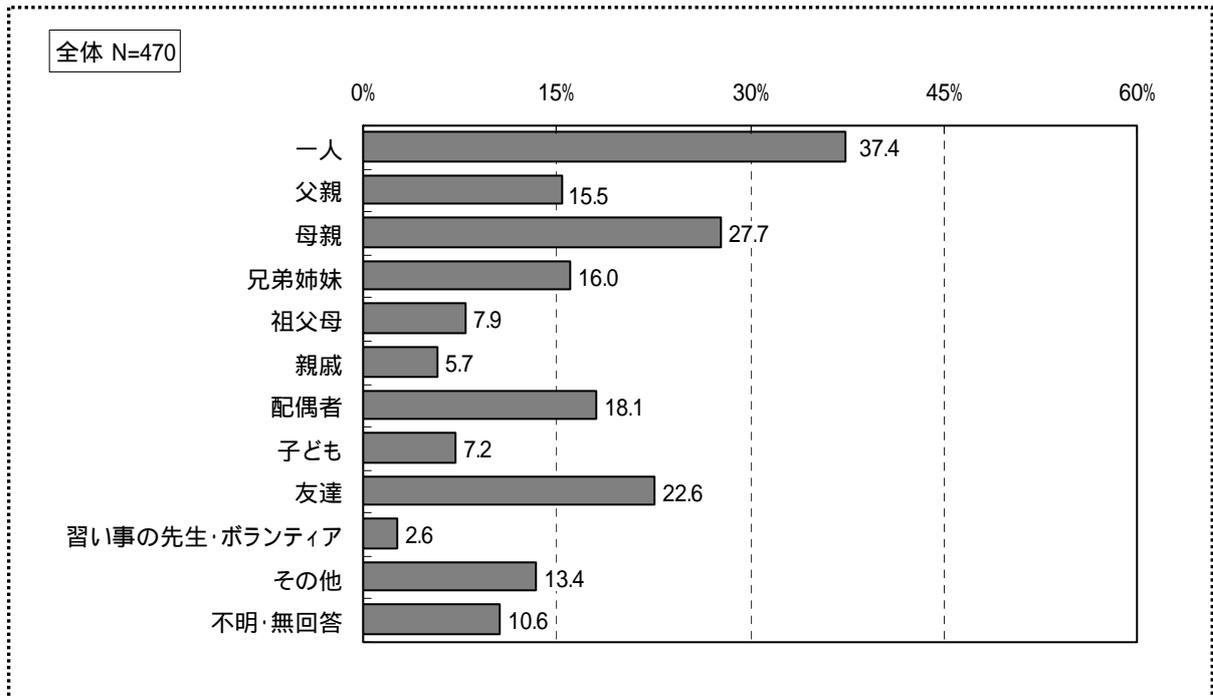
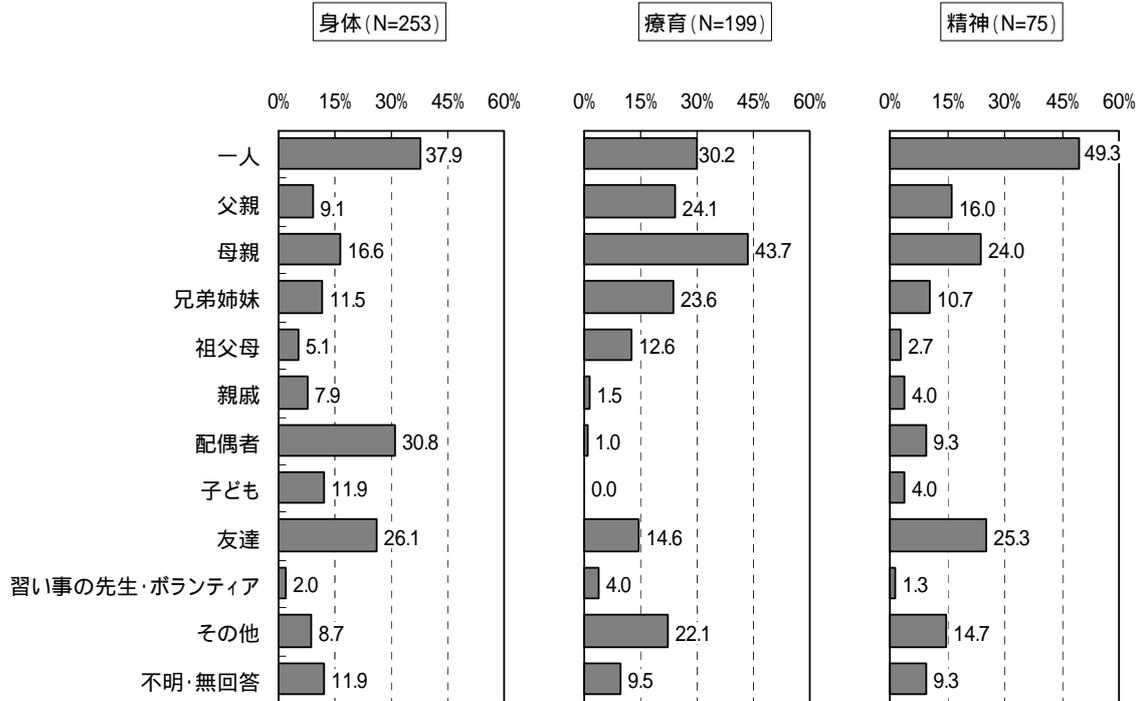
【問 12 その他回答】

内容	件数	内容	件数
ほとんど外出しない	5	主人と時々畑の手伝い	1
外出しない	3	花作り	1
畑仕事	3	野菜の管理	1
パチンコ	3	草刈り	1
野菜作り	2	農作業の手伝い	1
なし	1	農作業	1
ひとりで外出が出来ない	1	山の境界管理	1
あまり外出しない	1	全介助	1
高齢で横になっている	1	草取り	1
家で横になっている	1	魚釣り	1
部屋で遊んでいる	1	自宅でゆっくり過ごす	1
家族と買物	1	自分の趣味を楽しんでいる	1
家族と出かける	1	漫画を読む	1
新聞を読む	1	部屋の掃除	1
パソコン	1	家の掃除	1
遊園地へ行く	1	ごはんタイマー	1
外遊び(ボール・かけっこ)	1	子に車に乗せてもらい買物	1
ひとり家にいる	1	デイサービス	1
畑の草むしり	1	家事	1
鉢植えの花の世話	1	実家に戻り、家族と会話	1
花壇作り	1	家事の手伝い	1
家族と一緒に買物や外食	1	夫と過ごす	1
水族館へ行く	1	皿洗い	1
主に福井県へ JAZZ LIVE へ行く	1	その他洗濯	1
週 1 回自宅に帰り、テレビやビデオ等を楽しんでいる	1	たまに運転手がいる時に買物へ行く	1
家の中でテレビゲームをして過ごしている	1	毎週日曜日にヘルパーさんと電車に乗り買物	1
決まっていないが、自分の時間を過ごしている	1		

問 13 平日の余暇の活動について、誰と過ごしていますか（複数回答）

平日の余暇活動は誰と過ごすかについてみると、身体障害者手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者ともに「一人（37.9%・49.3%）」が最も高く、次いで身体障害者手帳所持者は「配偶者（30.8%）」、精神障害者保健福祉手帳所持者は「友達（25.3%）」となっています。療育手帳所持者では「母親（43.7%）」「一人（30.2%）」の順で高くなっています。

全体では、「一人（37.4%）」「母親（27.7%）」となっています。



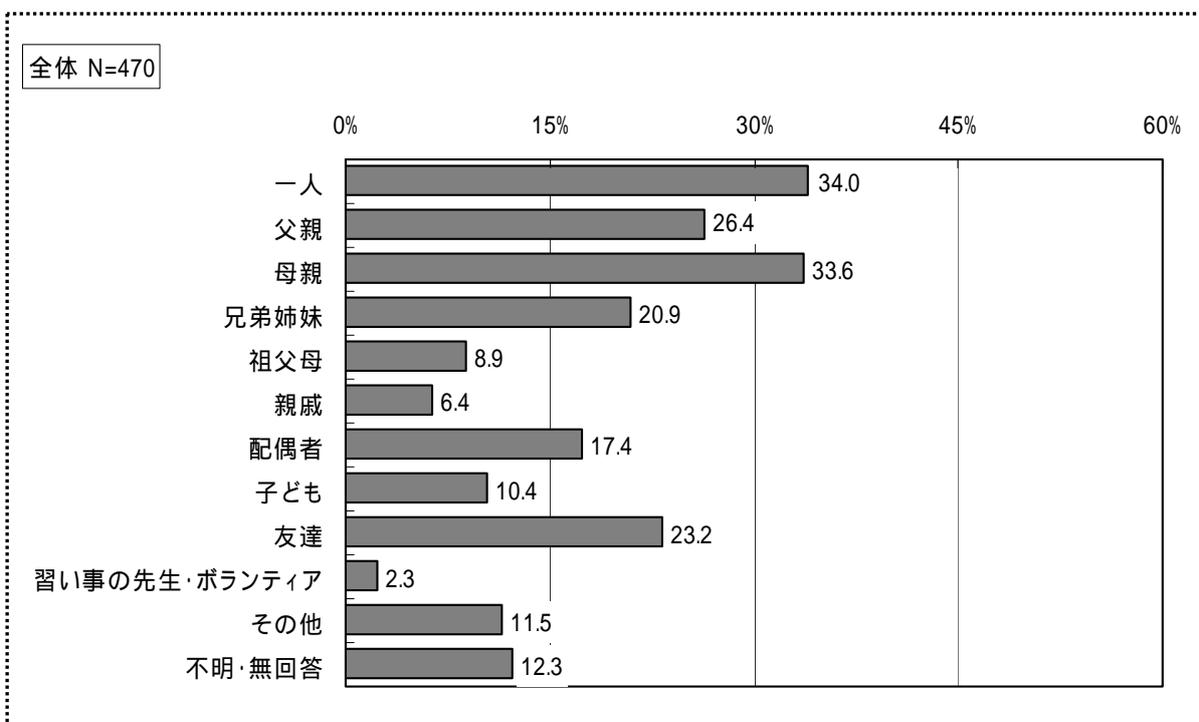
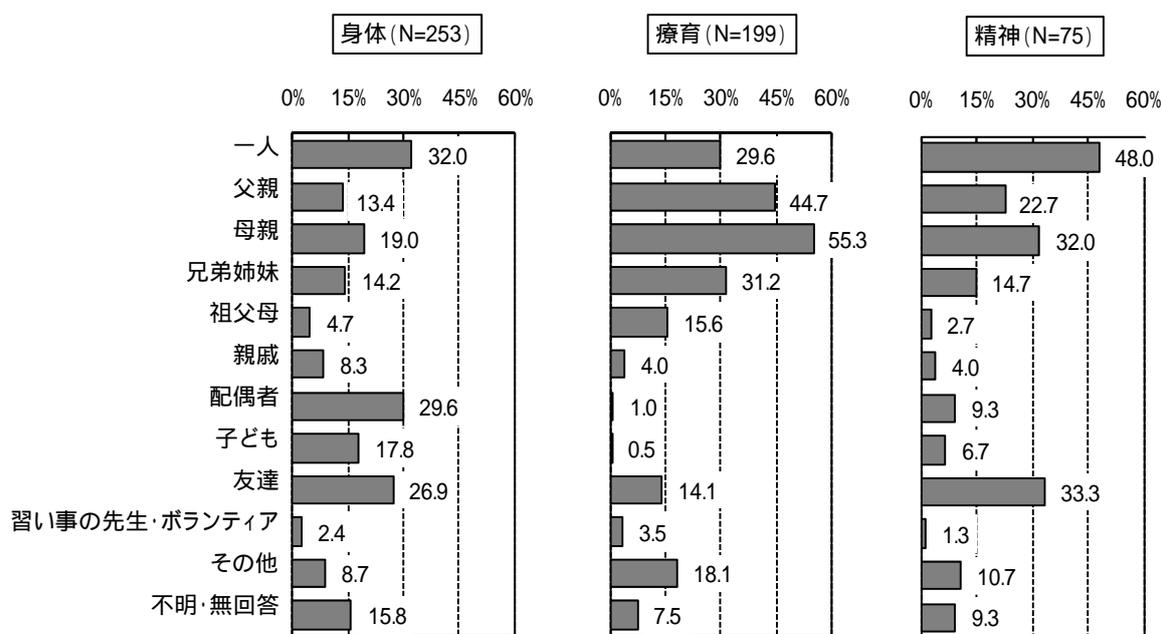
【問 13 その他回答】

内容	件数	内容	件数
施設職員	25	家の人	1
施設利用者	20	リハプラスの方	1
施設の仲間	5	甥	1
ヘルパー	3	学会の方	1
先生	2	施設でひとり	1
施設の方	2	施設入所者	1
デイサービス	1	学校の寮で過ごしている	1
仕事仲間	1	社会福祉協議会の方	1
公的サービス	1	病院のデイケアセンター	1
決まっていないが、その時に よっていろんな人と過ごしている	1	福祉サービスの職員 (放課後デイサービスを利用)	1

問 14 休日の余暇の活動について、誰と過ごしていますか（複数回答）

平日の余暇活動は誰と過ごすかについてみると、身体障害者手帳所持者は「一人（32.0%）」が最も高く、次いで「配偶者（29.6%）」となっています。療育手帳所持者は「母親（55.3%）」「父親（44.7%）」、精神障害者保健福祉手帳所持者は「一人（48.0%）」「友達（33.3%）」の順で高くなっています。

全体では、「一人（34.0%）」「母親（33.6%）」となっています。



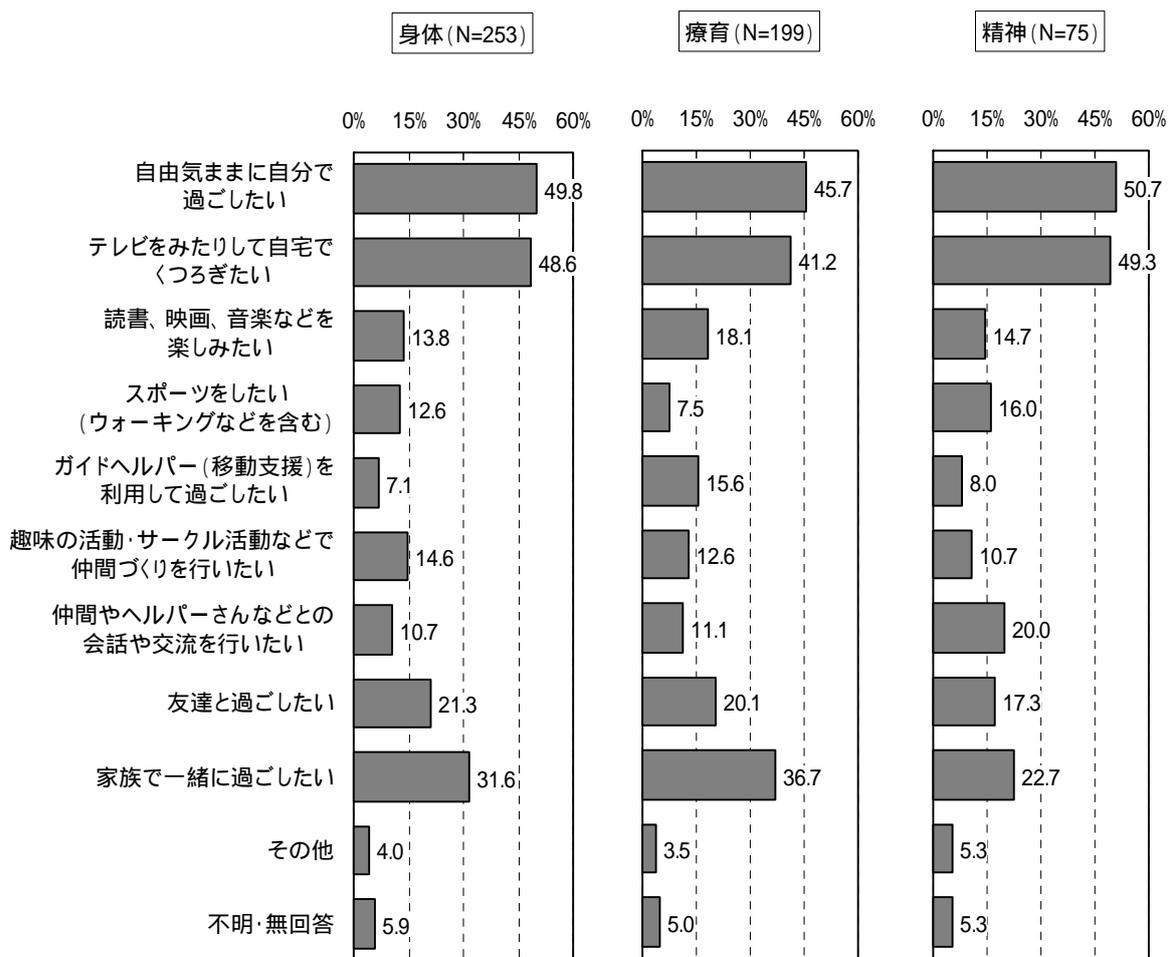
【問 14 その他回答】

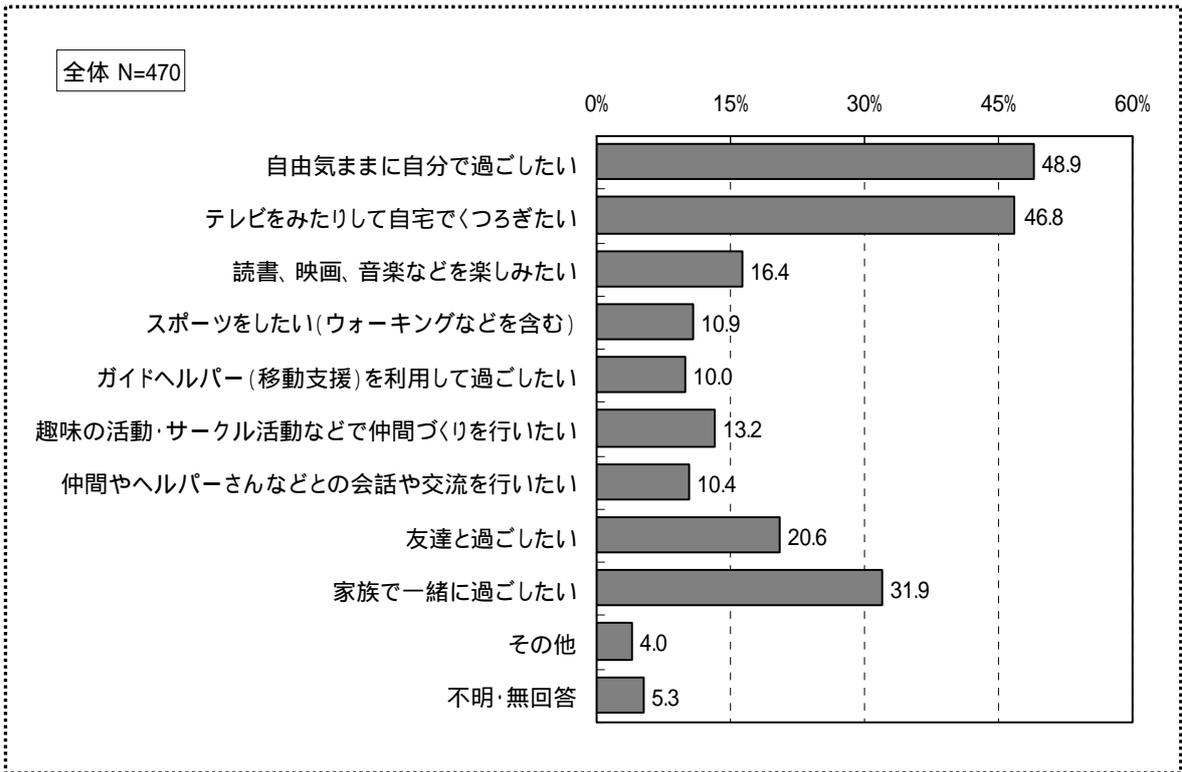
内容	件数	内容	件数
施設職員	23	ケアホームの友達	1
施設利用者	17	公的サービス	1
施設の仲間	6	家の人	1
孫	3	妹の友達	1
ヘルパー	3	学会の方	1
よさこいの仲間	1	施設でひとり	1
決まっていないが、その時によっ ていろんな人と過ごしている	1	年に何回か障害者の会メンバー やボランティアと	1
甥	1		

問 15 余暇の過ごし方について、あなたはどのように過ごしたいですか
(複数回答)

余暇の過ごし方をどのように過ごしたいかについては、いずれの手帳所持者も「自由気ままに自分で過ごしたい (49.8%・45.7%・50.7%)」が最も高く、次いで「テレビをみたりして自宅であつろぎたい (48.6%・41.2%・49.3%)」となっています。

全体でも、「自由気ままに自分で過ごしたい (48.9%)」「テレビをみたりして自宅であつろぎたい (46.8%)」となっています。





【問 15 その他回答】

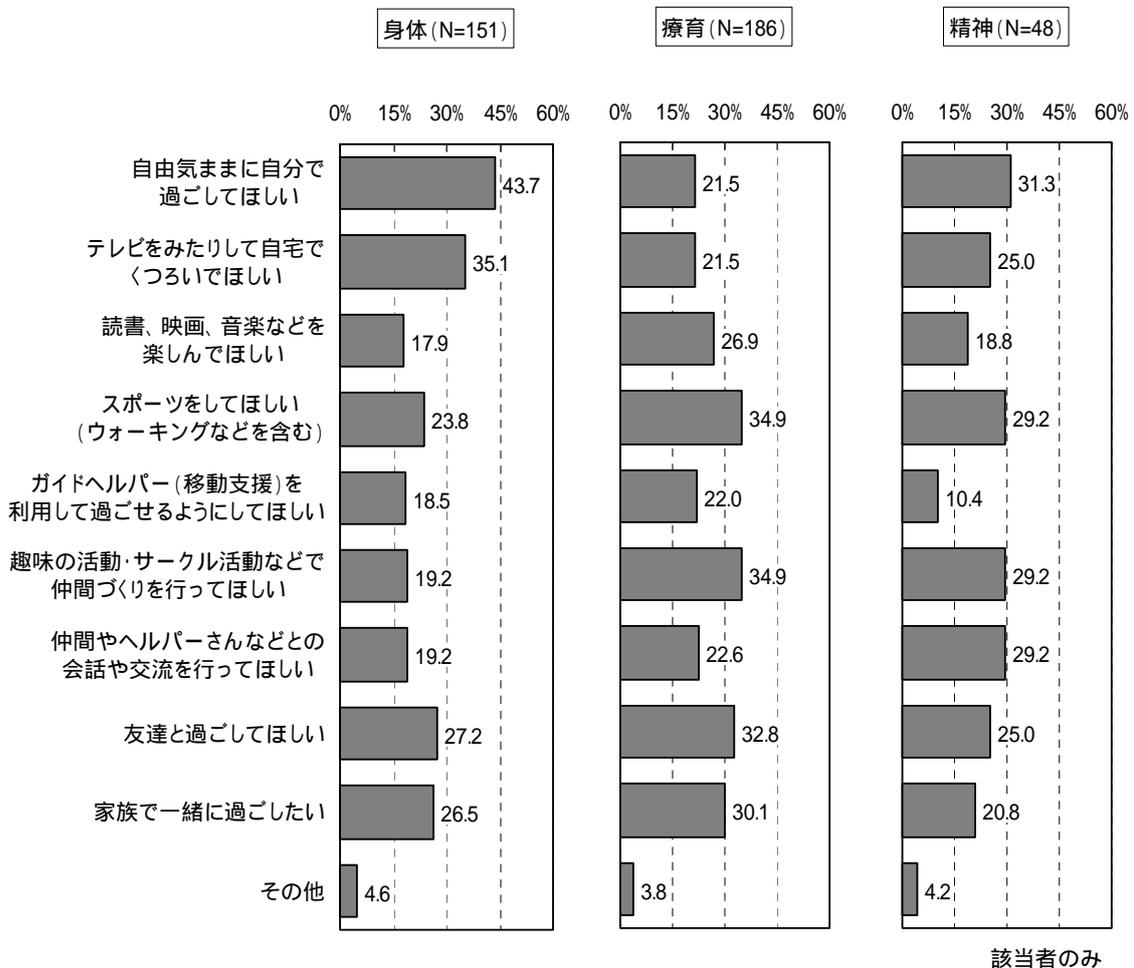
内容	件数	内容	件数
買物	2	特に希望はない	1
畑仕事	1	現状で良い	1
旅行	1	病気のため何も出来ない	1
魚釣りで全国を巡りたい	1	婚活	1
ラジオ	1	洗濯	1
外出したい	1	ごろ寝	1
ゲーム	1	雑談	1
家周辺の草取り	1	自分のこの先の事の時間に 使いたい	1

〔保護者や介助者、支援者の方への質問〕

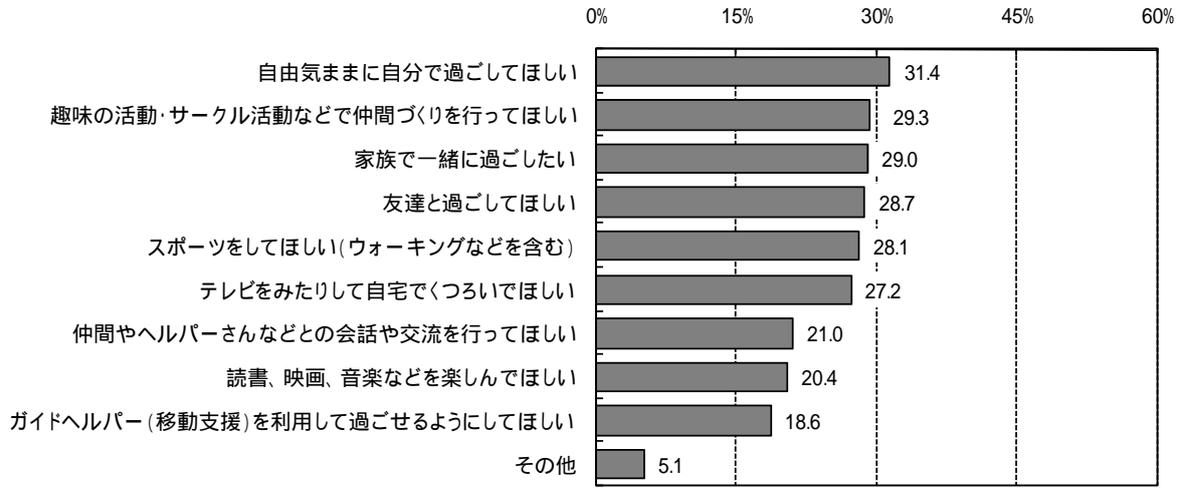
問 16 余暇の過ごし方について、保護者の方はどのように過ごしてほしいと思いますか（複数回答）

保護者の方が障害のある人に、余暇の過ごし方をどのように過ごしてほしいかについては、身体障害者手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者ともに「自由気ままに自分で過ごしてほしい（43.7%・31.3%）」が最も高く、次いで身体障害者手帳所持者は「テレビをみたりして自宅でくつろいでほしい（35.1%）」、精神障害者保健福祉手帳所持者は「スポーツをしてほしい、趣味の活動・サークル活動などで仲間づくりを行ってほしい、仲間やヘルパーさんなどの会話や交流を行ってほしい（29.2%）」となっています。療育手帳所持者では「スポーツをしてほしい（ウォーキングなどを含む）、趣味の活動・サークル活動などで仲間づくりを行ってほしい（34.9%）」が最も高くなっています。

全体では、「自由気ままに自分で過ごしてほしい（31.4%）」「趣味の活動・サークル活動などで仲間づくりを行ってほしい（29.3%）」となっています。



全体 N=334



該当者のみ

【問 16 年齢別】

【身 体】	上段:度数	自由気ままに 自分で過ごし てほしい	テレビをみたり して自宅で くつろいでほ しい	読書、映画、 音楽などを楽 しんでほしい	スポーツをして ほしい (ウォーキング などを含む)	ガイドヘルパー (移動支援)を 利用して過ごせ るようにしてほ しい	趣味の活動・ サークル活動 などで仲間づ くりを行って ほしい
	下段:%						
19歳以下 (N=20)	5 25.0	4 20.0	2 10.0	6 30.0	3 15.0	4 20.0	
20～29歳 (N=10)	- -	1 10.0	2 20.0	2 20.0	5 50.0	4 40.0	
30～39歳 (N=9)	3 33.3	1 11.1	1 11.1	4 44.4	- -	3 33.3	
40～49歳 (N=14)	5 35.7	4 28.6	5 35.7	4 28.6	4 28.6	1 7.1	
50～59歳 (N=27)	9 33.3	7 25.9	5 18.5	4 14.8	6 22.2	2 7.4	
60～69歳 (N=30)	8 26.7	3 10.0	6 20.0	6 20.0	3 10.0	2 6.7	
70～79歳 (N=80)	19 23.8	20 25.0	2 2.5	7 8.8	3 3.8	6 7.5	
80歳以上 (N=62)	17 27.4	13 21.0	4 6.5	2 3.2	4 6.5	6 9.7	

【身 体】	上段:度数	仲間や ヘルパーさん などとの会話 や交流を 行ってほしい	友達と過ごし てほしい	家族と一緒に 過ごしたい	その他	不明・無回答
	下段:%					
19歳以下 (N=20)	5 25.0	7 35.0	11 55.0	- -	- -	1 5.0
20～29歳 (N=10)	4 40.0	4 40.0	3 30.0	- -	- -	- -
30～39歳 (N=9)	- -	3 33.3	- -	1 11.1	2 22.2	
40～49歳 (N=14)	1 7.1	2 14.3	2 14.3	- -	4 28.6	
50～59歳 (N=27)	2 7.4	5 18.5	3 11.1	- -	10 37.0	
60～69歳 (N=30)	3 10.0	2 6.7	4 13.3	2 6.7	12 40.0	
70～79歳 (N=80)	5 6.3	8 10.0	7 8.8	2 2.5	44 55.0	
80歳以上 (N=62)	8 12.9	10 16.1	10 16.1	2 3.2	29 46.8	

【知的】	上段:度数	自由気ままに自分で過ごしてほしい	テレビをみたりして自宅でくつろいでほしい	読書、映画、音楽などを楽しんでほしい	スポーツをしてほしい (ウォーキングなどを含む)	ガイドヘルパー(移動支援)を利用して過ごせようしてほしい	趣味の活動・サークル活動などで仲間づくりを行ってほしい
	下段:%						
	19歳以下 (N=59)	11 18.6	12 20.3	9 15.3	24 40.7	13 22.0	25 42.4
	20～29歳 (N=38)	1 2.6	5 13.2	7 18.4	12 31.6	11 28.9	15 39.5
	30～39歳 (N=26)	10 38.5	7 26.9	4 15.4	10 38.5	2 7.7	9 34.6
	40～49歳 (N=25)	5 20.0	3 12.0	9 36.0	10 40.0	5 20.0	5 20.0
	50～59歳 (N=21)	6 28.6	7 33.3	9 42.9	2 9.5	8 38.1	3 14.3
	60～69歳 (N=12)	5 41.7	1 8.3	7 58.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3
	70～79歳 (N=8)	1 12.5	4 50.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	4 50.0
	80歳以上 (N=3)	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-

【知的】	上段:度数	仲間やヘルパーさんなどの会話や交流を行ってほしい	友達と過ごしてほしい	家族と一緒に過ごしたい	その他	不明・無回答
	下段:%					
	19歳以下 (N=59)	13 22.0	18 30.5	22 37.3	2 3.4	2 3.4
	20～29歳 (N=38)	7 18.4	12 31.6	12 31.6	1 2.6	5 13.2
	30～39歳 (N=26)	3 11.5	8 30.8	8 30.8	2 7.7	2 7.7
	40～49歳 (N=25)	6 24.0	11 44.0	4 16.0	1 4.0	-
	50～59歳 (N=21)	5 23.8	4 19.0	3 14.3	1 4.8	1 4.8
	60～69歳 (N=12)	2 16.7	3 25.0	3 25.0	-	1 8.3
	70～79歳 (N=8)	2 25.0	1 12.5	1 12.5	-	-
	80歳以上 (N=3)	-	1 33.3	2 66.7	-	1 33.3

【精神】	上段:度数	自由気ままに自分で過ごしてほしい	テレビをみたりして自宅でくつろいでほしい	読書、映画、音楽などを楽しんでもほしい	スポーツをしてほしい (ウォーキングなどを含む)	ガイドヘルパー(移動支援)を利用して過ごせようしてほしい	趣味の活動・サークル活動などで仲間づくりを行ってほしい
	下段:%						
	19歳以下 (N=3)	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	2 66.7
	20～29歳 (N=5)	-	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0
	30～39歳 (N=9)	1 11.1	-	1 11.1	5 55.6	-	3 33.3
	40～49歳 (N=14)	1 7.1	1 7.1	-	2 14.3	3 21.4	1 7.1
	50～59歳 (N=23)	6 26.1	4 17.4	4 17.4	1 4.3	1 4.3	5 21.7
	60～69歳 (N=13)	3 23.1	3 23.1	2 15.4	3 23.1	-	1 7.7
	70～79歳 (N=5)	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0
	80歳以上 (N=3)	2 66.7	-	-	-	-	-

【精神】	上段:度数	仲間やヘルパーさんなどの会話や交流を行ってほしい	友達と過ごしてほしい	家族と一緒に過ごしたい	その他	不明・無回答
	下段:%					
	19歳以下 (N=3)	1 33.3	-	1 33.3	-	-
	20～29歳 (N=5)	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0
	30～39歳 (N=9)	2 22.2	2 22.2	-	1 11.1	3 33.3
	40～49歳 (N=14)	5 35.7	4 28.6	2 14.3	-	6 42.9
	50～59歳 (N=23)	3 13.0	5 21.7	3 13.0	1 4.3	8 34.8
	60～69歳 (N=13)	-	-	2 15.4	-	6 46.2
	70～79歳 (N=5)	1 20.0	-	-	-	1 20.0
	80歳以上 (N=3)	-	-	1 33.3	-	1 33.3

【問 16 その他回答】

内容	件数	内容	件数
特にない	1	家事手伝い	1
現状が良い	1	婚活	1
何も希望しない	1	買物	1
選択肢に該当なし	1	畑仕事等を一緒にする	1
本人の意思で好きな事をしてほしい	1	自宅で過ごせなくなったら 老人ホーム	1
親の自由が利く間は付き合うつもりだが、年老いた後は何らかの支援を利用したい	1	自分自身で余暇の過ごし方を身に付けてほしい	1
		私の食事を作ってほしい	1

【精神障害者保健福祉手帳】

希望する曜日【精神(N=75)】		希望する時間帯										
80%	60%	40%	20%	0%	上段:度数 下段:%	合計	6時～9時	9時～12時	12時～16時	16時～19時	19時以降	全日 (1日中)
21.3					月曜日	16	-	6	7	3	-	4
	24.0				火曜日	18	-	6	7	4	-	4
		25.3			水曜日	19	-	8	8	3	-	5
			21.3		木曜日	16	-	6	6	2	1	4
				24.0	金曜日	18	-	7	7	2	2	4
	41.3				土曜日	31	1	14	13	6	1	7
		42.7			日曜日	32	1	15	13	5	1	9
			32.0		祝祭日	24	1	11	7	4	2	9
				32.0	不明・ 無回答	100.0	4.2	45.8	29.2	16.7	8.3	37.5

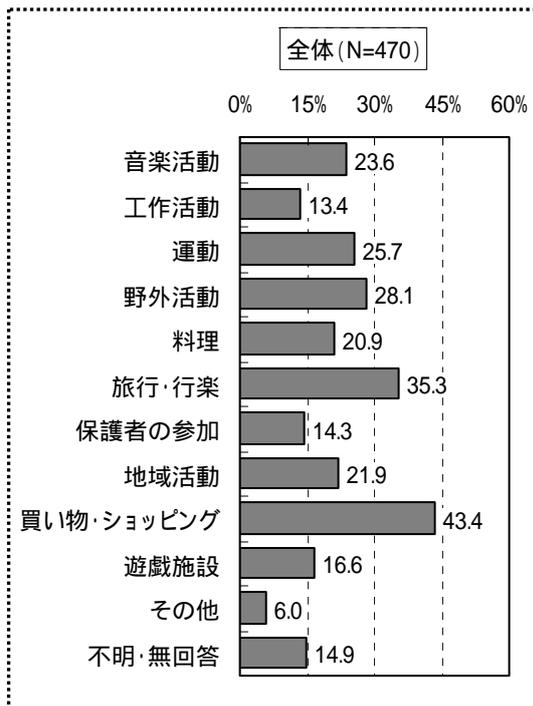
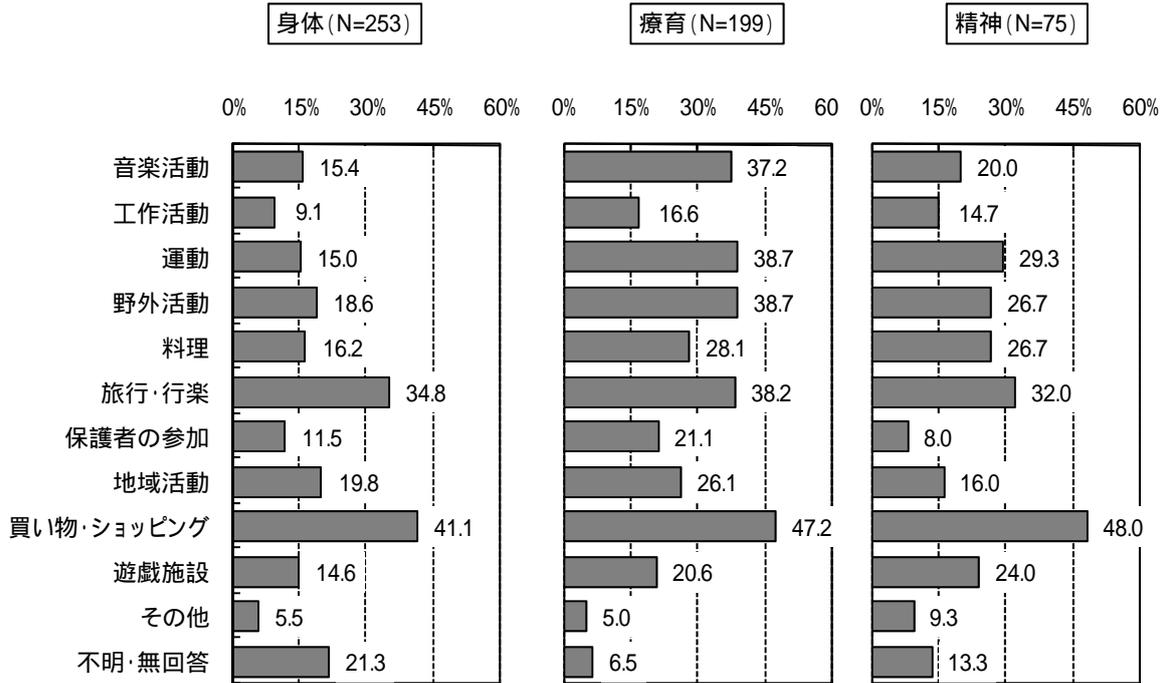
【全体】

希望する曜日【全体 N=470】		希望する時間帯										
80%	60%	40%	20%	0%	上段:度数 下段:%	合計	6時～9時	9時～12時	12時～16時	16時～19時	19時以降	全日 (1日中)
20.4					月曜日	96	5	35	34	27	6	15
	19.8				火曜日	93	3	32	35	24	7	12
		20.4			水曜日	96	2	34	36	21	5	16
			19.1		木曜日	90	3	32	37	23	5	12
				20.0	金曜日	94	6	32	36	26	9	16
	41.9				土曜日	197	12	97	102	28	8	48
		44.9			日曜日	211	12	109	117	30	10	50
			36.6		祝祭日	172	9	86	98	26	8	43
				35.7	不明・ 無回答	100.0	5.2	50.0	57.0	15.1	4.7	25.0

問 18 社会参加や余暇を過ごすための活動として、希望する活動内容は
何ですか（複数回答）

社会参加や余暇を過ごすための活動として、希望する活動内容についてみると、いずれの手帳所持者も「買い物・ショッピング（41.1%・47.2%・48.0%）」が最も高く、次いで身体障害者手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者はともに「旅行・行楽（34.8%・32.0%）」、療育手帳所持者は「運動、野外活動（38.7%）」となっています。

全体では、「買い物・ショッピング（43.4%）」「旅行・行楽（35.3%）」となっています。



選択肢の詳細	
音楽活動	音楽サークル・クラブ、音楽のつどい、楽器演奏、音楽療法、など
工作活動	絵の教室、フラワー教室、など
運動	スポーツ、ダンス教室、水泳、体操、ボウリング、など
野外活動	公園、散歩、山歩き、動物園、遊園地、など
料理	料理サークル、料理教室、など
旅行・行楽	旅行、日帰り旅行、ドライブ、など
保護者の参加	保護者も一緒に参加できる活動、など
地域活動	地域の行事、福祉行事、公共機関の行事、社会見学・体験、など
遊戯施設	カラオケ、ゲームセンター、など

【問 18 年齢別】

【身 体】	上段:度数	音楽活動	工作活動	運動	野外活動	料理	旅行・行楽
	下段:%						
19歳以下 (N=20)	9 45.0	3 15.0	4 20.0	8 40.0	3 15.0	8 40.0	
20～29歳 (N=10)	3 30.0	1 10.0	3 30.0	4 40.0	4 40.0	5 50.0	
30～39歳 (N=9)	1 11.1	-	2 22.2	1 11.1	3 33.3	3 33.3	
40～49歳 (N=14)	6 42.9	1 7.1	3 21.4	6 42.9	1 7.1	5 35.7	
50～59歳 (N=27)	3 11.1	2 7.4	6 22.2	5 18.5	4 14.8	9 33.3	
60～69歳 (N=30)	6 20.0	2 6.7	4 13.3	4 13.3	6 20.0	14 46.7	
70～79歳 (N=80)	9 11.3	10 12.5	7 8.8	12 15.0	10 12.5	31 38.8	
80歳以上 (N=62)	2 3.2	4 6.5	8 12.9	6 9.7	9 14.5	12 19.4	

【身 体】	上段:度数	保護者の参加	地域活動	買い物・ ショッピング	遊戯施設	その他	不明・無回答
	下段:%						
19歳以下 (N=20)	7 35.0	4 20.0	12 60.0	4 20.0	2 10.0	4 20.0	
20～29歳 (N=10)	2 20.0	2 20.0	6 60.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	
30～39歳 (N=9)	-	-	4 44.4	2 22.2	3 33.3	-	
40～49歳 (N=14)	3 21.4	3 21.4	9 64.3	5 35.7	-	-	
50～59歳 (N=27)	1 3.7	3 11.1	15 55.6	3 11.1	1 3.7	4 14.8	
60～69歳 (N=30)	5 16.7	3 10.0	11 36.7	3 10.0	1 3.3	8 26.7	
70～79歳 (N=80)	7 8.8	18 22.5	34 42.5	9 11.3	1 1.3	17 21.3	
80歳以上 (N=62)	4 6.5	16 25.8	13 21.0	9 14.5	4 6.5	20 32.3	

【知的】	上段:度数	音楽活動	工作活動	運動	野外活動	料理	旅行・行楽
	下段:%						
	19歳以下 (N=59)	26 44.1	16 27.1	36 61.0	33 55.9	22 37.3	23 39.0
	20～29歳 (N=38)	20 52.6	8 21.1	15 39.5	14 36.8	14 36.8	14 36.8
	30～39歳 (N=26)	9 34.6	4 15.4	10 38.5	8 30.8	8 30.8	11 42.3
	40～49歳 (N=25)	9 36.0	2 8.0	7 28.0	12 48.0	4 16.0	5 20.0
	50～59歳 (N=21)	4 19.0	1 4.8	2 9.5	2 9.5	1 4.8	9 42.9
	60～69歳 (N=12)	2 16.7	1 8.3	1 8.3	6 50.0	-	4 33.3
	70～79歳 (N=8)	2 25.0	1 12.5	2 25.0	-	2 25.0	5 62.5
	80歳以上 (N=3)	-	-	1 33.3	-	2 66.7	-

【知的】	上段:度数	保護者の参加	地域活動	買い物・ショッピング	遊戯施設	その他	不明・無回答
	下段:%						
	19歳以下 (N=59)	17 28.8	17 28.8	26 44.1	14 23.7	3 5.1	1 1.7
	20～29歳 (N=38)	7 18.4	9 23.7	22 57.9	11 28.9	2 5.3	2 5.3
	30～39歳 (N=26)	7 26.9	3 11.5	9 34.6	5 19.2	2 7.7	1 3.8
	40～49歳 (N=25)	6 24.0	7 28.0	9 36.0	4 16.0	1 4.0	4 16.0
	50～59歳 (N=21)	3 14.3	6 28.6	12 57.1	1 4.8	-	4 19.0
	60～69歳 (N=12)	-	2 16.7	6 50.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3
	70～79歳 (N=8)	1 12.5	4 50.0	6 75.0	1 12.5	-	-
	80歳以上 (N=3)	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-	-

【精神】	上段:度数	音楽活動	工作活動	運動	野外活動	料理	旅行・行楽
	下段:%						
	19歳以下 (N=3)	1 33.3	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3
	20～29歳 (N=5)	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0
	30～39歳 (N=9)	4 44.4	-	5 55.6	2 22.2	2 22.2	5 55.6
	40～49歳 (N=14)	3 21.4	3 21.4	5 35.7	6 42.9	6 42.9	7 50.0
	50～59歳 (N=23)	2 8.7	4 17.4	6 26.1	4 17.4	2 8.7	4 17.4
	60～69歳 (N=13)	3 23.1	-	2 15.4	4 30.8	4 30.8	5 38.5
	70～79歳 (N=5)	-	2 40.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0
	80歳以上 (N=3)	-	-	1 33.3	-	1 33.3	-

【精神】	上段:度数	保護者の参加	地域活動	買い物・ショッピング	遊戯施設	その他	不明・無回答
	下段:%						
	19歳以下 (N=3)	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	-
	20～29歳 (N=5)	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	-
	30～39歳 (N=9)	-	-	7 77.8	2 22.2	2 22.2	-
	40～49歳 (N=14)	2 14.3	5 35.7	9 64.3	5 35.7	1 7.1	3 21.4
	50～59歳 (N=23)	-	2 8.7	10 43.5	5 21.7	3 13.0	4 17.4
	60～69歳 (N=13)	1 7.7	1 7.7	5 38.5	2 15.4	1 7.7	2 15.4
	70～79歳 (N=5)	-	2 40.0	2 40.0	2 40.0	-	-
	80歳以上 (N=3)	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3

【問 18 手帳の等級別】

【身 体】	上段:度数	音楽活動	工作活動	運動	野外活動	料理	旅行・行楽
	下段:%						
1級 (N=78)	17 21.8	8 10.3	9 11.5	21 26.9	9 11.5	26 33.3	
2級 (N=54)	5 9.3	5 9.3	10 18.5	8 14.8	10 18.5	15 27.8	
3級 (N=48)	3 6.3	5 10.4	11 22.9	4 8.3	8 16.7	15 31.3	
4級 (N=41)	9 22.0	3 7.3	6 14.6	6 14.6	8 19.5	23 56.1	
5級 (N=13)	3 23.1	1 7.7	1 7.7	4 30.8	3 23.1	4 30.8	
6級 (N=9)	- -	- -	1 11.1	3 33.3	1 11.1	3 33.3	

【身 体】	上段:度数	保護者の参加	地域活動	買い物・ ショッピング	遊戯施設	その他	不明・無回答
	下段:%						
1級 (N=78)	13 16.7	13 16.7	34 43.6	14 17.9	7 9.0	18 23.1	
2級 (N=54)	4 7.4	7 13.0	23 42.6	8 14.8	3 5.6	11 20.4	
3級 (N=48)	4 8.3	11 22.9	17 35.4	5 10.4	3 6.3	10 20.8	
4級 (N=41)	3 7.3	8 19.5	19 46.3	4 9.8	- -	7 17.1	
5級 (N=13)	2 15.4	6 46.2	4 30.8	4 30.8	1 7.7	3 23.1	
6級 (N=9)	- -	3 33.3	3 33.3	- -	- -	3 33.3	

【知 的】	上段:度数	音楽活動	工作活動	運動	野外活動	料理	旅行・行楽
	下段:%						
A 1 (N=82)	32 39.0	10 12.2	34 41.5	36 43.9	17 20.7	31 37.8	
A 2 (N=10)	2 20.0	- -	2 20.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	
B 1 (N=60)	24 40.0	19 31.7	23 38.3	28 46.7	22 36.7	28 46.7	
B 2 (N=39)	12 30.8	4 10.3	16 41.0	10 25.6	14 35.9	14 35.9	

【知 的】	上段:度数	保護者の参加	地域活動	買い物・ ショッピング	遊戯施設	その他	不明・無回答
	下段:%						
A 1 (N=82)	19 23.2	19 23.2	34 41.5	16 19.5	6 7.3	8 9.8	
A 2 (N=10)	4 40.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	- -	
B 1 (N=60)	14 23.3	19 31.7	32 53.3	11 18.3	1 1.7	2 3.3	
B 2 (N=39)	5 12.8	9 23.1	22 56.4	13 33.3	1 2.6	3 7.7	

【精神】	上段:度数	音楽活動	工作活動	運動	野外活動	料理	旅行・行楽
	下段:%						
	1級(N=14)	3 21.4	1 7.1	3 21.4	5 35.7	2 14.3	3 21.4
	2級(N=42)	10 23.8	8 19	14 33.3	10 23.8	12 28.6	13 31.0
3級(N=18)	2 11.1	2 11.1	5 27.8	5 27.8	6 33.3	8 44.4	
【精神】	上段:度数	保護者の参加	地域活動	買い物・ショッピング	遊戯施設	その他	不明・無回答
	下段:%						
	1級(N=14)	2 14.3	4 28.6	3 21.4	2 14.3	-	4 28.6
	2級(N=42)	4 9.5	8 19	24 57.1	12 28.6	6 14.3	4 9.5
3級(N=18)	-	-	8 44.4	4 22.2	1 5.6	2 11.1	

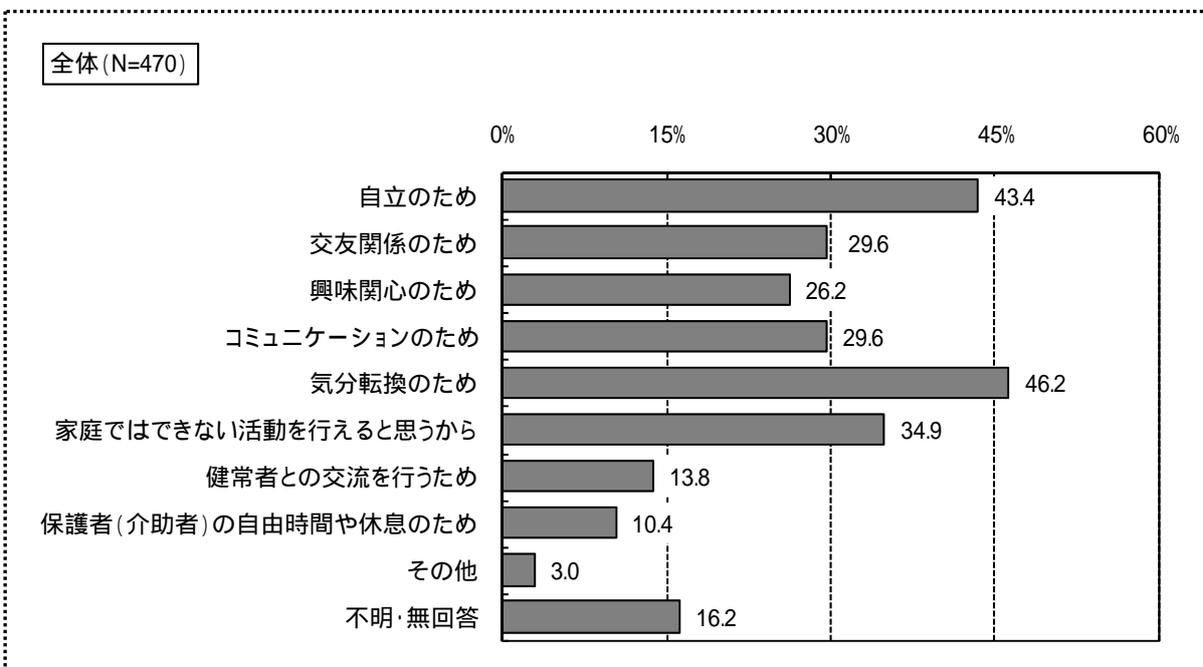
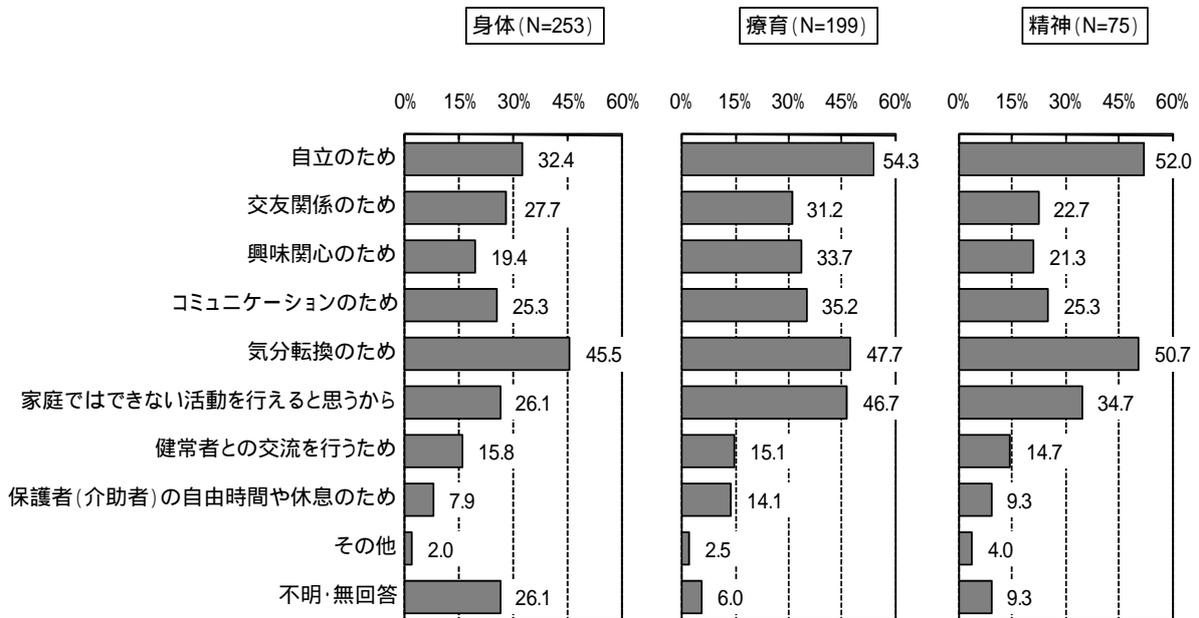
【問 18 その他回答】

内容	件数	内容	件数
特にない	5	家の掃除	1
わからない	2	整理整頓	1
ドライブ	2	足が悪いため行けない	1
自分で出来ない	1	スポーツ観戦	1
選択肢にある活動は出来ない	1	親抜きなら何でも良い	1
別にない	1	歩けないので行かない	1
本人にその気がない	1	若い人達と食事会	1
現状で良い	1	仲間の人に社会心	1
畑仕事	1	図書館	1
野菜作り	1	パソコン	1
花作り	1		

問 19 社会参加や余暇を過ごすための活動を利用する目的は何ですか
(複数回答)

社会参加や余暇を過ごすための活動を利用する目的については、身体障害者手帳所持者が「気分転換のため(45.5%)」、療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者ともに「自立のため(54.3%・52.0%)」が最も高くなっています。

全体では、「気分転換のため(46.2%)」が最も高くなっています。



【問 19 年齢別】

【身 体】	上段:度数	自立のため	交友関係の ため	興味関心の ため	コミュニケー ションのため	気分転換の ため	家庭ではでき ない活動を行 えらと思うか ら
	下段:%						
	19歳以下 (N=20)	8 40.0	9 45.0	10 50.0	9 45.0	10 50.0	9 45.0
	20～29歳 (N=10)	6 60.0	3 30.0	1 10.0	5 50.0	6 60.0	6 60.0
	30～39歳 (N=9)	3 33.3	3 33.3	1 11.1	2 22.2	6 66.7	2 22.2
	40～49歳 (N=14)	6 42.9	6 42.9	4 28.6	5 35.7	11 78.6	3 21.4
	50～59歳 (N=27)	12 44.4	7 25.9	3 11.1	9 33.3	14 51.9	8 29.6
	60～69歳 (N=30)	8 26.7	5 16.7	2 6.7	5 16.7	16 53.3	5 16.7
	70～79歳 (N=80)	21 26.3	22 27.5	18 22.5	19 23.8	30 37.5	21 26.3
	80歳以上 (N=62)	17 27.4	15 24.2	9 14.5	9 14.5	22 35.5	11 17.7

【身 体】	上段:度数	健常者との交 流を行うため	保護者 (介助者)の 自由時間や休 息のため	その他	不明・無回答
	下段:%				
	19歳以下 (N=20)	7 35.0	5 25.0	-	3 15.0
	20～29歳 (N=10)	3 30.0	4 40.0	-	1 10.0
	30～39歳 (N=9)	1 11.1	-	-	-
	40～49歳 (N=14)	1 7.1	1 7.1	-	-
	50～59歳 (N=27)	5 18.5	1 3.7	1 3.7	6 22.2
	60～69歳 (N=30)	3 10.0	1 3.3	1 3.3	10 33.3
	70～79歳 (N=80)	10 12.5	6 7.5	1 1.3	24 30.0
	80歳以上 (N=62)	9 14.5	2 3.2	2 3.2	22 35.5

【知的】	上段:度数	自立のため	交友関係のため	興味関心のため	コミュニケーションのため	気分転換のため	家庭ではできない活動を行えると思うから
	下段:%						
	19歳以下 (N=59)	39 66.1	29 49.2	32 54.2	26 44.1	23 39.0	38 64.4
	20～29歳 (N=38)	24 63.2	16 42.1	10 26.3	13 34.2	15 39.5	26 68.4
	30～39歳 (N=26)	15 57.7	6 23.1	4 15.4	10 38.5	13 50.0	11 42.3
	40～49歳 (N=25)	12 48.0	5 20.0	5 20.0	9 36.0	13 52.0	7 28.0
	50～59歳 (N=21)	6 28.6	1 4.8	5 23.8	5 23.8	12 57.1	4 19.0
	60～69歳 (N=12)	4 33.3	2 16.7	3 25.0	4 33.3	9 75.0	3 25.0
	70～79歳 (N=8)	3 37.5	1 12.5	3 37.5	-	4 50.0	1 12.5
	80歳以上 (N=3)	1 33.3	-	1 33.3	-	2 66.7	1 33.3

【知的】	上段:度数	健常者との交流を行うため	保護者(介助者)の自由時間や休息のため	その他	不明・無回答
	下段:%				
	19歳以下 (N=59)	10 16.9	13 22.0	2 3.4	2 3.4
	20～29歳 (N=38)	9 23.7	9 23.7	1 2.6	1 2.6
	30～39歳 (N=26)	3 11.5	3 11.5	1 3.8	1 3.8
	40～49歳 (N=25)	3 12.0	-	1 4.0	2 8.0
	50～59歳 (N=21)	1 4.8	-	-	4 19.0
	60～69歳 (N=12)	-	1 8.3	-	1 8.3
	70～79歳 (N=8)	2 25.0	1 12.5	-	1 12.5
	80歳以上 (N=3)	-	1 33.3	-	-

【精神】	上段:度数	自立のため	交友関係のため	興味関心のため	コミュニケーションのため	気分転換のため	家庭ではできない活動を行えると思うから
	下段:%						
	19歳以下 (N=3)	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	3 100.0
	20～29歳 (N=5)	3 60.0	-	1 20.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0
	30～39歳 (N=9)	4 44.4	1 11.1	2 22.2	3 33.3	8 88.9	-
	40～49歳 (N=14)	9 64.3	5 35.7	5 35.7	6 42.9	10 71.4	11 78.6
	50～59歳 (N=23)	11 47.8	6 26.1	4 17.4	4 17.4	8 34.8	4 17.4
	60～69歳 (N=13)	7 53.8	1 7.7	2 15.4	2 15.4	7 53.8	4 30.8
	70～79歳 (N=5)	1 20.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0
	80歳以上 (N=3)	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3	-

【精神】	上段:度数	健常者との交流を行うため	保護者(介助者)の自由時間や休息のため	その他	不明・無回答
	下段:%				
	19歳以下 (N=3)	1 33.3	1 33.3	-	-
	20～29歳 (N=5)	1 20.0	-	-	-
	30～39歳 (N=9)	1 11.1	-	1 11.1	-
	40～49歳 (N=14)	4 28.6	2 14.3	-	1 7.1
	50～59歳 (N=23)	1 4.3	-	2 8.7	4 17.4
	60～69歳 (N=13)	2 15.4	1 7.7	-	1 7.7
	70～79歳 (N=5)	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0
	80歳以上 (N=3)	-	1 33.3	-	-

【問 19 その他回答】

内容	件数	内容	件数
参加した事がない	2	就職するための活動	1
わからない	2	健康維持	1
特になし	1	買物	1
認知症予防	1	精神社会 福祉	1

(6) 現在、これまでに参加した社会参加活動について

問20 現在参加している、または、これまでに参加した、若狭地域における社会参加活動(余暇活動)のうち、今後も参加したい、また、参加してよかった感じている活動について具体的にご記入ください

「行事・イベント活動」

行事の分類	件数	行事の分類	件数	行事の分類	件数
スポーツ	28	交流行事	8	美化・環境保全活動	4
地区行事	20	食事・料理	7	ボランティア	3
レクリエーション	19	その他	5	旅行・観光	2
イベント	19	学校行事	5	募金	2
物品販売	14	音楽	5		
ものづくり・アート	13	舞台見学	4		

行事の主な名称			
スポーツ			
グランドゴルフ	ボウリング大会	テニス教室	スポーツ活動
還暦野球	敦賀マラソン	スイミングサークル	合同体育祭
バトミントン教室	ソフトボール大会	障害者スポーツ大会	ゲートボール
コミュニケーション体操	レクリエーション大会	ふれあい健康ウォーク	
地区行事			
地区レクリエーション大会	地域の祭り	地域の子ども会	
レクリエーション			
餅つき大会	花見	地域福祉の集い	
気比まつり	三十三サロン	納涼祭	
クリスマスパーティー	区民レクリエーション大会		
イベント			
はあとびあまつり	産業祭	美浜町産業祭	名田庄文化祭
五湖の郷祭	食祭	放生祭	星のフィエスタ
ハートアンドアート	サマーフェスティバル	ジュニアリーダー活動	

行事の主な名称			
物品販売			
納涼大会	文化祭	縄文まつり	
若狭祭	つみきハウスバザー	作業所バザー	
パレア ハート&フェスタ		若狭町福祉フェスティバル	
ものづくり・アート			
きらりアート展	アピリンピック	給水塔を画く	パレア祭
作品展	文化祭	公民館の作品展	
交流行事			
ふれあいの集い	ふれあい交流祭	歳末助け合いの集い	
障害者交流の集い		ミュージックフェスティバル	
食事・料理			
昼食会	忘年会	キッズキッチン	
トゥモロー	バイキング	料理教室	
学校行事			
宿泊学習	現場実習	校外学習	
学校での夏祭り		学校の文化祭	
音楽			
Big Band Festival	白井 淳夫 JAZZ LIVE	旭座 JAZZ night	
ミュージックケア		老人ホームの慰問	
舞台見学			
小浜市文化祭	やまもも祭	友愛園夏祭り	
美化・環境保全活動			
山の熊よけのテープはり	三方五湖の清掃	中央公園掃除	
ボランティア			
地区の奉仕作業		社会奉仕	
旅行・観光			
ふれあいネットワーク		大飯ワークショップ	
募金			
若狭町熊川の祭		赤い羽根共同募金	
その他			
まち中夢通り	名田庄村の食まつり	菊づくり	トゥモロー茶摘み

参加理由の分類					
スポーツ	件数	地区行事	件数	レクリエーション	件数
自らの希望	13	自らの希望	5	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	6
福祉施設・作業所・所属団体の紹介	7	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	5	自らの希望	5
知り合いの誘い	5	家族の誘い	4	知り合いの誘い	2
地域の誘い	1	知り合いの誘い	3	家族の誘い	2
無回答	2	無回答	3	無回答	4
イベント	件数	物品販売	件数	ものづくり・アート	件数
自らの希望	6	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	4	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	5
福祉施設・作業所・所属団体の紹介	4	自らの希望	3	知り合いの誘い	4
家族の誘い	2	家族の誘い	3	自らの希望	2
知り合いの誘い	2	知り合いの誘い	2	学校の行事	1
無回答	5	地域の誘い	2	無回答	1
		無回答	1		
交流行事	件数	食事・料理	件数	学校行事	件数
福祉施設・作業所・所属団体の紹介	4	知り合いの誘い	3	学校の行事	4
自らの希望	2	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	2		
知り合いの誘い	2	家族の誘い	1	自らの希望	1
		自らの希望	1		
音楽	件数	舞台見学	件数	美化・環境保全活動	件数
福祉施設・作業所・所属団体の紹介	2	自らの希望	2	自らの希望	1
		学校の行事	1	地域の誘い	1
無回答	3	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	1	支援センター・所属団体の紹介	1
				無回答	1
イベント	件数	ボランティア	件数	ものづくり・アート	件数
自らの希望	2	自らの希望	2	知り合いの誘い	1
地域の誘い	1			福祉施設・作業所・所属団体の紹介	1
その他			件数	その他	件数
福祉施設・作業所・所属団体の紹介			2	無回答	3

「福祉施設・作業所等、学校等での活動」

行事の分類	件数	行事の分類	件数	行事の分類	件数
スポーツ	50	ものづくり・アート	6	職場体験	2
旅行・お出かけ	25	その他	5	デイサービス	2
学校行事	20	部活動	4	農業	2
レクリエーション	13	鑑賞	3	美化・環境活動	2
イベント・コンサート	6	物品販売	3		

行事の主な名称			
スポーツ			
障害者福祉スポーツ大会	バレーボール	ゲートゴルフ	
部活動	運動会	ゲートボール大会	
ボウリング大会	障害者体育祭	グランドゴルフ	
旅行・お出かけ			
一泊旅行	日帰り旅行	寮での外食	
修学旅行	施設の食事会	お楽しみドライブ	
学校行事			
体育大会	やまもも祭	学校祭	文化祭
学校での校外活動	校外学習	宿泊学習	
レクリエーション			
バーベキュー	サマースクール	魚釣り大会	キャンプ
クリスマスパーティー	納涼祭	花見	忘年会
イベント・コンサート			
30周年記念祝典	ミニライブ	文化祭	コンサート
ものづくり・アート			
塩作り	10年後の小浜を画く	書道	
展示	箱折り	箆箱の組み立て	
部活動			
音楽部	ダンス	歌を歌う	
鑑賞			
サーカス観覧	プラネタリウム鑑賞	菊見会	
物品販売			
美浜町産業祭	納涼祭	イベントへの出店	
職場体験	デイサービス	美化・環境活動	
職場1日体験	通所	ごみ処理	
福祉施設	一時預かり	環境勉強会	
その他			
同級会	買物ボランティア	マッサージ	
ふれあい交流まつり	ふれあいネットワーク		

参加理由の分類					
スポーツ	件数	地区行事	件数	レクリエーション	件数
福祉施設・作業所・所属団体の紹介	16	自らの希望	6	自らの希望	6
自らの希望	15	施設の行事	6	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	3
知り合いの誘い	6				
学校の行事	4	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	5	家族の誘い	2
地域の誘い	2				
職場の行事	1	学校の行事	3	施設の行事	1
施設の行事	1				
無回答	5	無回答	5	無回答	1
学校行事	件数	イベント・コンサート	件数	ものづくり・アート	件数
学校の行事	16	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	2	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	3
		自らの希望	1	自らの希望	2
無回答	4	知り合いの誘い	1	無回答	1
		施設の行事	1		
		学校の行事	1		
部活動	件数	鑑賞	件数	物品販売	件数
自らの希望	3	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	3	自らの希望	1
家族の誘い	1			施設の行事	1
				家族の誘い	1
職場体験	件数	デイサービス	件数	農業	件数
学校の行事	2	自らの希望	2	無回答	2
美化・環境活動	件数	その他	件数	その他	件数
福祉施設・作業所・所属団体の紹介	1	自らの希望	1	福祉施設・作業所・所属団体の紹介	1
無回答	1	職場の行事	1	無回答	2

「サークル活動・団体活動」

行事の分類	件数	行事の分類	件数	行事の分類	件数
スポーツ	26	サークル	7	ものづくり	3
その他	8	レクリエーション	6	音楽	2
旅行・観光	8	物品販売・バザー	4	料理	2

行事の主な名称				
スポーツ				
グランドゴルフ大会	バレーボール		バトミントン	
ゲートボール	ボウリング大会		会社のウォーキング	
ソフトバレー	卓球		グラウンドゴルフ	
ソフトボール	運動会		ダンススタジオ	
コミュニケーション体操		高校ダイビング部との交流		
旅行・観光				
大阪海遊館	宿泊行事		バス旅行	
障害者福祉協会の家族旅行		吉本新喜劇		
サークル				
よさこい	各種企画大会		クッキング	
句会	花見		シュノーケリング	
成人を祝う会	音楽療法		陶芸	
レクリエーション				
子供会	餅つき大会		音楽鑑賞	
バンド演奏		ピノキオクラブクリスマス会		
物品販売・バザー				
施設のまつり	福祉祭に出店		納涼大会	
ものづくり				
書道	手芸	編物	絵画	陶芸
音楽			料理	
音楽療法	ミュージックケア		料理教室	
その他				
図書館	唱題会		サマースクール	
英会話講習	文化祭		小浜市福祉事業	
県身体障害者福祉大会		ボランティアとの交流		

参加理由の分類					
スポーツ	件数	旅行・観光	件数	サークル	件数
自らの希望	12	福祉施設・作業所・ 所属団体の紹介	4	自らの希望	4
福祉施設・作業所・ 所属団体の紹介	8			福祉施設・作業所・ 所属団体の紹介	2
知り合いの誘い	3	自らの希望	3		
地域の誘い	1	家族の誘い	1	無回答	1
無回答	2				
レクリエーション	件数	物品販売・バザー	件数	ものづくり	件数
福祉施設・作業所・ 所属団体の紹介	4	福祉施設・作業所・ 所属団体の紹介	3	知り合いの誘い	2
自らの希望	1	無回答	1	家族の誘い	1
知り合いの誘い	1				
音楽	件数	料理	件数	その他	件数
福祉施設・作業所・ 所属団体の紹介	1	福祉施設・作業所・ 所属団体の紹介	1	福祉施設・作業所・ 所属団体の紹介	4
				自らの希望	2
家族の誘い	1	無回答	1	地域の誘い	1
				無回答	1

「その他の活動」

行事の分類	件数	行事の分類	件数	行事の分類	件数
ボランティア	17	その他	4	給食	1
美化活動	15	募金活動	4		

行事の主な名称			
ボランティア			
給食サービス	奉仕活動	配食	草取り
句会奉仕	俳句教室	神社・お寺の掃除	缶・瓶・ごみ拾い
美化活動			
ごみ出し	缶拾い	アルミ缶潰し	老人会行事
白鳥海岸のごみ拾い	駐車場の清掃	小浜市福祉事業	
寺内の清掃	児童公園の草取り	地域の草むしり	
会社周辺のごみ集め	神社の枯葉集め	クリンキャンペーン	
募金活動		給食	
街頭募金	赤い羽根街頭募金活動	食事の手伝い	
その他			
小浜のはまかぜ通りのイベント		身体障害者福祉協会	
ぼちぼちいこ会		友人に小説をプレゼント	

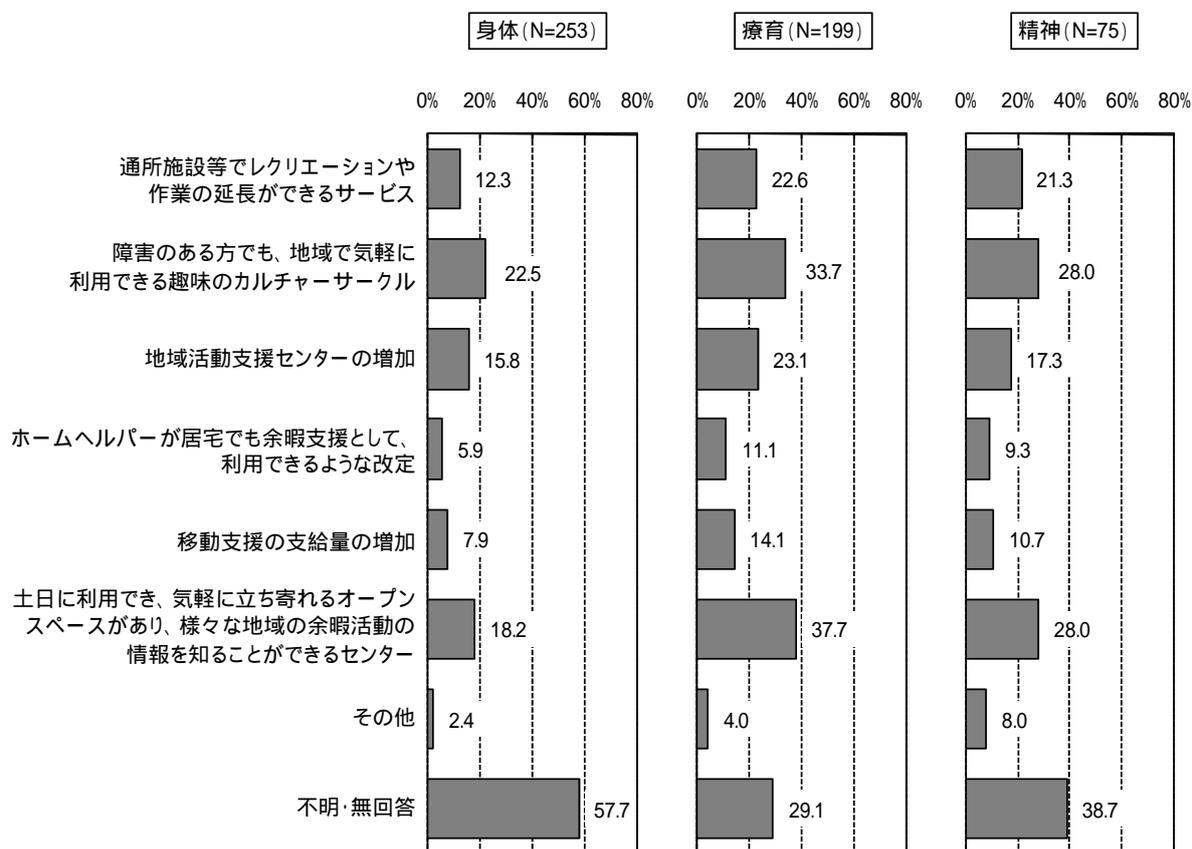
参加理由の分類						
ボランティア		件数	美化活動		件数	
支援センター・所属団体の紹介		5	自らの希望		7	
自らの希望		2				
地域の誘い		2	福祉施設・作業所・所属団体の紹介		4	
施設の活動		2				
知り合いの誘い		1	知り合いの誘い		2	
家族の誘い		1	地域の誘い		1	
無回答		4	家族の誘い		1	
募金活動		件数	給食	件数	その他	
福祉施設・作業所・所属団体の紹介		2	自らの希望		福祉施設・作業所・所属団体の紹介	
自らの希望		1				1
施設の活動		1				

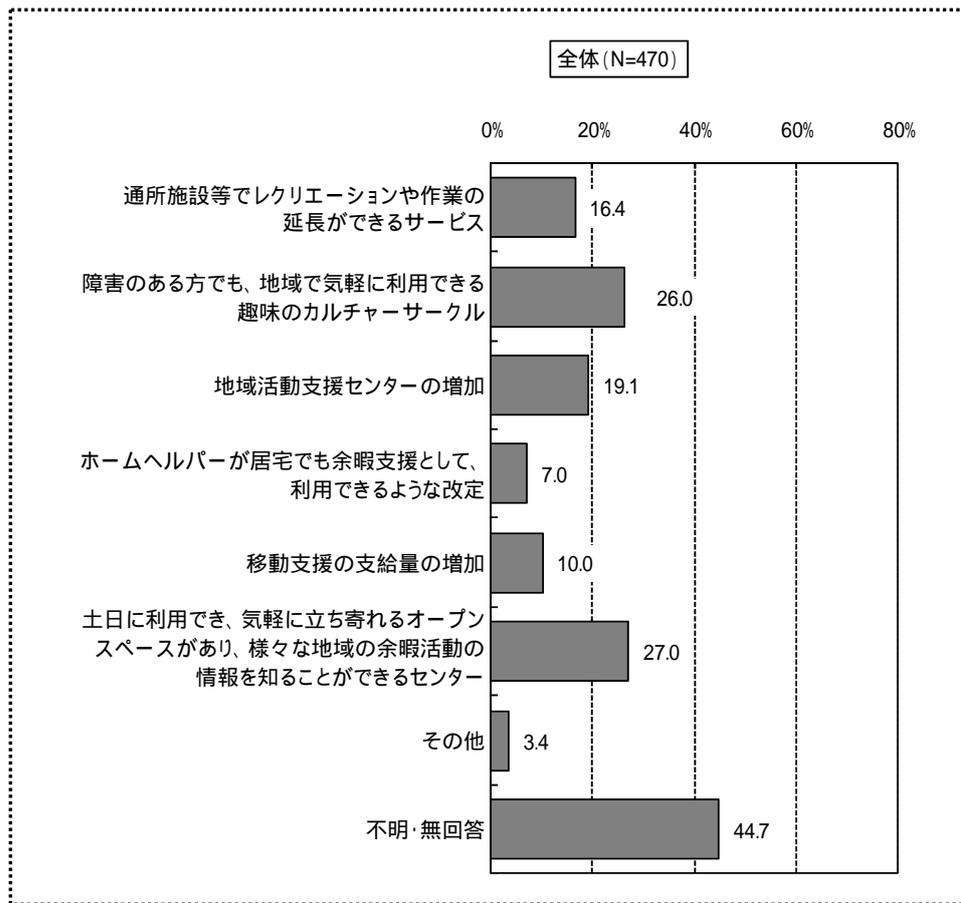
(7) 社会参加や余暇を過ごすための活動について

問22 今後、どのような支援があれば、社会参加のための活動・余暇を過ごすための活動に参加できると思いますか（複数回答）

今後、どのような支援があれば、社会参加のための活動・余暇を過ごすための活動に参加できると思うかについてみると、いずれの手帳所持者も「障害のある方でも、地域で気軽に利用できる趣味のカルチャーサークル（絵、スポーツなど）（22.5%・33.7%・28.0%）」、「土日に利用でき、気軽に立ち寄れるオープンスペースがあり、様々な地域の余暇活動の情報を知ることができるセンター（余暇活動支援センターなど）（18.2%・37.7%・28.0%）」が高くなっています。

全体でも、「障害のある方でも、地域で気軽に利用できる趣味のカルチャーサークル（絵、スポーツなど）（26.0%）」「土日に利用でき、気軽に立ち寄れるオープンスペースがあり、様々な地域の余暇活動の情報を知ることができるセンター（余暇活動支援センターなど）（27.0%）」が高くなっています。





【問 22 年齢別】

身 体	上段:度数	通所施設等でレクリエーションや作業の延長ができるサービス	障害のある方でも、地域で気軽に利用できる趣味のカルチャーサークル(絵、スポーツなど)	地域活動支援センター(デイサービスのようなどころ)の増加	ホームヘルパーが居宅でも余暇支援として、利用できるような改定	移動支援の支給量の増加	土日に利用でき、気軽に立ち寄れるオープンスペースがあり、様々な地域の余暇活動の情報を知ることができるセンター(余暇活動支援センターなど)	その他	不明・無回答
	下段:%								
身 体	19歳以下 (N=20)	5 25.0	7 35.0	10 50.0	3 15.0	1 5.0	12 60.0	-	2 10.0
	20~29歳 (N=10)	4 40.0	6 60.0	5 50.0	3 30.0	2 20.0	6 60.0	-	1 10.0
	30~39歳 (N=9)	2 22.2	3 33.3	-	-	1 11.1	-	-	4 44.4
	40~49歳 (N=14)	2 14.3	5 35.7	2 14.3	-	3 21.4	3 21.4	-	7 50.0
	50~59歳 (N=27)	7 25.9	6 22.2	4 14.8	-	2 7.4	4 14.8	1 3.7	14 51.9
	60~69歳 (N=30)	1 3.3	5 16.7	4 13.3	2 6.7	3 10.0	6 20.0	1 3.3	19 63.3
	70~79歳 (N=80)	7 8.8	16 20.0	7 8.8	1 1.3	3 3.8	9 11.3	2 2.5	57 71.3
	80歳以上 (N=62)	3 4.8	9 14.5	8 12.9	6 9.7	5 8.1	6 9.7	1 1.6	42 67.7

【知】	上段:度数	通所施設等でレクリエーションや作業の延長ができるサービス	障害のある方でも、地域で気軽に利用できる趣味のカルチャーサークル(絵、スポーツなど)	地域活動支援センター(デイサービスのようなどころ)の増加	ホームヘルパーが居宅でも余暇支援として、利用できるような改定	移動支援の支給量の増加	土日に利用できる、気軽に立ち寄れるオープンスペースがあり、様々な地域の余暇活動の情報を知ることができるセンター(余暇活動支援センターなど)	その他	不明・無回答
	下段:%								
	19歳以下(N=59)	16 27.1	24 40.7	26 44.1	11 18.6	9 15.3	28 47.5	3 5.1	5 8.5
	20~29歳(N=38)	11 28.9	13 34.2	9 23.7	4 10.5	6 15.8	16 42.1	-	13 34.2
	30~39歳(N=26)	7 26.9	8 30.8	5 19.2	3 11.5	5 19.2	6 23.1	1 3.8	9 34.6
	40~49歳(N=25)	4 16.0	9 36.0	1 4.0	1 4.0	2 8.0	10 40.0	-	10 40.0
	50~59歳(N=21)	3 14.3	4 19.0	2 9.5	1 4.8	3 14.3	5 23.8	1 4.8	9 42.9
	60~69歳(N=12)	2 16.7	3 25.0	1 8.3	-	-	4 33.3	1 8.3	6 50.0
	70~79歳(N=8)	2 25.0	5 62.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5
	80歳以上(N=3)	-	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3

【精神】	上段:度数	通所施設等でレクリエーションや作業の延長ができるサービス	障害のある方でも、地域で気軽に利用できる趣味のカルチャーサークル(絵、スポーツなど)	地域活動支援センター(デイサービスのようなどころ)の増加	ホームヘルパーが居宅でも余暇支援として、利用できるような改定	移動支援の支給量の増加	土日に利用できる、気軽に立ち寄れるオープンスペースがあり、様々な地域の余暇活動の情報を知ることができるセンター(余暇活動支援センターなど)	その他	不明・無回答
	下段:%								
	19歳以下(N=3)	1 33.3	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-	2 66.7
	20~29歳(N=5)	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	-	3 60.0
	30~39歳(N=9)	3 33.3	2 22.2	4 44.4	1 11.1	2 22.2	2 22.2	-	2 22.2
	40~49歳(N=14)	4 28.6	7 50.0	4 28.6	3 21.4	4 28.6	9 64.3	-	2 14.3
	50~59歳(N=23)	3 13.0	6 26.1	1 4.3	-	1 4.3	4 17.4	2 8.7	11 47.8
	60~69歳(N=13)	3 23.1	3 23.1	1 7.7	1 7.7	1 7.7	4 30.8	3 23.1	4 30.8
	70~79歳(N=5)	-	1 20.0	2 40.0	-	-	-	1 20.0	3 60.0
	80歳以上(N=3)	-	-	-	1 33.3	-	-	-	2 66.7

【問 22 その他回答】

内容	件数	内容	件数
ない	3	買物	1
地域の和がなれば	1	畑仕事が忙しくて参加出来ない	1
きらら入浴券補助	1	気軽に利用出来る介助者の支援	1
よくわからない	1	人権の平等	1
温泉等の公共施設の入浴介護 ボランティアが必要	1	駐車場の確保	1
本人の行動に同行していただき、 一緒に活動していただける仕組みと 人材の育成	1	人との関わりが出来ない子の ため、活動に参加する事は難しい	1

2 . アンケート・ヒアリング調査結果

2 - 1 団体・事業所に対するアンケート調査結果

(1) 貴団体が実施している事業名・行事名・活動名

イベント・レクリエーション			22 件
もちつき大会	3 件	花見	1 件
バーベキュー	2 件	納涼祭	1 件
レクリエーション	2 件	一泊旅行	1 件
美浜町身障協会集い（日帰り旅行）	2 件	成人式	1 件
クリスマスパーティー	2 件	ボーリング大会	1 件
あすなる会	1 件	バザー	1 件
夏休み生活支援事業（PTA活動、夏休みの数日、レクリエーションを実施）	1 件	地域包括支援センターの精神障害 デイケアの利用者対象に呼びかけ クリスマス会を実施	1 件
屋外活動（みかん狩り、いちご狩り、 マスつかみ）	1 件	小浜、高浜で月1、2回、 鯉川いきいき朝市	1 件
介護・支援			14 件
障害者福祉サービスによる訪問系サービス（重 度訪問介護、居宅介護、行動援助、同行援護）	4 件	介護保険の身体介護と移送サービ スを併用しての余暇活動	1 件
地域生活支援事業（町の委託、移動 支援、訪問入浴サービス、日中一時 支援）	3 件	児童デイサービス （母子通園による保育、療育事業）	1 件
		生活介護	1 件
短期入所	1 件	相談支援	1 件
共同生活介護（グループホーム）・共同生活援助（ケアホーム）			1 件
スポーツ			11 件
福井県障害者スポーツ大会への参加	3 件	若狭地区ゲートボール大会	1 件
部活動（ソフトボール部、 バドミントン部、ダンス部）	2 件	ニュースポーツ体験 （フライングディスク）	1 件
小浜水産高校ダイビングクラブ （障害児者のダイビング体験）	1 件	月1回の健康増進活動 （体づくり、スポーツ）	1 件
健康ウォーク	1 件	ゲートボールサークル（月2回）	1 件
就労			5 件
ジョブセミナー	1 件	就労移行支援	1 件
就労支援事業	1 件	就労継続支援A型	1 件
		就労継続支援B型	1 件

造形・音楽活動			4件
部活動（音楽部、美術部）	1件	造形活動	1件
絵画教室（ものづくり美学舎より）	1件	音楽リズム	1件
祭り			4件
夏祭り（夏休み中の1日、本校児童生徒、保護者、卒業生対象）	1件	おおいふれあい、福祉まつり（Cネットふくい、友愛会他）	1件
ひだまり納涼祭（Cネット）	1件	やすらぎ秋祭り（あすなる会）	1件
講演会・フォーラム			3件
「発達障害への理解を深めてもらうための映画会」年一回	1件	福祉講演会	1件
		障害者と共に考えよう 小浜フォーラム	1件
交流会			3件
年一回ふれ愛交流まつり（若狭町主催）	1件	関西電力労働組合との交流会（年1回）	1件
障害児（者）とのレクリエーション（地元中学生とミュージックケアを通じて交流）			1件
学習			2件
社会見学	1件	パソコン教室	1件
その他			5件
「まちなか夢通り」年一回	1件	通勤寮	1件
奉仕作業	1件	グループホーム・ケアホーム	1件
実施主体でなく、草の根福祉活動、赤い羽根歳末たすけあいの助成事業としての支援（たんぼぼの会、そよかぜの会、いさざの会）			1件

(2) 主に貴団体の利用者が参加している活動名 地域の社会資源

スポーツ		8件
フレンピック・障害者スポーツ大会 (障害者対象スポーツ大会)	3件	社会福祉協議会まちなか夢どおり 共同募金
健康ウォーク	1件	卓球サークル
スポーツ教室	1件	グラウンドゴルフ大会
交流会		5件
きんたろう(発達に何らかの障害が ある児童とその親のサークル)	1件	地域のいろいろな行事で販売を 通して交流
高浜町つくしの会(福祉の増進と 会員相互間の交流「肢体不自由児・ 者および知的障害児・者」)	1件	高浜町身体障害者福祉協会 (福祉の増進と会員相互間の交流 「身障手帳所持者対象」)
親の会(杉の子会)の活動		1件
地域活動・行事		3件
市営駐車場、公園、JR駅トイレ等 の清掃活動	1件	地域の行事 (奉仕作業、夏祭りほか)
		グループホーム・ケアホーム
学習		2件
おひさま広場(保健課が主となり、言葉と体を育む遊び教室 【月1回個別育児相談有り】)		1件
エンゼルスクール(若狭町、夏休み中の生活・学習支援)		1件
造形		2件
いさざの会(月1回程度の芸術活動)		1件
きらりアート展への出品 (若狭ものづくり美学舎が実施している美術コンクール)		1件
コンクール		1件
アビリンピックへの参加(障害者職業センターが実施する職務技能コンクール)		1件
祭り		1件
小浜、加斗地区のまつり		1件
レクリエーション		1件
各市町の社協が実施するイベント参加(もちつき大会など)		1件

(3) 「余暇活動や地域交流活動」の現状・課題

移動・交通		7件
交通の不便さ	3件	移動の手段がない
重度の障害のある方への支援 (自宅までの送迎、活動参加中の付き添い、重度の方も参加しやすい内容)		1件
活動内容・場所		6件
活動の場が少ない	1件	他の施設との交流の場が少ない
年齢、障害の種類により参加できる 内容がバラバラ	1件	活動日・活動場所の設定 (曜日・時間帯・活動場所)
一般の方対象のイベントに障害者も参加できる配慮がない		1件
地域活動支援センターが無いため、小浜市まで行かなければならない現状がある。そのため、余暇活動及び地域交流、活動の場が少なく他町の資源に頼る必要がある。		1件
宣伝不足		3件
宣伝不足	2件	情報が少ない
人手不足		3件
ボランティア不足	2件	つきそってくれる人がいない
その他		5件
家族での買い物やお出かけを している	1件	保護者の高齢化により協力を 得ることがむずかしい
健常者自体の余暇活動も 活性化されていない	1件	年齢がまだ小さいため保護者と 一緒に過ごしている
地域性		1件

(4) 地域全体が行える取り組み

活動内容			5 件
日常行われている活動に、障害のある人も参加しやすい配慮をする	2 件	公共施設の活用 (カラオケスタジオを使ったカラオケ同好会、トレーニングルームを使っ てのエアロビクスサークルなどを無料または割引で)	1 件
一般の方も含めたサークル活動の充実	1 件		
障害についての学習会、子ども～年代問わず	1 件		
移動・交通			4 件
移動支援、行動援護サービスの充実	2 件	障害のある人が外出しやすい環境づくり(ユニバーサルデザイン他)	1 件
交通方法の配慮(巡回バスを出すなど)			1 件
協力体制			3 件
社協事業との協働による活動支援	1 件	地域全体はわからないが、商工会、ライオンズ、青年会議所等の協力を得ての活動ができれば良い	1 件
ネットワークづくり	1 件		
ボランティア			3 件
ボランティアの確保	1 件	ボランティアの育成 特に自閉症の理解を促す	1 件
介助ボランティア	1 件		
情報			2 件
障害のある人への呼びかけを積極的に行う	1 件	情報の共有化	1 件
交流			1 件
障害のある人との住民との交流の機会および交流の場を設けること			1 件
その他			1 件
地域活動支援センターを設ける			1 件

(5) 貴団体が行える取り組み

活動内容・参加促進		4 件
地域交流行事への積極的な参加促進	1 件	小地域ごとに、障害のある人も含めた福祉総合相談窓口設置
事業所が持つ機能を活用して、色々な要望に応えたい	1 件	
サークル、クラブを作り、広げることにはできる。 ただし休日に支援者が交代で参加し、維持するのが大変。結局、人の問題		1 件
移動支援		2 件
移動支援		1 件
部活動から地域活動への移行支援（ダンス部の子を地域のヨサコイサークルにつなげるなど）		1 件
人材育成		2 件
ボランティア養成の手伝い（講座を開く。ふれあう機会を提供する）		1 件
障害のある人を支援してくれる人（ボランティアなど）の斡旋・養成		1 件
イベント		1 件
地域交流のひとつとして、年に一回、もちつき大会に地域の子どもたちを招待		1 件
啓発		1 件
障害のある人の理解の促進		1 件
スポーツ		1 件
会員以外の方を含めたニュースポーツ大会		1 件
ネットワーク		1 件
関係機関とのパイプ強化		1 件

2 - 2 自治体に対するヒアリング調査結果

(1) 市町が実施している事業名・行事名・活動名

自治体名	内容
小浜市	<p>(1) 障害者スポーツ大会 (53 回) 身体障害者対象だったが2年前から3障害を対象に毎年4月実施。 ボランティアを含め約500人の参加</p> <p>(2) 視覚障害者ローリングボール大会 (20 回) 視覚障害者の社会参加と体力作り・交流を目的に男女共同参画 ネットワークの協力により50人~60人の参加で実施</p> <p>(3) 手話講演会 (35 回) ボランティアの育成 参加者10人</p> <p>(4) 要約筆記講習会 (13 回) ボランティアの育成 参加者10人</p> <p>(5) リハビリ支援事業 プール使用料金の全額免除 (身体障害者) H21 年4月~</p>
若狭町	<p>(1) 障害児夏休み等生活支援事業 平成17年より親の会の希望により1平均10人程度で実施。 8:30~16:00の時間帯で学習・クッキング・プール・創作活動を実施。 保護者が送迎を行っている。ボランティアのかかわりは無し</p> <p>(2) 余暇活動支援事業 昨年より保護者の希望により町内の社会福祉法人が委託され 実施されている。年3回の実施を条件に5万円程度の補助。 10人程度参加。移動は保護者</p>
高浜町	<p>(1) 高浜町身体障害者福祉協会 会員155名 元気作り大会・新春交歓会・福祉施設観察・若狭地区スポーツ大会</p> <p>(2) 高浜町つくしの会 会員23名 知的・身体の親の会 食事会・バス旅行</p> <p>(3) きんたろう 会員12名、小学校・幼児のグループ 月1回の音楽療法・家族交流会・月2回の音楽療法</p> <p>(4) 手話サークル 会員7名 学習会・町文化祭参加・手話普及活動</p> <p>各団体の活動に対して補助を行っている。 唯一町が行っている活動は精神障害者対象デイケアを年3回実施 参加者7~8名で実施 (クリスマス会・新年会・カラオケ等)</p>

自治体名	内容
美浜町	<p>(1) 在宅障害児等交流支援事業 平成21年10月より社会福祉協議会に委託。 平成21年：25名の参加にて越前市着物、菊人形見学。 平成22年：27名参加で4回美浜町はあとびあでゲーム、昼食、絵手紙作成を行う。 平成23年：「ぼちぼちいこ会」となり、6月より毎月1回実施、はあとびあでのおしゃべり会ゲーム、17名の参加。11月には13名の参加で越前竹人形の里、道の駅みくにで買い物の体験。行事は日曜日開催、参加者が減っても行う、同行者の付き添いはあるが親の責任により親が参加なくてもよい。</p>
おおい町	<p>(1) ミニデイケア 精神障害のある人を対象に平成14年から実施。年間のチラシを配布、料理・ミュージックケア等3人～5人の参加。 (2) はぐはぐの会 平成21年より月1回3～5人を対象に実施。 (3) 育児教室（すくすく広場） 月1回の保健師によりミュージックケア 月1回の子育てサークル</p>

(2) 「余暇活動や地域交流活動」の現状・課題

自治体(仮称)	内容
A	・余暇活動等の実施主体・支援体制の不足
B	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇活動や地域交流等は各種団体が中心になっているが団体に加入しない人が多くなっている ・個人情報厳しく行政から個人的な情報を流すことができない ・新規の勧誘が難しい
C	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年同じサイクルで活動が行われている ・支援者も固定している ・団体の入会も少ない ・予算にも限度がある
D	<ul style="list-style-type: none"> ・利用対象者の把握ができてない ・学校との連携、つながりがない
E	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段がなく一人での参加ができない ・事業の内容が参加しにくいものがある ・親の負担が多い、一緒にないと参加しにくい ・移動も含めた事業にしようと考えている ・町単独では難しい（土、日、マンパワーの不足）社協の事業と連携が強い。 ・外出したいというニーズは強い ・障害のある人のみでなく高齢者を含めたサービスとなることもある ・障害種別で親の会が自ら行っている

(3) 地域全体の取り組み

自治体(仮称)	内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での行事へ参加しやすい体制づくり（声かけ・誘い合い） （区・民生委員など、事業所や行政にすべて頼るのでなく地域で支えあえることができればよい） ・地域コミュニティの確立
B	活動するときの移動手段がなく参加したくても参加できない現状があるため、移動についての取り組みに力を入れなければならない
C	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で行える取り組み （支援者を幅広く確保できなければ活性化につなげられない）

(4) 市町の取り組みや支援

自治体(仮称)	内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・学生ボランティアの育成により対象者への参加を促す ・広報誌・ケーブルテレビでの周知 ・障害の特性の理解のための啓発
B	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の未加入の方の情報は流すことができないが行事の案内など郵送の手伝いはできる。現在、身体障害者協会については手帳申請時に協会加入の案内文章を渡している ・現在取り組んでいるサービスとして通院外出支援、タクシーチケット配布、イベント時には要請を受け、町・社会福祉協議会より無料送迎
C	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で行える取り組みには支援者を含め限りが見られる ・取り組みとして町内の体育協会や文芸協会関係の団体に協力を依頼し、多種多様なことにチャレンジできる機会を提供したい
D	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり専門スタッフが関係する余暇活動 ・サロンのこと ・学校へのつながり
E	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、社会福祉協議会に委託している ・在宅障害児等交流支援事業の充実を図る

(5) 各団体や事業所、住民の活動団体等に行ってほしいこと、役割

自治体(仮称)	内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを把握し参加したくなる活動の提案
B	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会に対して、ふれあい交流事業（外出支援）の充実と在宅障害児等交流支援事業の継続と充実をお願いしたい ・各家族会の行事に積極的に町民が参加できるように働きかける
C	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな行事や活動について、行政が企画運営することが難しい ・積極的にアイデアを出していただき、その中で行政としてバックアップできることは行いたい
D	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の育成 ・高校中退の方へのかかわりとして教育委員会の役割で各学校との連絡会が必要ではないか

3 . 事例調査結果

<p>(1) 野洲市なかよし交流館 (滋賀県野洲市)</p> <p>実施主体 : 滋賀県野洲市 (N P O 法人 野洲ハンディキャップスポーツクラブワイワイ 21 に指定管理委託)</p>
<p style="text-align: center;">概要 (事業概要、施設、実施事業等)</p>
<p>○障害のある人々がスポーツを楽しんだり、交流を深めたりすることを目的とした施設であり、アリーナその他、トランポリンやボールプール、大型ブランコなどが利用できる感覚統合室や、心地よい光や触感などの感覚刺激から心のリラックス効果が得られるスヌーズレン室、サウンドテーブルテニス室などが設置されている施設。また、屋外には芝生広場 (1,000㎡) があり、グラウンドゴルフやアキュラシーができる。</p> <p>○野洲市がNPO法人に運営委託し、事業を実施しているが、湖南圏域 (草津市・守山市・栗東市) や大津市、その他からの利用者も多くいる。また、障害者団体や障害福祉サービス等の提供事業所等の利用も多く、利用者は毎年約1,000名以上増加しており、現在、年間約10,000名を超える利用者を受け入れている。</p> <p>○スポーツ教室、音楽教室、各種交流会、イベント、スポーツフェスティバルなども行われている。事業参加者はホームページ、通信、掲示により自主的に参加してもらっている。</p> <p>○児童・生徒を対象とした「日中一時支援事業」を実施している。</p> <p>○休日等においては、障害のある人が安心して過ごせる居場所として、「移動支援事業」等の利用者が施設で過ごすことも多い。また、成人のサークル活動 (ソフトバレー・スポーツ吹矢・卓球) が行われ、広く余暇活動の場として活用されている。</p> <p>○施設備品 (スポーツ道具・遊具) を地域の学校、団体等に貸出し、有効活用をしている。</p>
<p style="text-align: center;">特徴</p>
<p>○障害のある人が安心して過ごせる各種設備等が完備されている市町村施設としては、非常にめずらしい。</p> <p>○地域の方に広く参画してもらい、事業を展開しており、職員は企画・運営を行うことが中心である。福祉のみでなく地域の人脈を大切にしており、特にスポーツ指導者については、福祉に携わったことがない方にも積極的に参加していただき、スポーツ活動のすそ野を広げている。実施主体の拡大を図ることで、余暇活動の場を広げている。</p>

(2) こどもサークルロコ (滋賀県大津市堅田) きたくぶ (滋賀県大津市唐崎)
実施主体 : 社会福祉法人 おおつ福社会

(3) ぼあん (滋賀県大津市一里山)
実施主体 : 社会福祉法人 しが夢翔会

概要 (事業概要、施設、実施事業等)

- 「大津市障害者日中一時支援事業」により、主に学校の放課後や休暇等において、児童の活動の支援を行っている。
- 大津市障害者自立支援協議会では、各会議では詳細な協議を行いにくい課題や緊急性の高い課題の解決のために、期間を定めて集中的に協議する場として、「プロジェクト会議」を設置している。放課後や休日の子どもの過ごす場所がどこも飽和状態であるという声にこたえるため、「障害のある児童へのより良い放課後支援のあり方検討プロジェクト」を立ち上げ、必要な支援や今後の方向性等の検討を行い、市に提言書を提出するとともに、「放課後支援ガイドブック～事業者の皆様へ～」を作成するなどする。
- 「大津市障害者日中一時支援事業」の送迎加算を活用した送迎を実施し、アクセス権の保障を大切にしている。

特徴

- 児童の放課後支援のニーズに対応するため、「プロジェクト会議」を立ち上げ、「放課後支援ガイドブック～事業者の皆様へ～」を作成するなど、児童の放課後支援を行う事業所の拡大と利用者の増加につなげている。

(4) MMKサークル (滋賀県大津市)
実施主体 : 社会福祉法人 しが夢翔会 障害者相談センターみゅう

概要 (事業概要、施設、実施事業等)

- 2010年10月に立ちあげられた大津市内の知的障害のある男性たちが性や恋愛の悩みを語り、楽しく学び合うサークルである。
- 「移動支援事業 (グループ型)」を利用し、サークル活動を行っている。
- 新聞やテレビでも取り上げられるなど、注目を受けている。

特徴

- 障害のある人が悩みを相談できる場や情報が少ない中で、性について正面から語り合うサークルは珍しく、参加者に好評を得ている。
- 「移動支援事業 (グループ型)」を有効活用し、気の合う仲間と一緒に出かけられたり、仲間で相談し合い行き先を考えたりするなどしている。「大津市障害者移動支援事業実施要領」によると、1回につき障害のある人が30人まで支援を受けることができ、例えば、障害のある人が9人～11人の場合、「支援時間4時間以下」で37,000円の委託金額となる。

(5) わいわい絵画教室(滋賀県大津市)

実施場所：滋賀大学附属特別支援学校虹の家(唐崎教室)、大津市立障害者福祉センター(におの浜教室)、堅田市民センター(堅田教室)、障害者相談センターみゅう(瀬田教室)

概要(事業概要、施設、実施事業等)

- 平成24年3月現在、30名以上の登録者が自宅近くの教室に参加(1か所5名~10名)している。
- 講師は自宅を開放しアトリエにして絵画教室を営んでいたが、もっと活動を広げたいという思いから、市内の社会福祉法人の協力や、「移動支援事業(グループ型)」を活用するなどして、月1回1か所から絵画教室をスタートした。2年後には、市内4か所で実施されるようになった。
- 参加者からはアート展覧会の受賞者が続々と出るようになった。
- できあがった作品による個展の開催やはがきセットの制作等、様々な活動につなげている。
- 講師の他、登録ボランティアなどの協力により事業を実施している。

特徴

- 短期間の間に実施場所と参加者の拡大につなげるとともに、継続して実施できる体制を整えている。
- 定期的に活動を実施し、継続していくための支援として、既存のサービス(「移動支援事業(グループ型)」)を有効活用している。



【「移動支援事業(グループ型)」を活用した余暇支援】

「移動支援事業(グループ型)」とは、屋外でのグループワーク、同一目的地・同一イベントへの複数人が同時参加する際の支援のことをいう。

【グループ支援の良いところ】

- ・気の合うメンバーと一緒に出かけられる
- ・メンバー同士が相談して活動の中身(内容や行き先)を考えられる
- ・ヘルパーとマンツーマンではないので、より当事者同士の交流が活発になる
- ・自己負担金が0円である

資料：「社会福祉法人 しが夢翔会実践報告会資料」より

(6) 障害児放課後クラブぽかぽか (大阪府柏原市)

実施主体 : N P O 法人 ぽかぽか

概要 (事業概要、施設、実施事業等)

- 平成17年、保護者6人が中心となりフリーマーケット・空き缶リサイクル等資金作りを実施、市からの補助もなく障害児の受け入れを行うが経営が困難になるが根気よく継続する中、平成18年にNPO法人を取得する。平成19年に柏原市障害児タイムケア事業として委託を受ける。
- 送迎は当初親が全面的行っていたが、現在は日本財団等の福祉車両6台の助成を受け職員が送迎を行う (学校～施設～自宅) 。
- シニアボランティア3名週2回かかわりがある。
- 学校休校日には主に外での活動を多く取り入れている。
- 活動に対する経費が大変であるが周りの子どもたちと同じ体験をさせることを主にしている。

特徴

- 市内の学校の放課後児童会への「すべての障害児」の受け入れが叶わない状態等から、「障害を持っていても放課後を友達と豊かに過ごしたい、色々な体験をさせてやりたい」という親の思いから、障害児のための放課後クラブを作ろうと有志で立ち上げ、開所に結びつけている。
- 学齢期の障害児の豊かな放課後づくり、仲間づくりを目指して、さまざまな野外活動や創作活動を行っている。

(7) 障がい者が暮らしやすい地域づくりのための社会資源集の作成(大阪府泉州地域)

実施主体：大阪府、高石市、泉大津市、忠岡町、和泉市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、熊取町、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、圏域内の相談支援事業所

概要(事業概要、施設、実施事業等)

○障害のある人が地域でいきいきと安心して暮らしていけるようにするためには、障害福祉サービスをはじめ、学習、余暇活動、地域の人々との交流の場所といった、日々の暮らしのための社会資源の状況をきめ細かく把握し、その情報を障害のある人やその家族、支援者などに広く提供できる仕組みづくりが求められている。本事業では、障害のある人が必要とする地域資源情報を収集し、各資源を一枚の個表にし、市町ごとにファイル形式にまとめて整理した。主な社会資源情報は次のようになる。

- ・ 障害福祉サービス提供事業所 ・ 相談支援事業所 ・ 保健・医療機関
- ・ 就業・生活支援センター ・ 社会福祉協議会 ・ 行政機関 ・ 生涯学習施設
- ・ 地域のボランティアグループ ・ 障害者団体の支援スタッフ
- ・ スポーツ・文化サークル ・ コンビニ等 ・ 博物館・美術館・図書館
- ・ 文化ホール・劇場 ・ 体育館・グラウンド・公園 ・ 公共交通機関 など

○約2,350件の上記機関に配布し、1,794件の協力があつた(回収率は76.3%)。

○調査の結果については、紙媒体や電子媒体、音声媒体により整理し、障害のある人やその家族、公的機関や支援者などにおいて、今後の障害のある人の支援の現場で活用できるようにするとともに、調査の更新等を継続することで、障害のある人、支援者、公的機関、事業所などが双方向において情報発信・共有し、「より良い地域づくり(地域との関係性づくり)」につなげていくことが想定されている。

○ワーキング(大阪府及び各市町の行政職員、各相談支援事業所等から構成)を運営し、調査及び運用に関する設計を行う。調査票の設計においては、当事者及び家族へのヒアリング調査を実施し、必要な情報が得られように工夫した。また、各自立支援協議会単位で説明会を行い、各事業所や医療機関等の関係者へ調査趣旨の説明、協力の依頼等を行った。さらに、調査結果の集計・分析、地域・圏域診断、データベース化を行った。

○平成21年11月～平成22年3月までの期間に調査等が行われた。

特徴

○「当事者の方に有益な日々の暮らしの社会資源集」が目指されており、障害福祉サービスなどのフォーマルサービスに限らず、障害のある人の「日々の暮らし」に着目し、「コンビニ」「ショッピングセンター」「シネマコンプレックス」などの多様な社会資源がまとめられている。

○調査実施を通して「地域との関係性づくり」が目指されており、相談支援事業者が医療機関に訪問し協力をお願いするなど、地域づくりにつながったケースもある。

○多様な情報発信のあり方や、社会資源集の更新などの情報の管理・共有の在り方等についても検討されている。

(8) 余暇活動支援センターふらっと (福島県会津若松市)

実施主体：福島県会津若松市 (特定非営利活動法人ふれあいづスマイルが余暇活動支援事業の委託を受ける)

概要 (事業概要、施設、実施事業等)

- 会津若松市の委託事業として、特定非営利活動法人ふれあいづスマイルが余暇活動支援事業の委託を受け平成21年6月に開所した。障害のある方が参加しやすいイベントや講習会等を開催したり、気軽に訪れ仲間作りの場となる「余暇活動支援センターふらっと」を運営したりすることで、余暇時間の充実のお手伝いをするを目的とし、時間のある時に気軽に寄れて、いろいろな人と交流したり、自分のやりたいことについて相談出来る場所としてセンターを開所している。
- 事業内容は、社会参加のきっかけとなる活動の提供、他者との交流の場所及び活動場の提供、余暇活動への支援、その他各種情報の提供となっており、日々の来館やイベント、自主活動への参加を契機として、社会参加への足掛かりとなることを目指している。
- 地域のボランティア団体、興味を持って来館される一般の方等に声を掛け、人材確保に努めている。地域の大学とゼミ単位での交流があり、イベントへの協力を頂いている。野口英世青春通り協議会に加盟し、イベントでの出店を商店会等の地域組織にもお願いして、交流を深めている。ボランティアの確保・教育の必要性は痛感しており、課題である。
- A4版4ページのふらっと通信を月1回発行している。ふらっと通信は1,700部程度を発行し、各福祉事業所、病院デイケア、特別支援学校等に配布している。大規模イベント時には地域の商店等にポスターを配布して広報をお願いしている。また、会津若松市のホームページに掲載している。
- 自主活動へのきっかけ作りとして各種イベントを開催している意味もあり、利用者に向けて自主活動への促しは定期的に行っている。自主サークルとしてスポーツサークル・音楽サークルがあり支援を行っているが、スムーズに進まないことが多く社会参加へのきっかけとはなり難い状況である。今後も相談等の支援を行い、長い目で見守っていく必要がある。
- 大規模イベントにおいては、地域の商店会等を交えた実行委員形式での実施を検討している。
- 余暇に焦点を当てた珍しい取り組みとして、視察や研究の対象となっており、テレビや新聞等のマスコミに取り上げられる機会もある。

特徴

- 障害のある人の余暇を支援するセンターとして、これまでにはない取り組みを行っている。
- 障害のある人同士の交流機会の拡大や、地域住民との交流機会の拡大を図るための多彩な取り組みを実施している。
- 毎月発行されるふらっと通信は、地域の関係機関に1,700部程度が配布され、また、市のホームページに掲載されるなど、情報の受け手が多くなるような様々な工夫を行っている。
- 自主サークルの支援など、自主的に余暇を過ごせるようにするための支援を積極的に行っている。

(9) 障がい児者余暇生活支援センターじらふ (大阪府大阪市)

実施主体：社会福祉法人ライフサポート協会 障がい児者余暇生活支援センター じらふ

概要(事業概要、施設、実施事業等)

- 児童デイサービス(障害者自立支援法)：火曜日～金曜日の放課後、祝日、土曜日、日曜日(月2回)、長期休暇に余暇事業として活動している。4か所のデイサービスを運営している。
- 子どもたちのしたい事、できる事、してみたい事を支援している。長期休暇など時間がたくさんある時は、工作・遠足・調理・おやつ作りなども企画して活動している。どの取組も視覚支援で見通しをもって活動に参加してもらっている。
- 目指す効果としては、①具体的に伝える、②視覚支援、③行動を肯定的にとらえる(ダメ!、あかんなど否定的な言葉をつかわない)、この3つの大事な考えを基に、余暇をすごしてもらっている。
- 移動支援・行動援護を実施している。利用者は、約120名登録されており、移動支援(地域支援事業)・行動援護(障害者自立支援法)の併給されている方も多数登録されている。登録ヘルパーは、常勤ヘルパーが5名、登録ヘルパーが49名となっている。派遣内容は、様々で、映画・買い物・京都散策・USJ・電車ツアー・プール・キャンプなどたくさんの遊びの実現をヘルパーと共に経験している。道中は、不安で問題行動などに発展する時もあるが、利用者のしんどい思いを受け止めつつ、安全を第一に派遣に臨んでいる。それだけでは終わらずに、対応などを家族や他の事業所と情報共有する事にも力を入れている。
- 無資格の学生やボランティアが多数、児童デイサービスに参加しており、そこで、ガイドヘルパー等につなげるために、周辺の事業所と連携して、講座を毎月開催して、「すぐ資格取得できる」環境を作っている。また、登録ヘルパーには、毎月2回の勉強会を開催している。ヘルパーの確保と質の向上に努めている。
- 法人に、ボランティアコーディネーターを1名置き、ボランティア希望者のマネジメントを行っている。また、近隣の大学の授業で、事業説明やボランティアの応募説明を実施している。さらに、社会福祉協議会からの、職場体験受入れやボランティア活動情報誌に掲載し、幅広く人材確保をできるように試みている。
- 余暇活動する場として、法人内で、音楽サークル、書道教室、野球サークル、リズムボクシング、クラフトサークル、車いすとバスケットなどの余暇活動を開催し、余暇活動の実施主体の拡大と支援体制の確立に努めている。主に、当事者は家族やヘルパーと参加している状況である。
- 知的障害者(児)ガイドヘルパー(毎月)、ヘルパー2級講座(6か月に1回)を開催し、移動支援等の充実に努めている。
- おやじの会と称して、男性スタッフと利用者のおとうさんとお酒を酌み交わし、交流を深め、また、ママレモンズと称して、女性スタッフとお母さんと茶話会、施設見学、勉強会など開催するなど、情報交換や支援者の交流機会の充実に努めている。

特徴

- 旅行や遠足などの行事を企画することにより、社会参加及び社会経験の場を提供している。
- ボランティアの募集・広報・養成活動を積極的に実施し、担い手の育成・拡大を図っている。
- 移動支援・行動援護を担う人材の確保・育成等にも積極的に取り組んでおり、利用者も多く、障害のある人の余暇支援の充実に結びつけている。
- サークルや教室、スポーツ活動など様々な余暇活動のサポートを行っている。

(10) 地域活動支援センターふらっと(京都府京都市)

実施主体: 社会福祉法人 西陣会

概要(事業概要、施設、実施事業等)

- 昭和35年に西陣会が結成されて以来、昭和43年に「家庭療育援助グループ『ピーポ』」(障害のある児童、その親、ボランティアで構成するボランティアグループ)、平成元年に「障害者自立援助グループ『ふらっと』」(月、水、金の夜の余暇活動)を開始するなど、余暇活動の支援にこれまで先駆的に取り組んでいる。
- 平成15年には、京都市指定知的障害者デイサービス事業を開始し、夜間のデイサービス事業として全国で初めて指定を受ける。その後、障害者自立支援法施行後、夜間のデイサービス事業は、「地域活動支援センター・余暇型」として実施され、余暇活動の様々な支援を実施している。
- 余暇時間を利用し、障害のある人とボランティアが一緒になってプログラムを考えながらさまざまな体験を通し、社会参加することによって、少しでも生活の幅を広げていくことを目的にグループ活動を行っている。月、水、金の各グループがミーティング(2か月に1回の実施)での決定をもとに、夕方以降の時間の充実を図っている。それぞれの曜日で12人の登録者があり、延べ36人の利用となっている。自分たちで活動を選び決定し、グループで活動することが中心となっているため、利用を中断する人は少ない。
- 利用者は、日中の活動として、授産所や作業所、生活介護事業所に通所されている人から、福祉的就労・一般就労をされている人など様々であり、重度の障害のある人の利用もある。
- 運営は、地域活動支援センターの職員他に、多くのボランティアにより支えられている。ボランティアは、一般のボランティアの方もいるが、福祉関係の大学が京都市内に複数設置されていることなどから、学生のボランティアも多い。それぞれ仕事後や大学の授業の終了後に、参加されている。ボランティアは、京都市が運営している、i-Ten-Labo(アイテンラボ)【京都のボランティアとNPOのためのポータルサイト】を見て、活動に参加する人も近年多くなっている。

特徴

- 地域活動支援センター・余暇型として設置されている。より豊かな生活のために、月、水、金の夕方以降の時間に余暇や社会参加のための活動の支援を行っている。
- ミーティングで活動内容を決めるなど、利用者の自主性を大切に、職員やボランティアが活動をサポートしている。また、集団で仲間と過ごすことの楽しみを大切に、グループ活動を基本とした様々な取り組みを行っている。
- 最終的に、「地域活動支援センターふらっと」がなくても、自主的に余暇を過ごすことができるあたりまえの社会になることを望んでいる。そのため、様々な経験や支援を行うことで、地域で余暇を楽しめる社会資源を増やすこと、地域との関係づくりに取り組んでいくこと、また、自分たちでできるという経験を増やしていくことを大切にしている。

調査員の事例調査による感想

- ・ 今回の調査では、特定のジャンルに限定するのではなく、地域のサークルや教室から、自立支援協議会の取り組み、余暇活動の基盤的なセンターなど様々な事例を対象として、直接の聞き取り調査やアンケート調査を組み合わせる形で調査を実施した。住民へのアンケート調査を分析する中で見えてきた基本的な課題については、調査した事例において挙げていただいた課題と合わさる部分も多くあり、それらの課題に対する具体的な取り組みについて、有益な知見を得ることができた。
- ・ 全体に常に問題点意識をもち、利用者のニーズの把握と課題を解決できるよう活動を行っている。
- ・ 利用者主体を忘れず、有料ボランティア等のかかわりをうまく活用している。
- ・ 大津市では自立支援協議会がうまく運営されており、その中で必要なプロジェクトを立ち上げ提言書を持って行政に訴える。
- ・ 「できないであろう」「無理である」等マイナス思考でなく障害児・者の方が希望することについては、「叶えられる」「できないことはない」という前向きに理想的にプラス思考で進められている。
- ・ 利用者にはアンケート協力、事業利用により一部負担金が発生することはしっかり伝えられる信頼関係がつけられている。
- ・ 地域性もあると思われるが施設中心ではなく、障害を持たれた方の心髄に達しているのか。大津市と比較したとき、ひとつの課題に対しての話し合い・取り組み・協力体制が薄いのではないか。
- ・ 今回の推進事業に対しても策定委員の方の発言、障害のある本人の声（アンケートのみでなく）がもう少し反映されれば良かった。
- ・ 今後の事業展開に対しての課題として協力体制、人任せでなくお互いの責任のもと自立支援協議会がうまく活動して行けることが望ましいのではないか。

4 . 啓発事業効果

平成 23 年度 障害者総合福祉推進事業「福祉講演会」

日 時 平成 23 年 12 月 11 日（日）14：00～16：00
場 所 小浜市総合福祉センター（サンサンホーム）
内 容 講演 演題「誰もが共に暮らせる社会を求めて」
～“障害”をもつ子の親の体験から～
講師 先天性四肢障害児父母の会 野辺明子氏

障害者総合福祉推進事業の啓発活動として、障害のある人が地域で共生していくことに共通の理解を求めることを目的とした福祉講演会を開催した。当事者をはじめ福祉関係者、教職員、民生児童委員、家族会など、幅広い分野の方々から約 80 名の参加が得られた。障害のある人の社会参加への問題や地域社会との関わりと理解を得ることの困難さ、支援の在り方等を分かりやすく講義していただいた。特に親が障害を受け入れるまでに時間がかかったことや、地域社会からの差別・偏見といった障害に対して自らがそれらの課題に取り組み「声」としてあげること、仲間と協働していくことの重要性を話されていた。そのうえで我々支援者にできることを具体的に考えていくことが必要であると感じた。また、参加者からは「障害は本人の問題で本人が越えなければいけない事と考えていたが、周りの私たちの関わりで左右されることに気がついた」、「近所に住んでいる障害のある方に対して見て見ぬ振りをしていたが、今後はその方と家族の方に対する接し方を考えてみたい」等、多くの感想がよせられ、障害がある人もない人も共に安心して暮らせる地域社会を望まれていた。今回の講演会により、障害の理解が深まり障害のある人の社会参加への地域啓発になったと考えられる。

平成 23 年度 障害者総合福祉推進事業「障害者福祉研修会」

日 時 平成 24 年 3 月 13 日（火）14：00～16：00
場 所 福井県立若狭図書学習センター 研修室
内 容 講演 演題 「障害者の社会参加について」
“その人らしく”を応援する
講師 フリーランス ナース&ソーシャルワーカー 土屋 徹 氏

障害者の社会参加の支援の在り方について障害者福祉研修会を実施した。約 50 名の参加があり、その人らしくを応援するための基本的なマネジメントから具体的な事例までを講義していただいた。土屋氏の現在の活動事例を多く紹介され、障害者の社会参加と地域生活を支える取り組みとして、本人中心のマネジメントにより、共に考え協働することの重要性が理解できたと考えられる。当事者の自らの経験を活かし、仲間が仲間を支える取り組み、地域と交流していくことが社会参加の充実を促進すると考えられる。

第3章 障害者の社会参加活動の支援について

1. 各種調査及び検討事項からみる今後の方向性

【社会参加・余暇活動の状況】	
【現状分析及び基本的な課題】	【今後の方向性】
<p>アンケート調査結果</p> <p>余暇の過ごし方については、家の中では平日・休日ともに「テレビ」が約7割、家の外では平日・休日ともに「買い物」が約5割と最も高くなっています。また、誰と過ごすかについては、身体障害のある人と精神障害のある人では「一人」が高く、知的障害のある人では「母親」「父親」「兄弟姉妹」など家族で過ごす方が多くなっています。余暇の活動としては、家の外等で様々な人と交流する余暇活動が少ないことがうかがえます。</p> <p>これまでに参加した社会参加・余暇活動で、また参加したい・参加してよかったと感じている活動で多いものは、「行事・イベント活動」では「スポーツ活動、地区行事、レクリエーション・イベント活動」、「福祉施設・作業所等、学校等での活動」では「スポーツ活動、旅行・学校行事」、「サークル活動・団体活動」では「スポーツ活動・旅行」、「その他の活動」では「ボランティア、美化活動」という結果であり、地域では様々な取り組みが行われていることがわかります。また、その内容をみると、多くが事業所や団体が、個別に生きがい・仲間づくりに関する活動を企画し、実施している状況となっています。</p> <p>障害のある人が社会参加・余暇活動を利用する目的については、「気分転換のため」が46.2%、「自立のため」が43.4%、「家庭ではできない活動を行えると思うから」が34.9%、「交友関係のため」と「コミュニケーションのため」が29.6%となっています。「生きがい」や「楽しむこと」を支援することは、障害のある人のトータルな生活を支援するという意味においても重要な位置を占めていることがうかがえます。</p> <p>事業所・団体等に対するヒアリング調査結果</p> <p>各事業所・団体では定期的な行事を実施しており、また、スポーツ活動や文化活動等に参加している事業所・団体もあります。一方、年間を通して継続的・定期的に行っている活動が少ないことや、地域での社会資源が圧倒的に不足していることが課題となっています。事業所が感じている課題としては、活動日・場所の設定が難しいことや、年齢・障害種別・障害の重軽度により参加することができる（参加したい）内容がばらばらで事業計画が立てづらいことが挙げられています。</p> <p>自治体に対するヒアリング調査結果</p> <p>行政の取り組みとして、各事業所や団体の活動への支援が中心となっていますが、こうした活動の地域での受け皿としての機能が拡散しているのが現状です。また、通所サービスの終了後や、放課後の支援を福祉サービスとして実施している現状にあります。</p>	<p>地域活動の場の拡充</p> <p>地域の様々な余暇を過ごすための場所等における、ハード・ソフト両面における配慮の促進</p> <p>障害のある人同士の交流機会の拡大や、地域住民との交流機会の拡大</p> <p>年齢・障害種別・障害の重軽度等に応じた活動内容の整備</p> <p>移動支援事業や日中一時支援事業等の余暇を支援する福祉サービスの充実</p>

【移動・交通】

【現状分析及び基本的な課題】

【今後の方向性】

アンケート調査結果

外出頻度(通園、通学、通院、通所を除く)については、週に1回より少ない人が、身体障害のある人で32.0%、知的障害のある人で39.2%、精神障害のある人で26.6%となっており、外出の機会が少ない人が多くなっています。

外出しやすくするために必要なことについては、「利用できる交通機関の充実」が身体障害のある人で30.4%、知的障害のある人で27.1%、精神障害のある人で40.0%、「介助者(外出を支援する人)」が身体障害で24.1%、知的障害で44.2%、精神障害で13.3%、「周囲の障害に対する理解」が身体障害のある人で16.2%、知的障害のある人で41.2%、精神障害のある人で26.7%となっています。障害別により異なっていますが、交通機関の充実や介助者の支援等の移動面の充実や、周囲の理解が課題となっています。

事業所・団体等に対するヒアリング調査結果

障害のある人の余暇活動の移動手段として、移動支援事業を多く利用されていますが、移動支援事業を行うガイドヘルパーが不足しており、ガイドヘルパーの人材確保・育成を行うための取り組みが必要となっています。

移動支援のニーズと運用にずれがあり、ニーズに沿ったサービスの提供ができるように、運用基準・制度設計等を見直すことも必要となっています。

余暇活動に参加する際の送迎を、負担と感じている保護者も存在しています。特に、高齢化する保護者が継続的に本人を連れて出掛けることは難しいことから、あまり保護者の負担にならない支援のあり方が望まれています。

自治体に対するヒアリング調査結果

活動するときの移動手段の充実が求められており、行政としても障害福祉サービスや地域生活支援事業などの福祉サービスを通じて、支援等を行っている現状にあります。また、余暇活動とあわせて、移動の支援の必要性が挙がっています。

交通機関の充実・整備、移動手段の確保

ヘルパーの人材確保・育成

移動支援制度の見直し

保護者の負担にならない支援の充実

【ボランティア育成等、地域における人材育成】

【現状分析及び基本的な課題】

【今後の方向性】

アンケート調査結果

希望する余暇活動の曜日についてみると、「日曜日」が 44.9%、「土曜日」が 41.9%、「祝祭日」が 36.6%と休日の活動希望が高くなっており、平日に関してはどれも20%前後の希望となっています。時間帯については、平日・休日ともに「9時～12時」と「12時～16時」が30%以上と同じ時間帯を希望する人が多くなっています。また、現在、ボランティアとして参加している方々のほとんどは仕事後や休日に支援を行っており、平日は夜にしか支援できないことが予想されます。そのため、20%前後の利用希望ではありますが、障害のある人が希望する平日の「9時～12時」と「12時～16時」に行う活動の内容・回数等に限界が生じてしまうことになります。これを解決するためには、学生や退職者、主婦等、比較的自由な時間を多く持っているボランティアの参画を募る必要があります。

多様なボランティアの確保

ボランティアの募集・
広報・養成

事業所や団体頼りにならないよう、地域全体での支援体制の充実

スポーツや文化活動等の指導が行える地域の人材と連携した事業の充実

事業所・団体等に対するヒアリング調査結果

サービス提供事業所については、余暇活動の支援の必要性を感じているという意見が多くなっていましたが、一方で、通所後や放課後の時間や、休日等の時間において人手が不足し、事業を行うことが難しい現状があります。また、余暇支援については、サービスとしての事業はあるものの、サービスとしての位置づけでないものが多く、余暇支援の継続した実施が難しい現状にあります。

自治体に対するヒアリング調査結果

行政として、事業所や行政に頼るのではなく、地域で支え合っているしくみを作っていくことの必要性が挙げられています。
一般のボランティアや学生のボランティアなどの育成は、行政の役割となっていることから、その確保と呼び掛け等を積極的に行っていくことが必要です。

【情報提供・広報】

【現状分析及び基本的な課題】

【今後の方向性】

アンケート調査結果

障害のある本人が余暇をどのように過ごしたいかについては、「自由気ままに自分で過ごしたい」が 48.9%、「テレビをみたりして自宅でくつろぎたい」が 46.8%と約半数であったのに対し、「趣味の活動・サークル活動などで仲間づくりを行いたい」が 13.2%、「スポーツをしたい(ウォーキング等を含む)」が 10.9%と多くの障害のある人が興味を示していないことがうかがえます。しかし、保護者に障害のある人がどのように過ごしてほしいかを聞いたところ、「自由気ままに自分で過ごしてほしい」が 22.3%、「テレビをみたりして自宅でくつろいでほしい」が 19.4%と低くなっているのに対して、「趣味の活動・サークル活動などで仲間づくりを行ってほしい」が 20.9%、「スポーツをしてほしい(ウォーキング等を含む)」が 20.0%と高くなっており、保護者は社会参加・余暇活動に参加してほしいと思っていることがうかがえます。

また、この背景には、これまで経験したことが少ないことに加え、事業所や自治体等が行っている余暇活動に関する情報を、対象者がほとんど入手できていない、または入手できていても興味を示していないことが理由として考えられます。地方都市で余暇活動支援事業を運営していくには、事業の活動を充実させるとともに、事業者が中心となって余暇に関する情報を幅広く発信し、自治体やその他の施設等と情報共有のネットワークを構築していく必要があります。これまでに参加した社会参加・余暇活動で、また参加したい・参加してよかったと感じている活動について、参加したきっかけをみても、「福祉施設・作業所・所属団体の紹介」が多くなっており、情報提供の重要性がうかがえます。

今後社会参加のために必要な支援については、「土日に利用でき、気軽に立ち寄れるオープンスペースがあり、様々な地域の余暇活動の情報を知ることができるセンター(余暇活動支援センターなど)」が身体障害のある人で 18.2%、知的障害のある人で 37.7%、精神障害のある人で 28.0%と最も高くなっており、情報を得るための支援も重要になっています。

事業所・団体等に対するヒアリング調査結果

事業所・団体等が実施している活動については、サービスの利用者や団体の加入者など、対象が限定される傾向にあるといえます。この背景には、対象者を設けず、多くの方に参加してもらいたいと思いい事業を実施しても、情報提供を行える媒体が限られていることが挙げられます。

自治体に対するヒアリング調査結果

個人情報保護の関係上、地域の関係機関や関係団体に事業等の周知を依頼されても、直接の情報提供が難しく、実際に情報提供を行える媒体が広報・ケーブルテレビ等による情報提供に限られてしまうという現状があります。

サービスにつながっていないかったり、団体や家族会に加入していない人にとっては、地域の様々な余暇活動の情報が伝わりにくい現状にあります。

余暇に関する情報の幅広い発信

事業所と自治体、その他施設との余暇活動に関する情報ネットワークの構築

障害のある人だけでなく保護者への情報発信

【余暇活動の実施主体と支援体制】	
【現状分析及び基本的な課題】	【今後の方向性】
<p>アンケート調査結果</p> <p>これまでに参加した社会参加・余暇活動で、また参加したい・参加してよかったと感じている活動を見ても、多くが事業所や団体が、個別に生きがい・仲間づくりに関する活動を企画し、実施している状況となっています。障害のある人の福祉を担っている事業主体の活動が多くなっており、今後は、余暇支援の供給主体を増やしていくことが必要になっています。</p> <p>事業所・団体等に対するヒアリング調査結果</p> <p>現状としては、活動の場が少ないことや、他の施設との交流の場が少ないこと、一般の方対象のイベントに障害のある人も参加できる配慮がないといった意見が挙げられており、障害のある人が地域で活動・交流できる場を増やすことが大きな課題になることがいえます。</p> <p>自治体に対するヒアリング調査結果</p> <p>余暇活動を行う実施主体が不足していたり、それらをバックアップしたり繋げたりする仕組みがないことが課題として挙げられます。こうした現状からも行政の具体的な支援につなげにくい現状にあります。行政としては、ニーズを把握し、参加したくなる活動の提案を求めていることや、企画内容によっては様々なバックアップを行うことができるなど、協働による事業実施を求めています。</p>	<p>余暇支援の供給主体の拡大</p> <p>事業所、施設、団体等の交流の促進、地域におけるネットワークの充実</p> <p>余暇活動を行う実施主体・支援体制の構築</p>

2 . 障害者の社会参加活動の支援のあり方について

ここでは、「各種調査及び検討事項からみる今後の方向性」を踏まえ、地域での余暇活動支援のために、今後どのような仕組みの整備が必要になるのかを検討し、今後の効果的な支援のあり方について提言します。

社会参加・余暇活動の場の確保

○アンケート調査結果では、この地域での余暇の過ごし方は「買い物」の割合が約5割と最も高く、また、外出頻度（通園、通学、通院、通所を除く）が少ない人の割合が高くなっています。

一方、余暇活動の充実は、豊かな経験や人間関係の広がり、そして、その人が地域で暮らしていくための自立につながる大切な要素であることがアンケート調査からも明らかになっています。このことから、地域での普通の暮らしでの豊かさを考えたとき、余暇の過ごし方は重要です。

通所や通学、日常の買い物などの基本生活レベルしか外出することがなく、生活の楽しみな活動が全くない暮らしは味気ないものです。今後、地域活動の場を拡充していくことが必要です。

○アンケート調査結果からも、「本人が余暇をどのように過ごしたいか」と「保護者が余暇をどのように過ごしてほしいか」との間には、違いがあることがいえます。この背景には、本人にとって余暇の経験が少ないことも考えられます。今後は、主体的な余暇活動への参加をすすめていくために、余暇の楽しさを経験できる機会づくりが必要です。

今回、調査を行った「地域活動支援センターふらっと」では、「地域で余暇を楽しめる社会資源を増やすこと、地域との関係づくりに取り組んでいくこと、また、自分たちでできるという経験を増やしていくこと」を大切に、夕方以降の時間の余暇活動支援を先駆的に実施してきました。

こうした豊かな経験の場が提供されるための具体的な方策は様々ですが、例えば、気軽に利用できる余暇の場の拡大を図るため、公共施設、民間施設等に強く働きかけるとともに、その協力を確保することにより、経済的に負担も少なく身近で利用できる余暇の場の拡大を図っていくことが考えられます。また、既存の催しや情報ツールを活用して、積極的に障害のある人の芸術文化・自己表現作品等の公表の場の確保に努めること等も考えられます。

○各種調査からも、障害のある人が地域の様々な余暇を過ごすための場所等における、ハード・ソフト両面における配慮の促進が求められています。

平成23年7月の「障害者基本法」の改正においては、障害のある人にとって日常生活、社会生活を営む上で障壁となるような社会における一切のものが「社会的障壁」と定義され、「障害者」とは、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものであると明記されました。今後は、地域全体の取り組みとして、障害や障害特性などを理解した上で、障害のある人にとってのあらゆる障壁を取り除くための取組みをさらに進めていく必要があります。

社会的障壁：障害者基本法第2条第2項において、「障害がある者にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものをいう」と定義されています。

○アンケート調査結果からも、その人の持つ障害の種類によってニーズが異なることがうかがえますし、年齢によって必要となる支援、利用したい活動も異なっていることがわかります。また、事業所・団体等においても、年齢・障害種別・障害の重軽度等のニーズが多様であり、事業を行うことが難しいという課題が挙がっています。

このような状況からも、多様なニーズに対応した地域での余暇活動の場を確保することが重要な課題であることがいえます。

○各種調査からも、障害のある人の余暇活動のための様々な支援については、行政による公的な支援やサービスが不可欠であるという現状がうかがえます。住民への周知や財政的な支援は不可欠ですが、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスや地域生活支援事業など各種福祉サービスの有効活用も必要です。

今後は、既存の福祉サービスの有効活用を検討するとともに、地域におけるニーズの明確化や、それらのサービスを担うサービス提供事業所及びその担い手の育成に努める必要があります。

移動支援の充実

○重軽度問わず、障害のある人が活動へ参加するためには、移動に関するサービス（訪問系サービス、移動支援事業等）の利用、移動手段の充実等、移動への様々な支援が必要です。

特に移動支援の利用ニーズは年々高まっています。しかし、ヘルパー利用のニーズが朝や夕方や土日に集中し対応が難しいことやサービス単価の問題等もあり、支援を行うヘルパーが質的・量的ともに不足している現状があります。今後は、移動に関する支援を充実させるため、サービス提供事業所の拡大や人材の確保・育成等にも積極的に取り組む必要があります。

○移動支援事業の現状からみて、市町村事業のため、市町村による支援の違いや、支給時間・単価・支援内容に制限があることは財政状況にもより避けることはできません。

今回、調査を行った滋賀県の大津市では、移動支援事業において、グループ支援を実施し、この制度を活用して、市内では様々な余暇活動支援が行われています。例えば、文化活動の教室において、指導者がヘルパー資格を取得し、大津市の移動支援事業を活用し、1回の教室で複数名の障害のある人の指導を行っています。この教室については、年々、利用者が増加し、今では大きな活動として広がっています。

今後は、各自治体に働きかけ、移動支援制度の見直しを図ることも重要な課題であるといえます。

ボランティア育成等、地域における人材育成

○先に示したように、社会参加・余暇活動の場の確保も重要ですが、それを支援する人材の確保が必要です。

アンケート調査結果では、この地域の余暇活動について、これまで既存のサービス提供事業所や団体等が実施してきた活動が多くなり、担い手が限られている現状にあります。また、サービス提供事業所や団体等の意見としては、必要性について認識していても、余暇支援のニーズの高い時間における人手の不足や、専門的な指導ができる地域の人材との連携が難しいといった現状にあります。

○人手の不足を補うためには、ボランティアの積極的な参画が不可欠です。今回、調査を行った各事例においても、様々なツールを活用するなどして、幅広く人材確保に努めており、職員が少ない場合でも、ボランティアの参加により事業が円滑に実施されています。

○また、地域における支援者の拡大を図り、その活動のすそ野を広げていくことが大切です。余暇の中には、レジャー・旅行、スポーツ、芸術文化、生涯学習といった少しあらたまった活動から、趣味、運動・散歩、テレビ放送や音楽の視聴、友達とのつきあいなど普段の時間の過ごし方まで幅広い内容が含まれます。

余暇活動の場を確保するためにも、こうしたスポーツや文化活動の指導を行える地域の人材と連携し、より魅力的な事業の実施や、事業を継続できるしくみづくりが求められています。そのために、NPO、企業との連携もあることから、今後は事業を無償のボランティアの協力にたよるだけでなく、必要なサービスを内容によっては有償（選んで買う余暇）に切り替え、実施主体を広げていく可能性も模索する必要もあります。その際、既存のサービスや制度を活用するなど、利用者や事業者の負担が軽減されることが必要です。

情報提供・広報の充実

- 各種調査からも、地域における余暇活動の情報を発信するしくみがないことや、各活動についても限定的な情報提供しか行われていない現状がうかがえます。また、行政においても個人情報保護により、個別的な情報提供が難しく、所属している団体がない方や、家にひきこもりがちな方にとっては、情報が極端に限定され、社会参加の機会やきっかけが得られない状況になってしまい、早急な対応策が求められています。
- アンケート調査結果では、「土日に利用でき、気軽に立ち寄れるオープンスペースがあり、様々な地域の余暇活動の情報を知ることができるセンター（余暇活動支援センターなど）」を希望する人が27%と多く、地域における余暇活動の情報を提供するしくみづくりが求められています。今後は、住んでいる各市町や、利用しているサービス提供事業所、所属している団体、通学している学校に限定されない情報提供のあり方についても検討する必要があります。今回、調査を行った「余暇活動支援センターふらっと」では、地域の障害のある人が利用する余暇活動の拠点として、地域の様々な社会参加活動について、毎月の通信を印刷物やインターネットなどの媒体により広く発信しています。

余暇活動の実施主体の拡大と支援体制の確立

- 各種調査からも、余暇活動については、障害のある人の福祉を担っている事業主体の活動が多くなっていることや、毎年行事のように慣例的に行われているなど、その供給主体のすそ野が広がらない現状にあります。開催日が限られること、毎回同じメンバーであること、個人の興味に関係なく画一的な内容になりがちになることなどの課題もあります。自主的に余暇を過ごすことを促進するためにも、多様な余暇活動の実施主体の拡大を図ることが必要です。

調査を行った、野洲市なかよし交流館においては、障害のある人の専用の施設となっていますが、スポーツ指導者等については広く地域人材の活用の掘り起こしを行い、様々な種類のスポーツ指導者による定期的な教室が開催されています。

今後は、地域における人材の掘り起こしや育成を進めていく中で、余暇支援の供給主体を増やしていくことが求められています。そのためには、地域における障害のある人の余暇活動を担う中心的なセンターの機能や、コーディネートする人材、活動場所の供給主体、ボランティア活動の支援、など様々な役割を検討していく必要があります。

地域全体での協働による推進

○今後、行政、地域、各事業所、当事者・家族など地域を構成する各主体が協働し、人と人、人と地域をつなぐ「参加と交流」を一層推進することが必要です。

課題	行政に できること	地域に できること	各事業所に できること	当事者・家族 にできること
課題 社会参加・ 余暇活動の 場の確保	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動の場を提供するなどの余暇活動支援 地域活動の場の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動の場の提供 地域イベントへ障害のある人が参加しやすい配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容のニーズ調査と調査内容を活動の場や内容へ反映 余暇活動の場の確保 地域住民との交流イベント等の発案、実施 余暇の楽しさを経験できる機会づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 社会参加活動、余暇活動への参加、参加促し
課題 移動支援の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援制度の運用基準、制度設計の見直し ヘルパーの待遇改善、研修制度の実施 交通機関、交通網の充実、整備 	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある人の移動を阻害しない 障害、障害のある人への理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援事業のニーズ把握と充実 ヘルパーの確保と人材の育成 外出の機会づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援に対する意見要望等を自治体・事業所へ伝える 外出の機会づくり
課題 ボランティア 育成等、 地域におけ る人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校や自治会等に対するボランティア広報 ボランティアの人材育成マニュアルの作成、配布 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動への参加 自治会が地域に対してボランティア活動を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの募集・育成 学校や自治会、ボランティアセンター等に対するボランティアの依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や自治会、ボランティアセンター等に対するボランティアの依頼
課題 情報提供・ 広報の充実	<ul style="list-style-type: none"> 利用者へ余暇活動に関する情報提供 余暇活動の広報改善、強化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の掲示板で余暇活動の紹介等を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動への興味を持てる広報活動 他の事業所や施設との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある人やその家族への活動内容の紹介、参加者募集
テーマ 余暇活動の 実施主体の 拡大と支援 体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材の紹介、掘り起こし 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツや文化活動について、専門的支援への積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツや文化活動等の指導者への依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 社会参加活動、余暇活動への参加

資料（アンケート調査票）

障害児・者の社会参加活動の支援に関する アンケート調査

～アンケート調査ご協力をお願い～

若狭地区では、各事業所や団体・行政が一体となって、交流活動や文化芸術活動を呼び掛けて行っておりますが、余暇活動や地域交流活動がほとんど位置づけられていないということが地域の課題としてすでに挙げられています。

このアンケート調査は、こうした地域課題を解決するため、障害のある人の実状やニーズを把握したり、今後の事業展開に活かしていくために実施するものです。

皆さまには、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、調査目的以外に使用しませんので、ありのままをご回答ください。

平成23年（2011年）11月1日

社会福祉法人「若狭つくし会」

ご記入に当たってのお願い

① このアンケートは、**宛名のご本人のことを「あなた」として**います。できるだけ**宛名のご本人（あなた）**がお答えください。ご本人が記入できない場合は、ご家族の方に代筆していただくか、ご本人の意図を尊重して、代わってお答えください。

② 選択肢のあてはまる番号を **で** 囲むか、**意見をご記入** ください。

③ Oをつける時は、**1つ**または**()**内に**指定した数**の範囲内でお答えください。

④ 質問によっては、回答していただく方が**限定**される場合がありますので、矢印や案内に沿ってお答えください。

⑤ 「その他」を選んだ時は、その内容をできるだけ具体的に**ご記入** ください。

■ 調査票の返送について
ご記入後は、**無記名のまま**、同封の返信用封筒に入れて**11月25日（金曜日）**までにポストに入れてください（切手は不要です）。

■ お問い合わせ先 社会福祉法人 若狭つくし会

・電話 0770-53-1286 FAX 0770-53-2299

アンケートに回答していただくのはどなたですか。（1つに 印）

- ご本人
- ご家族などがご本人に代わって回答
(ご家族などの支援により、ご本人の意見を記入する場合を含む)
- その他 ()

1 基本的事項

問1 あなたの性別を教えてください。（1つに 印）

- 男性
- 女性

問2 あなたの年齢は何歳ですか。

満 () 歳

問3 あなたのお住まいの地域は、どちらですか。（1つに 印）

- 美浜町
- 若狭町
- 小浜市
- おおい町
- 高浜町
- その他 ()
- わからない

問4 現在、あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。あなたからみた続柄で、該当する方をお答えください。（該当するものすべてに 印）

- 父母、祖父母、きょうだいなど
- 配偶者（夫または妻）
- 子ども（子の配偶者・孫を含む）
- 友だち・仲間など
- 一人で暮らしている
- 施設などで共同生活
- 病院に入院
- その他 ()

問5 あなたがお持ちの障害者手帳は、次のどれですか。左欄の該当する手帳に 印 をつけ、右欄の質問にお答えください。

手帳等の種類 該当するものすべてにO印)	内 容												
1. 身体障害者手帳 ⇒	(1)「身体障害者手帳」の等級は、何級ですか。 <table border="0"> <tr> <td>1. 1級</td> <td>3. 3級</td> <td>5. 5級</td> </tr> <tr> <td>2. 2級</td> <td>4. 4級</td> <td>6. 6級</td> </tr> </table> ⇒ (2)どのような障害ですか。（該当するものすべてにO印） 1. 視覚障害 2. 聴覚障害、平衡機能障害 3. 音声・言語機能障害、そしゃく機能障害 4. 肢体不自由 5. 内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓、免疫機能の障害など） ⇒ (3)障害の原因は、次のどれですか。 <table border="0"> <tr> <td>1. 交通事故</td> <td>4. 先天性（生まれつき）</td> </tr> <tr> <td>2. 労働災害</td> <td>5. 疾病</td> </tr> <tr> <td>3. その他の事故</td> <td>6. その他 ()</td> </tr> </table>	1. 1級	3. 3級	5. 5級	2. 2級	4. 4級	6. 6級	1. 交通事故	4. 先天性（生まれつき）	2. 労働災害	5. 疾病	3. その他の事故	6. その他 ()
1. 1級	3. 3級	5. 5級											
2. 2級	4. 4級	6. 6級											
1. 交通事故	4. 先天性（生まれつき）												
2. 労働災害	5. 疾病												
3. その他の事故	6. その他 ()												
2. 療育手帳 ⇒	(1)「療育手帳」の判定は、次のいずれですか。 <table border="0"> <tr> <td>1. A（重度）</td> <td>2. B1（中度）</td> <td>3. B2（軽度）</td> </tr> </table>	1. A（重度）	2. B1（中度）	3. B2（軽度）									
1. A（重度）	2. B1（中度）	3. B2（軽度）											
3. 精神障害者保健福祉手帳 ⇒	(1)「精神障害者保健福祉手帳」の等級は、何級ですか。 <table border="0"> <tr> <td>1. 1級</td> <td>2. 2級</td> <td>3. 3級</td> </tr> </table>	1. 1級	2. 2級	3. 3級									
1. 1級	2. 2級	3. 3級											

2 平日の昼間など、普段の活動場所について

問6 あなたは、平日の昼間など、普段、どのような場所で活動していますか。（1つに 印）

- 会社や自宅で仕事をしている
- 仲間と一緒に施設などで仕事をしている
- 介護や訓練を受ける施設などに通っている
- 学校に通っている
- 病院に通っている
- 同じ障がいのある人たち同士での活動・集まりに通っている
- 家において家事をしている
- 特に何もしていない
- その他 ()

3 外出について

問7 あなたは、どの程度外出していますか（通勤、通学、通院、通所を除く）。（3つまで 印）

1. ほぼ毎日、週4日以上
2. 週に2～3回
3. 週に1回
4. 月に2～3回
5. 年に数回
6. ほとんど外出していない
7. その他（ ）

問8 あなたがより外出しやすくなるためには何が必要ですか。（3つまで 印）

1. 利用できる交通機関の充実
2. 利用する建物等（スロープ、トイレ、エレベーター）の整備
3. 料金負担の軽減
4. 駐車場の確保
5. 介助者（外出を支援する人）
6. 移動手段の確保
7. 周囲の障害に対する理解
8. 休憩場所の確保
9. 車道の安全対策
10. 緊急時の対応
11. コミュニケーションの支援
12. その他（ ）
13. 特になし

4 余暇の過ごし方について

このアンケートの「余暇」とは？

「余暇」の考え方については、「休日や仕事をしていない時間」として、アンケートにご回答いただくよう、お願いします。



問9 あなたは、平日の余暇の活動として、家の中でどのように過ごしていますか。（3つまで 印）

1. テレビ
2. ビデオ・DVD
3. ゲーム
4. パソコン（インターネット）
5. メール
6. 音楽関係
7. 読書（まんが、小説など）
8. 字や絵や日記を書く
9. 家事手伝い
10. 会話
11. その他（ ）

問10 あなたは、休日の余暇の活動として、家の中でどのように過ごしていますか。（3つまで 印）

1. テレビ
2. ビデオ・DVD
3. ゲーム
4. パソコン（インターネット）
5. メール
6. 音楽関係
7. 読書（まんが、小説など）
8. 字や絵や日記を書く
9. 家事手伝い
10. 会話
11. その他（ ）

問11 あなたは、平日の余暇の活動として、家の外でどのように過ごしていますか。（3つまで 印）

1. 買い物
2. スポーツ
3. 散歩
4. ドライブ
5. 映画・芸術鑑賞
6. 余暇サークル
7. 習い事
8. 公的サービス
9. 外食
10. 旅行
11. 友人と過ごす
12. その他（ ）

問12 あなたは、休日の余暇の活動として、家の外でどのように過ごしていますか。（3つまで 印）

1. 買い物
2. スポーツ
3. 散歩
4. ドライブ
5. 映画・芸術鑑賞
6. 余暇サークル
7. 習い事
8. 公的サービス
9. 外食
10. 旅行
11. 友人と過ごす
12. その他（ ）

問13 あなたは、平日の余暇の活動について、誰と過ごしていますか。（該当するものすべてに 印）

1. 一人
3. 父親
4. 母親
6. 兄弟姉妹
7. 祖父母
8. 親類
9. 配偶者
10. 子ども
11. 友達
12. 習い事の先生・ボランティア
13. その他（ ）

問14 あなたは、休日の余暇の活動について、誰と過ごしていますか。（該当するものすべてに 印）

1. 一人
2. 家族
3. 父親
4. 母親
5. 両親
6. 兄弟姉妹
7. 祖父母
8. 親類
9. 配偶者
10. 子ども
11. 友達
12. 習い事の先生・ボランティア
13. その他（ ）

問15 余暇の過ごし方について、あなたはどのように過ごしたいですか。（3つまで 印）

1. 自由気ままに自分で過ごしたい
2. テレビをみたりして自宅でくつろぎたい
3. 読書、映画、音楽などを楽しみたい
4. スポーツをしたい（ウォーキングなどを含む）
5. ガイドヘルパー（移動支援）を利用して過ごしたい
6. 趣味の活動・サークル活動などで仲間づくりを行いたい
7. 仲間やヘルパーさんなどの会話や交流を行いたい
8. 友達と過ごしたい
9. 家族と一緒に過ごしたい
10. その他（ ）

問16は、保護者や介助者、支援者の方にお聞きします。

問16 保護者の方にお聞きします。余暇の過ごし方について、保護者の方はどのように過ごしてほしいと思いますか。（3つまで 印）

1. 自由気ままに自分で過ごしてほしい
2. テレビをみたりして自宅でくつろいでほしい
3. 読書、映画、音楽などを楽しんでほしい
4. スポーツをしてほしい（ウォーキングなどを含む）
5. ガイドヘルパー（移動支援）を利用して過ごせるようにしてほしい
6. 趣味の活動・サークル活動などで仲間づくりを行ってほしい
7. 仲間やヘルパーさんなどの会話や交流を行ってほしい
8. 友達と過ごしてほしい
9. 家族と一緒に過ごしたい
10. その他（ ）

5 社会参加や余暇を過ごすための活動について

問17 社会参加や余暇を過ごすための活動を希望する曜日や時間帯はいつですか。（該当するすべての項目に 印）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	祝祭日
6時～9時								
9時～12時								
12時～16時								
16時～19時								
19時以降								
全日（1日中）								

問18 社会参加や余暇を過ごすための活動として、希望する活動内容はありますか。

（該当するものすべてに 印）

1. 音楽活動（音楽サークル・クラブ、音楽のついで、楽器演奏、音楽療法、など）
2. 工作活動（絵の教室、フラワー教室、など）
3. 運動（スポーツ、ダンス教室、水泳、体操、ボウリング、など）
4. 野外活動（公園、散歩、山歩き、動物園、遊園地、など）
5. 料理（料理サークル、料理教室、など）
6. 旅行・行楽（旅行、日帰り旅行、ドライブ、など）
7. 保護者の参加（保護者も一緒に参加できる活動、など）
8. 地域活動（地域の行事、福祉行事、公共機関の行事、社会見学・体験、など）
9. 買い物・ショッピング
10. 遊戯施設（カラオケ、ゲームセンター、など）
11. その他（ ）

問19 社会参加や余暇を過ごすための活動を利用する目的は何ですか。(該当するものすべてに 印)

1. 自立のため
2. 交友関係のため
3. 興味関心のため
4. コミュニケーションのため
5. 気分転換のため
6. 家庭ではできない活動を行えると思うから
7. 健常者との交流を行うため
8. 保護者(介助者)の自由時間や休息のため
9. その他()

6 現在、これまでに参加した社会参加活動について

この項目は、若狭地域の社会参加活動についての社会資源を把握するための質問です。社会資源の情報についてご提供いただくように、ご協力をお願いします。

問20 現在参加している、または、これまでに参加した、若狭地域における社会参加活動(余暇活動)のうち、今後も参加したい、また、参加してよかったと感じている活動について、その活動名、活動内容、参加したきっかけ、参加しての感想について、具体的に記入してください。「行事・イベント」「サークル活動・団体活動」「福祉施設作業所、学校等での活動」「その他の活動」ごとに記入してください。(該当する活動を4つまで記入)

解答例

「行事・イベント活動」			
活動の名称	その内容	参加したきっかけ	参加しての感想
市福祉フェスティバル	ステージ、模擬店(食べ物や物品の販売)、展示、体験、相談、遊びコーナー	サークルで参加している音楽活動の発表があったため	練習の成果の発表の場、交流の場になり、よかった。

「行事・イベント活動」			
活動の名称	その内容	参加したきっかけ	参加しての感想

「福祉施設・作業所、学校等での活動」			
活動の名称	その内容	参加したきっかけ	参加しての感想

平成 23 年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業
障害者の社会参加活動の支援に関する調査

発行年月：平成 24 年 3 月

発 行：社会福祉法人 若狭つくし会

〒917-0075

福井県小浜市南川町 8-1-2

TEL：0770-53-1286 FAX：0770-53-2299
